

建築と社会

日本建築協会

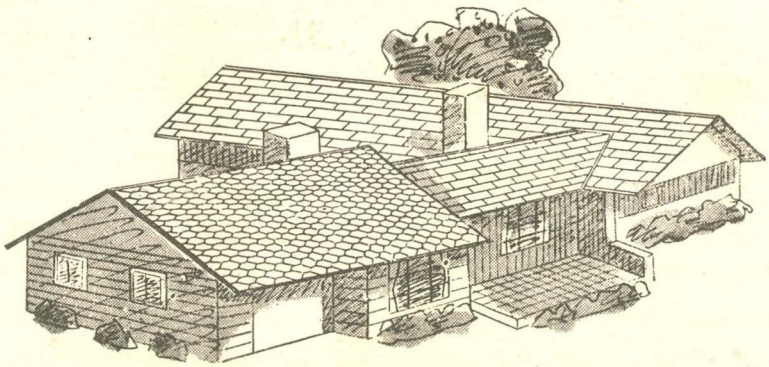
昭和24年3月19日第3種郵便物認可 昭和32年1月20日印刷 昭和32年1月25日発行 第38輯第1号(毎月1回25日発行)

1957—1

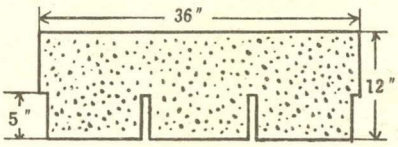
軽くて美しい屋根葺材

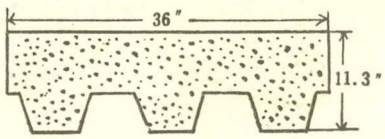
三星シングル

（登録商標）



日本では初めて製造された屋根葺材です。
凡ゆる点で経済的です。暑さを遮り、寒さを防ぎ、耐火性であり而も暴風雨にも耐える軽量屋根材です。
アメリカの住宅は90％がこのシングルを使つています。





厚手のルーフィングに色砂を圧着して上図の型に切断したもので色彩は赤・緑・白・空色の4色あり、素人でも施工出来ます。

緑と赤色が標準品で一面坪（東京・大阪）1,200円から1,600円程度で仕上ります。

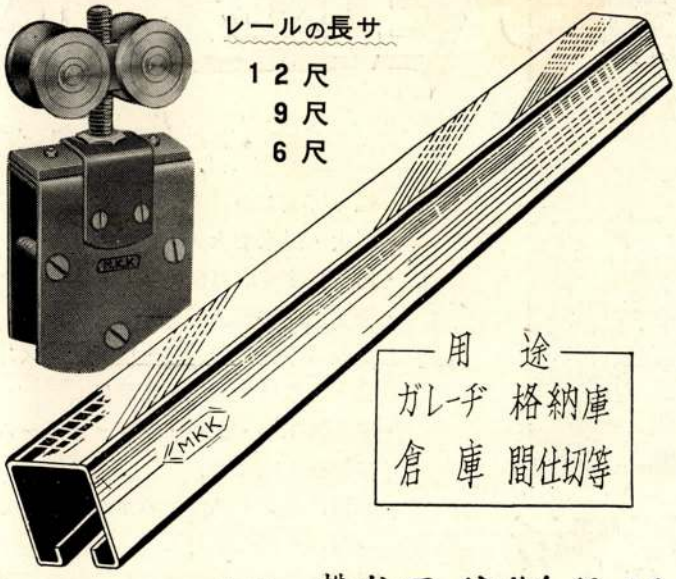
三星アスファルトタイルの

田島応用化工株式会社

東京・足立区小台町633　Tel. 代表・王　子 ㊾ 5171
大阪・西区京町堀上通1—14　Tel. 代表・土佐堀 ㊹ 0810

設計の時からドアーハンガーは

M.K.K



レールの長サ
12尺
9尺
6尺

用途
ガレージ 格納庫
倉庫 間仕切等

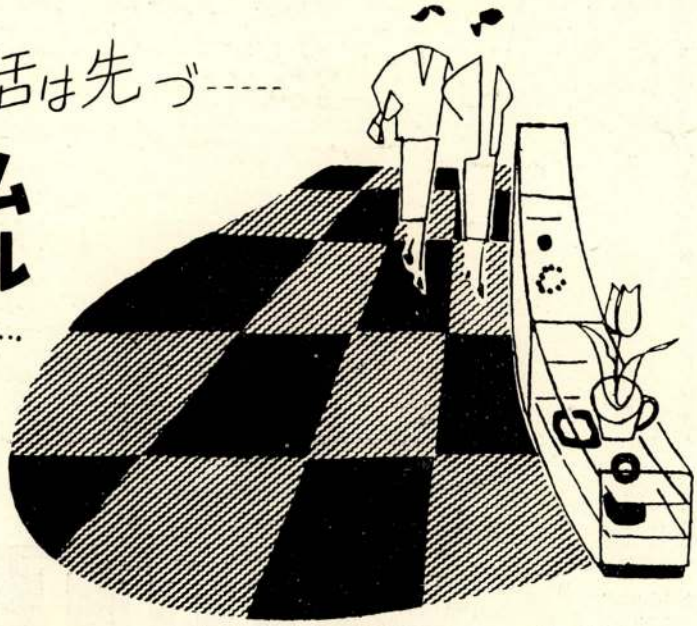
★御用命は下記代理店へ
お願いします

株式会社 石倉商店
小野藤金物株式会社
合資会社 和田末商店
月虎金属株式会社
株式会社中村多喜弥商店
松本金物株式会社
株式会社 丸喜商店
深見金物株式会社
湯浅金物株式会社
清水金物株式会社
株式会社 日垣本社
株式会社 平尾商店

東京 株式會社 三谷製作所

文化的な生活は先づ……

リノリューム
リノタイル
の使用から……



東洋リノリューム株式會社

本社工場 伊丹市伊丹五五八電伊丹(代)3531
東京支店 中央区銀座西・三和ビル 電京橋1701
大阪事務所 東区瓦町二・三和ビル 電北浜375・376

Yodowal

琺瑯化粧板



平板・事務所外装に使用例

ヨドウオル

波・平・厚・黒板

特徴
- 軽くて美しい
- 耐火・耐水で永久仕上
- 汚れはすぐ取れ衛生的
- 施工迅速で経済的

用途
- 平板は建築物の外装・間仕切・天井壁庇下及家具・船舶・車輛に
- 波板は工場・倉庫・プラットホーム等の屋根・壁に
- 厚板はサンドイッチパネル等としてビル等の外装仕上材に
- 黒板は学校・事務所・官公庁・家庭用に

（カタログ御希望の方は誌名御記入の上御申込下さい）

株式會社 淀川製鋼所

本　社　大阪市東区博労町4の30　電話㉕0351
東京支社　東京都中央区西八丁堀3の8　電話㊺1171

快適な乗心地！



丸紅納めの並列運転中の日立エレベータ

本機は米国でも完成されて間もない最新式の並列運転方式を新たな構想と技術によって製作したものであります。二台の全自動エレベータはそれぞれ階床の違う乗客の呼に答えてサービスするもので，たとえ一台に間に合わなくても，他の一台が直ちに運転してくると云う，殆んど待たずに乗れる非常に便利な自動エレベータであります。

仕　様

型　式　直流ギャード型
速　度　105m/min
制御方式　日立ジュップレックス
　シグナルコレクチブコントロール式

日立エレベータ

東京・大阪・名古屋・福岡・仙台・札幌

日立製作所

白蟻退治に!!

化 マルカ

コンクリートでも
穴をあける白蟻……



ANTOX
アントックス
白蟻駆除剤



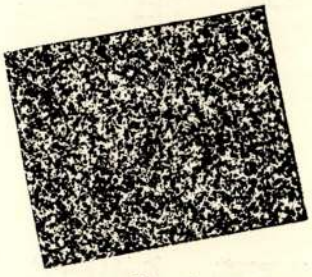
葉書にてカタログ呈

家が倒れるまで被害に気づかない，おそろしい白蟻に対して，アントックスは絶大な偉力を示します。アントックスはペンタクロロフェノール，多塩化ベンゼン，γ，BHC などを主成分とし防腐・忌避剤を配合したものであります。
無色の油剤で，使用法も簡単，効果は長時間持続し，変質もなく，防蟻，殺蟻，防腐などの作用を強力に兼備しております。価格も低廉です。

大阪化成株式会社
本社・大阪市南区心斎橋北詰 電 (25) 631～635
支社・東京都中央区西八丁堀1の3
電(55)2300・5055

ビニアスタイル
アスタイル

（2粍厚）





藤森工業株式会社
本　　社　東京都中央区日本橋通1－5(中内ビル)
専用電話 東京 (28) 6271～2番
大阪営業所　大阪市西区土佐堀通1丁目1番地
大同ビル709号室
電話 土佐堀 (44) 0225・7569 (直通)
3131 (ビル交換)

東洋陶器の衛生陶器と附属金具

（衛陶マーク）

Toyotoki

（金具マーク）



新製品
S—170
スミ付ロータンク

弊社は本社・茅ケ崎の各衛陶工場及び金具工場共にＪＩＳの指定を受けた唯一の衛生器具総合メーカーです

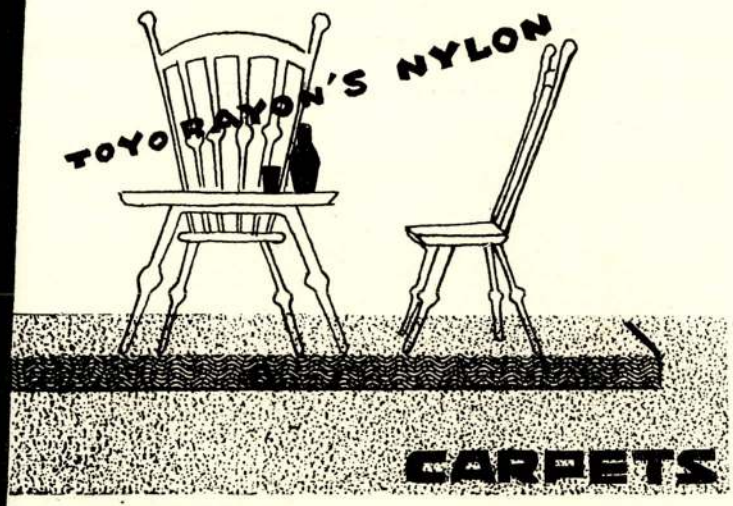
品質管理の優秀な
東洋陶器製品をセットで御使用下さい

東洋陶器株式會社

本　社
小倉市篠崎町458
ＴＥＬ⑤2481～5

大阪営業所　大阪市東区伏見町5の3　ＴＥＬ㉓4518～9
各地営業所　東京・名古屋・小倉・広島・高松・札幌

茅ケ崎工場
神奈川県茅ケ崎市
ＴＥＬ 2105～8



ナイロンで出来た
新しいカーペット！

東洋レーヨンの
ナイロン 緞通・絨氈

東洋レーヨンのナイロン緞通・絨氈は100％スパンナイロン糸を使用したもので

☆弾力性に富んでいます
☆驚く程摩擦に強い
☆吸塵性が非常に少ない
☆虫の害を全く受けません

東洋レーヨン株式会社
発売元　亀井株式会社
大阪市東区南久宝寺町心斎橋筋　TEL(25)1353

会　　告

新年交礼会

建築団体合同新年交礼会

明けまして，おめでとうございます。

さて，本年年頭に際し，建築関係団体相計りまして，標記の新年交礼会を催し，新たな年への出発をお祝いしたいと存じます。下記次第によつて開催いたします。

記

日　時　　1月7日午前11時半――1時
場　所　　今橋クラブ5階大ホール
会　費　　¥300.00
共催団体　　日本建築学会近畿支部
大阪府建築士会
日本建築家協会関西支部
大阪建設業協会
関西建材協会
日本建築協会

会館利用について

会館を御利用下さい!!

会館は，御承知のように大阪市内の交通至便の中心地に位置しています。集会に会議室，集会室を。お待合せ，懇談に談話室を。お気軽に精々御利用下さるようお願い申します。

使用料

室別	収容人員	使用料 午前	午後	夜間
4階集会室	椅子のみ使用 60人 卓子使用25人	500	800	1.200
		1.000	1.500	
3階会議室	15人	400	600	900
		800	1.200	
地階談話室	15人			800

午前は正午迄，午後は5時迄，夜間は9時迄とする。
4階集会室には暗幕の設備がありますから，スライドの映写もできます。

建築士年次届

建築士年次届について

大阪府では，一級建築士および二級建築士の方は，来る1月15日までに，「建築士年次届」をしていただくよう要望されています。まだ届出されてない方は至急「年次届」をされんことをお願いします。

届出用紙は大阪府建政課に準備してあります。なお詳細については，同建政課へお問合せ下さい。

ニュース

佐野利器博士逝去さる

佐野利器博士には，12月5日午前9時50分逝去され，告別式は同月8日築地本願寺で営まれた。

長崎市役所新庁舎建築設計懸賞入選者きまる

1等	古宮節二 梶外美男 藤元保彦 奥山孝	郵政省建築部設計課
2等	増田友也 外4名	京都大学工学部建築学
3等	武基雄	早大理工学部建築学 武研究室
佳作	中村欽哉 外4名	建設省中部地方建設局 営繕部建築課
〃	相田祐弘 外10名	坂倉準三建築研究所員
〃	沖種郎 外2名	自営（浦和市）

大阪，京都，名古屋3市に建築部，課新設

地方自治法の改正に伴い，去る11月1日より標記3市にそれぞれ下記の通り建築部，課が新設されました。

大阪市建築局建築課	課長	越田正勝氏
京都市建設局建築課	課長	布袋真平氏
名古屋市建築部	部長	一圓俊郎氏
同　建築指導課	課長	水野金市氏

謹賀新年　昭和32年元旦

社団法人日本建築協会事務局一同

謹賀新年　昭和32年元旦

（受付順）

尾崎久助 大阪市東区北浜5—13 日建設計工務株式会社社長	井上民治 大阪市西区京町堀上通2丁目4 井上工材株式会社代表取締役
宇賀一郎 大阪市北区若松町28　尾崎ビル12号室	藤木正一 大阪市東区両替町1—17 株式会社　藤木工務店社長
青木友一 大阪市天王寺区大道3—125 東洋洋瓦株式会社社長	若田久作 西宮市津門綾羽町51
宮飼克二 明石市人丸町亀ノ水	浅田繁男 大阪市北区堂島上通3—10 株式会社　松田平田設計事務所大阪出張所長
浅海治平 宝塚市切畑長尾山2—161（電 池田1162）	池上勝郎 大阪市北区堂島浜通1—66 池上建築設計事務所
笠原梯治郎 大阪市西区京町堀上通1—14 田島応用化工（株）大阪出張所内	山口吾郎 豊中市栄通2丁目5
佐藤太 大阪市北区南扇町12	村石秋吉 大阪市浪速区幸町通3—20 浪速合板株式会社代表取締役
向井保晴 東洋リノリユーム株式会社	友田俊夫 大阪市都島区都島中通6丁目41 友田工業株式会社代表取締役
小西岬 大阪市西区京町堀通3—30 田中小西建築事務所	志垣正次 株式会社　明正社

謹賀新年　昭和32年元旦

（受付順）

浦辺鎮太郎
倉敷レイヨン株式会社

神田正平
大阪市東淀川区三津屋南通3—7
株式会社　日本シヤッター製作所

岩崎甚太郎
兵庫県川西市栄根字豆阪1—11

辛木貞夫
大阪市北区梅田町27（産業会館ビル 8階）
東海興業株式会社大阪支店

東畑謙三
神戸市東灘区住吉町縄手下1680

藤本庄之助
大阪市城東区西鴨野6丁目43
株式会社　工盛社代表取締役

松井邦彦
大阪市北区高垣町80
耐酸化学工業株式会社取締役社長

奥村太平
大阪市阿倍野区松崎町1—51
株式会社　奥村組社長

小林清
大阪市北区堂島上2丁目11
株式会社　新住宅社

栗原信虎
大阪市北区永楽町8番地（日新生命館）
栗原工業株式会社

山本武雄
大阪（西）四ツ橋
株式会社　山本建材社

佐藤四郎
名古屋市東区東芳野町1—75

横田喜一郎
大阪市西成区橘通9丁目24
株式会社　工英社代表取締役

栗林加珠万
和歌山市和歌の浦527

津村芳一
尼崎市長洲字稲川新田44
オリエンタルメタル製造株式会社

工藤寿男
大阪市北区太融寺町54
工藤電気株式会社取締役社長

八木繁志
大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目25
株式会社　八木工務店

岩住幸治郎
大阪市西淀川区千舟東2—31
株式会社　岩住鉄工所

謹賀新年　昭和32年元旦

（受付順）

福岡庄一郎
滋賀県甲賀郡石部町大字石部2476
日本スタッコ株式会社社長

欅田藤郎
大阪市西区阿波座中通1
淡陶（株）常務取締役支店長

三国利道
大阪市東区安土町2丁目22
株式会社　安井建築設計事務所

白杉嘉明三
神戸市東灘区本山町野寄19—1

中西六郎
大阪市北区中之島3（朝日ビル）
中西六郎建築事務所

竹内さく
神戸市生田区再度筋
神戸山手女子短期大学教授

千原大五郎
東京都千代田区三年町1
大阪建築事務所東京事務所長

菅谷三郎
大阪市西区江戸堀南通1—37
株式会社 大阪電気商会大阪暖房商会取締役社長

田中楢一
大阪市東区備後町4—15
日本住宅公団大阪支所　支所長

岡三郎
大阪市北区堂山町89
株式会社　岡組社長

徳永正三
大阪市北区中之島4—33
三座建築事務所

斉藤光夫
大阪市北区堂島北町14
株式会社　三晃商会社長

石川憲三
大阪市天王寺区茶臼山町111
石川建築事務所長

馬場善雄
大阪市都島区東野田9丁目
大阪大学工学部構築工学教室

平田伊三郎
大阪市西区阿波座中1
平田タイル取締役社長

南長吉
大阪市南区順慶町1丁目44
斉久工業株式会社大阪支店長

森上次雄
兵庫県宝塚市高台上ノ池北28—1
株式会社日本セメント防水剤製造所取締役社長

尾亀清四郎
大阪市北区堂島北町14
株式会社三晃商会常務取締役

謹賀新年　昭和32年元旦

（受付順）

大阪生コンクリート株式会社
大阪市北区堂島浜通2—14

牧村利勝
大阪市東区横堀2—70
株式会社　間組大阪支店

田中清一
大阪市浪速区元町1—742
田中風呂製作所

宝来佐市郎
大阪市東区京橋3—75
株式会社　大林組

室谷山水
大阪市北区絹笠町50（堂ビル内）
株式会社　室谷商店

田辺信
大阪市阿倍野区昭和町中5—3

鷲尾健三
大阪大学工学部　構築工学教室

西沢藤生
芦屋市宮塚町35

大林芳郎
神戸市灘区御影町御影字上ノ山1682

五十嵐芳雄
芦屋市打出翠ケ丘148

河合貞一郎
大阪市東区京橋3—75
株式会社　大林組

稲垣皎三
宝塚市大字切畑字長尾山1—62

井上福蔵
枚岡市石切山荘

鴻池藤一
大阪市住吉区浜口町402—21

竹腰健造
西宮市松園町133

鈴木清市
大阪市東淀川区新高南通1—14
株式会社　ケントク

今村騰
大阪市北区曽根崎上1丁目41
中央電気工業株式会社社長

渡辺圭吾
大阪市北区絹笠町16　大江ビル58号室
渡辺建築設計事務所



神　戸　米　国　総　領　事　館

設　　計　　山崎実建築事務所（米国）

施　　工　　株式会社　大　林　組



本　館　　正面屋外遮蔽スクリーンに強化パンポーライト平板使用

神　戸　米　国　総　領　事　館

万邦ポリエステル工業株式会社製造

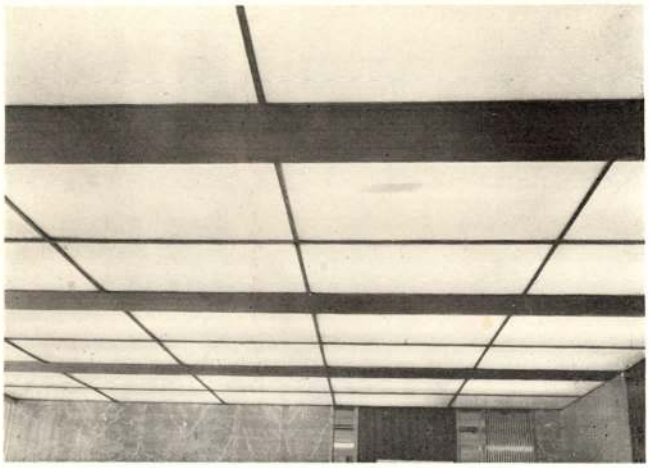
強化パンポーライト平板使用

朝日石綿工業株式会社納入

本館屋外遮蔽スクリーンに強化パンポーライト平板使用



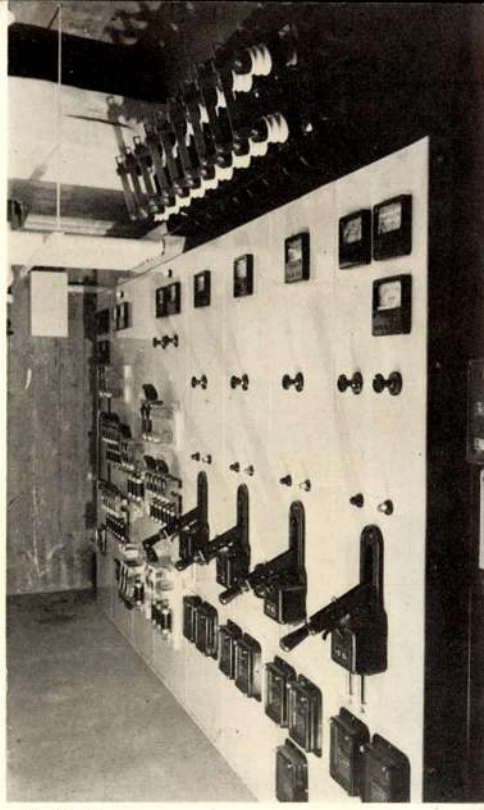
正面二階天井に強化パンポーライト平板使用





暖房衛生設備　株式会社三晃商会

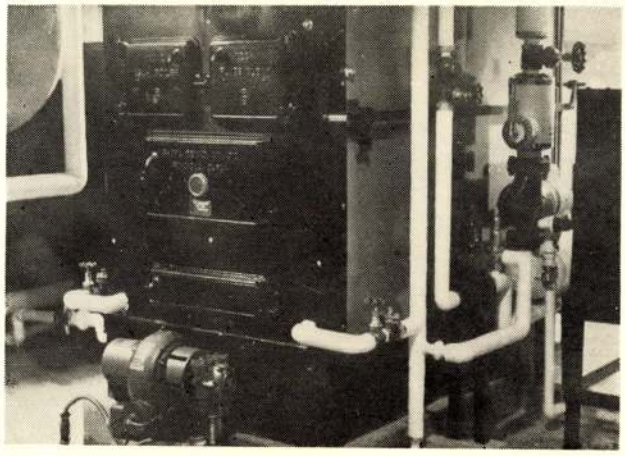
神戸米国総領事館



電気室

電気工事設計施工

工藤電気株式会社

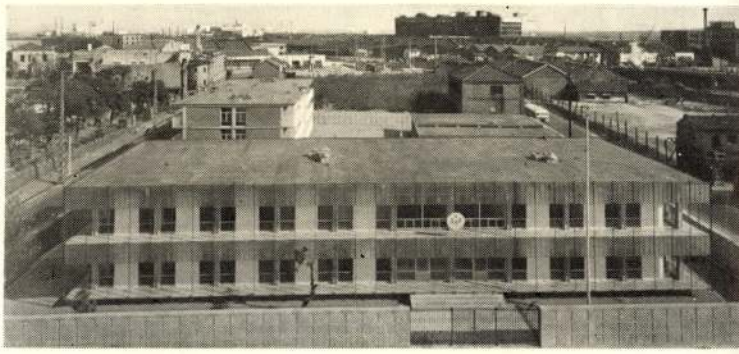


暖冷房・換気・衛生・給排水

株式会社建材社

小野田コンクリートブロック株式会社神戸工場

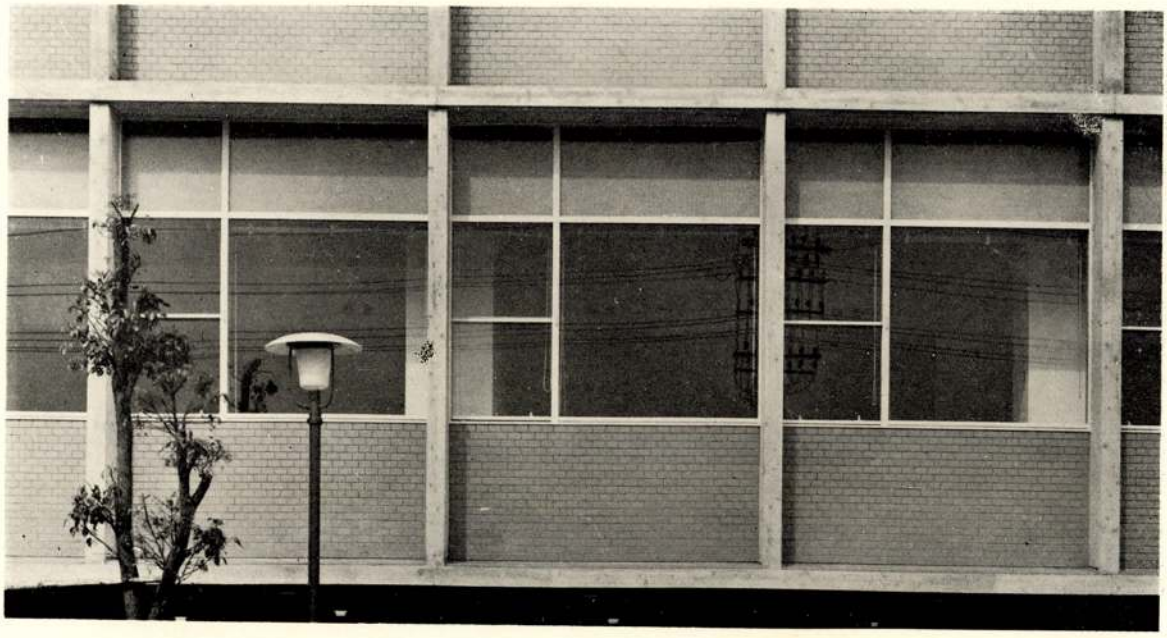
間仕切：小野田超軽量ブロック使用





神　　戸　　国　　際　　会　　館

設計施工　　株式会社　　竹　中　工　務　店

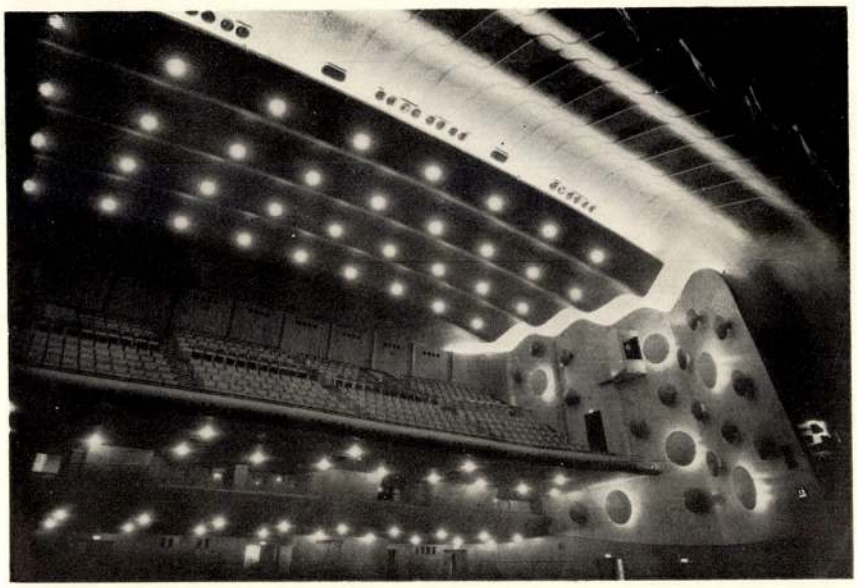


伊奈タイル使用　　伊奈製陶株式会社

神戸国際会館

内部　天井：タイガー印吸音耐火ボード（タイガトーン）
　　壁　：石膏プラスター　　壁下地石膏ラスボード　　吉野石膏株式会社





大劇場

電気工事設計施工　　栗原工業株式会社

神戸国際会館

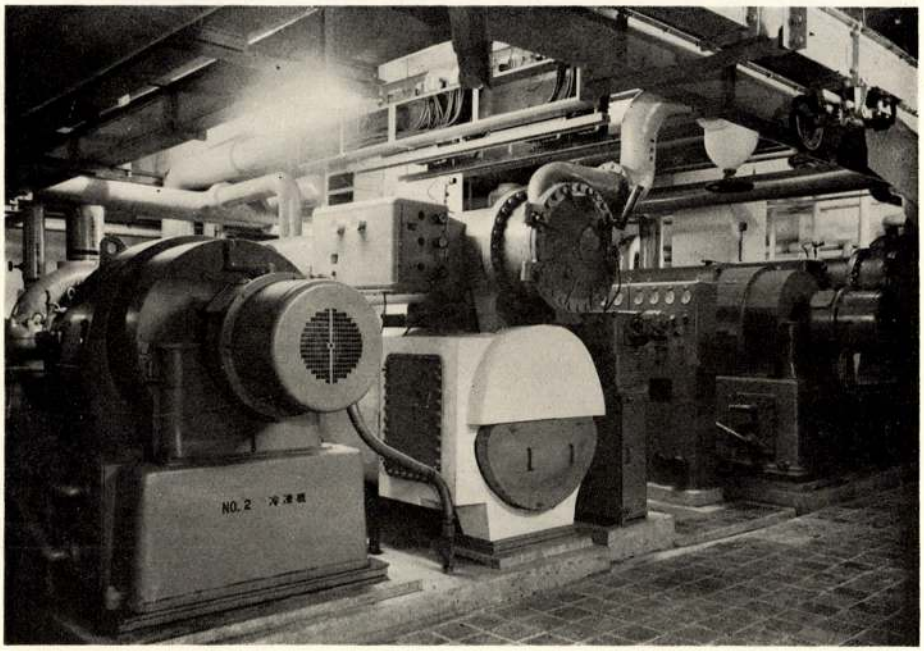


株式会社

矢橋大理石

1階玄関ホール大理石貼

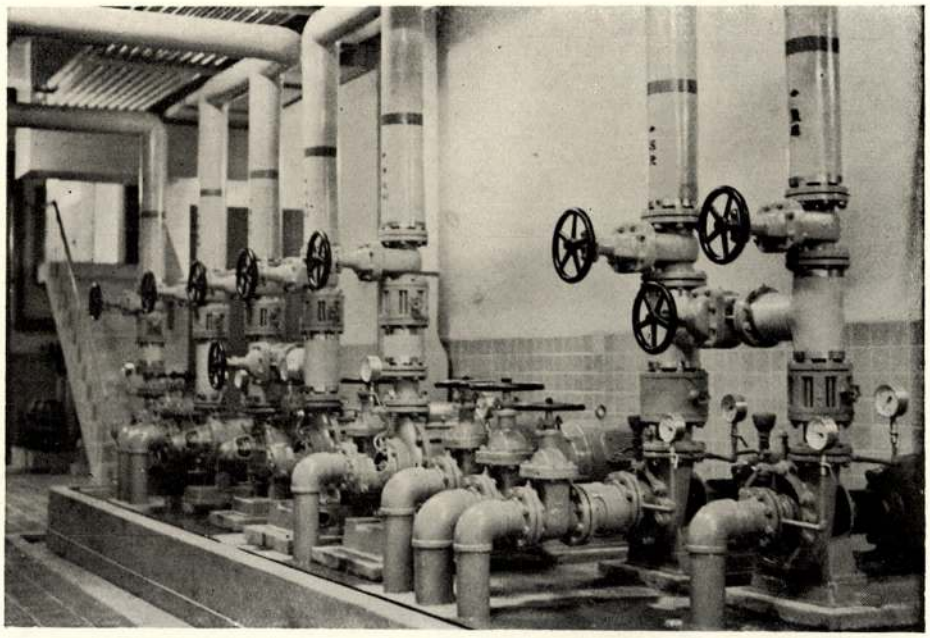
外装にもキャストンブロック貼



冷暖房機械室　　高砂熱学工業株式会社

神　戸　国　際　会　館

機械室の一部　　須賀工業株式会社





神　戸　国　際　会　館

宇部セメント使用　　宇　部　興　産　株　式　会　社



テンパライト・ドアで
新しい建築を

旭硝子株式会社

本　店　東京都中央区銀座4－1
大阪支店　大阪市北区堂島船大工町53

建築と社会

1

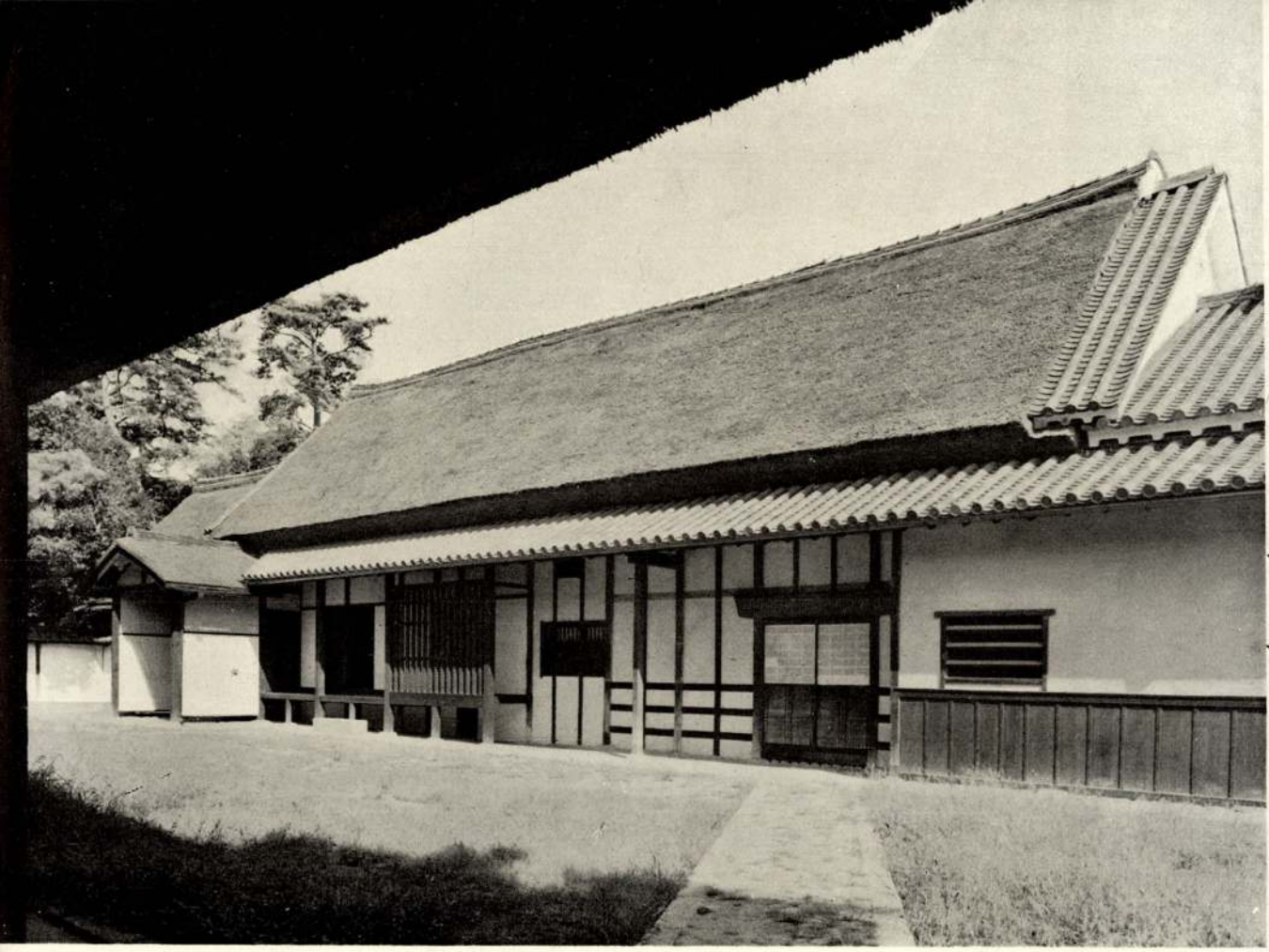
歴　史　特　集

建　築　と　社　会
第 38 集 ・ 第 1 号
売 価 1部 130円・送料共
昭和32年1月20日印刷
昭和32年1月25日発行
発 行 所　社団法人 日本建築協会
大阪市東区北浜3丁目37
電話 北浜 ㉙9648・9649・9640番
振替口座 大阪 39975番
発 行 人　沖 田 誠 一
編 集 人　松 井 昭 光
印 刷 所　株式会社 研 文 社
大阪市北区堂山町66
電 話 ㊱ 2091 ～ 3番
印 刷 者　網 野 栄

1 9 5 7 年 1 月 号 目 次

吉　村　邸　古建築分科委員会撮影……20
作 品 作 風
神 戸 国 際 会 館……22
神 戸 米 国 総 領 事 館……32
建 築 の 眼……40
本　文
1957年と1857年
（新ゴシック論時代）……鳥田　家弘……41
日本の古建築における基準寸法……大森　健二……45
明治以前における
建築生産の諸形態について……川上　貢……48
アンケート……52
戦前・戦中・戦後と世代を異にする建築家は
学窓を出たとき何を考えていたか
執 筆 者：　竹腰健造・村野藤吾・滝沢真弓
東畑謙三・鴻池藤一・小川　正・足立　孝
光安義光・菊竹清訓・羽藤文男・薬袋公明
法隆寺再建非再建
論争の結末とその後……山本　栄吾……58
技 術 講 座
姫路城天主閣群の振動実験……石崎　潑雄……61
設備原論 Q・A …… 関西設備原論研究会……65
1.　壁の結露や湿りを防ぐには
どうすればよいか
2.　風があれば寒く感ずるが，
その温感に及ぼす影響はどれ程か？
会 合 便 り……68

訂正　前月号（12月号）61頁の佐藤重夫氏の「畳表について」の文中，右段上より4行目の杉永は松永が正です。また同じく10行目の蔺草は七島草が正です。筆者より訂正方お申し入れがありましたので，つつしんで御訂正します。



吉村邸は，天正頃より文書に見える。古くから，南河内の豪族の家で，桃山時代前後の庄屋の性格を知る貴重な資料である。平面は何度も変遷して来たが，2，3年前解体修理を行い，特に中央居室部が創建当初に近い形に復原された。昭和12年国宝指定の折は，西方客室部中心に，その価値を認められたのであるが，復原して，むしろ中央部にその真価が認められるようになつた。建立年代は残念ながらはつきりしない。恐らく居室部は江戸初期，客室部は中期頃であろう。

居室部と，東に連なる土間（竈屋，納屋）部の屋根が高底を持つ大和棟の雄大さを示している。居室部の外壁は，貫が何条も通り，化粧に用いられ，縁には吹放たれた格子のカーテンが，不思議な新鮮さを見せる。内部へ入つて，土間より店舗の方をみると，片隅に吊部屋があり，壁付梯子が，面白い意匠をもつて，堂々たる土間空間にアクセントを持たせている。（林野）

吉　村　邸　古建築分科委員会撮影



吉　村　邸　内　部　　古建築分科委員会撮影



1. 西 面 外 観

神　戸　国　際　会　館

設　計　株式会社　竹中工務店
設計担当　小川　正
井上竜雄
桃田精介
構　造　石田　正
村田平之助
設　備　鈴木俊男
監　理　株式会社　東畑建築事務所
施　工　株式会社　竹中工務店

神戸国際会館設計について

小川　正

六甲連山の緑と扇港の紺青にはさまれて帯状の発展を続ける神戸市のこの一帯はかつてはボンベイ・タウンと呼ばれる貿易商社のブロックであつたが，戦火に疲れ壊れた後をイーストキヤンプとして接収され，つい先頃迄は出入の自由さえもたなかつた。兵庫県，神戸市はこの区劃を新しい文化貿易交流のセンターとすべく市庁舎を東部へ移し往年のボンベイ・タウンの復活を計画している。この会館はこのブロックの西入口の一角である。

東側は三宮駅より南進する新しい道路と，東西に延びるメインゲイトの路線と西側在来の税関通りに面し，その北側の一部は隣地に接している」型の1,015坪の敷地である。

計画は県，市，会館と私共を含めた建築委員会を編成して案を進める方針を取り，この街にない公会堂，大小集会室を中心に貿易の発展上必要な施設，すなわち，パイアーズホテル，各都道府県貿易斡旋所，通商事務所，各国領事館，放送施設（NHK），国際電々，貸事務所，銀行，これに地階へ映画劇場を二館という内容である。

設計計画の主旨は，東西の線に南面して本館を制限一ぱいに建て」型の北部に大ホール，劇場のブロックを東寄に配置しこれらの延4,000の人の流れを二階と地階で東西の階段に結び，一階本館のエントランスを南北の軸に貫通し，これらと立体交叉をもつてその混乱を処理することにあつた。

本館階高はその用途により調整をして，前面及側面は約6m後退させて軒高と側面ホール，バニツク通路を確保すると共に駐車スペース，等も充分取れる恵まれた敷地である。地盤の優秀な条件も考慮に入れ構造区劃は本館とホールとの二区劃とした。

本館北側大ホール壁面に接する部分は作業，サービス部を集中することはいうまでもない。ホテル階に到つて両面採光が可能となる。

東西の大ホール地下アーケードの主要階段上部は耐熱ガラスの全開放面の喫茶室及管理事務室を配置して立面の安定を，塔屋部分を本館全巾に延長してホール部分との容積のバランスを計つた試案である。

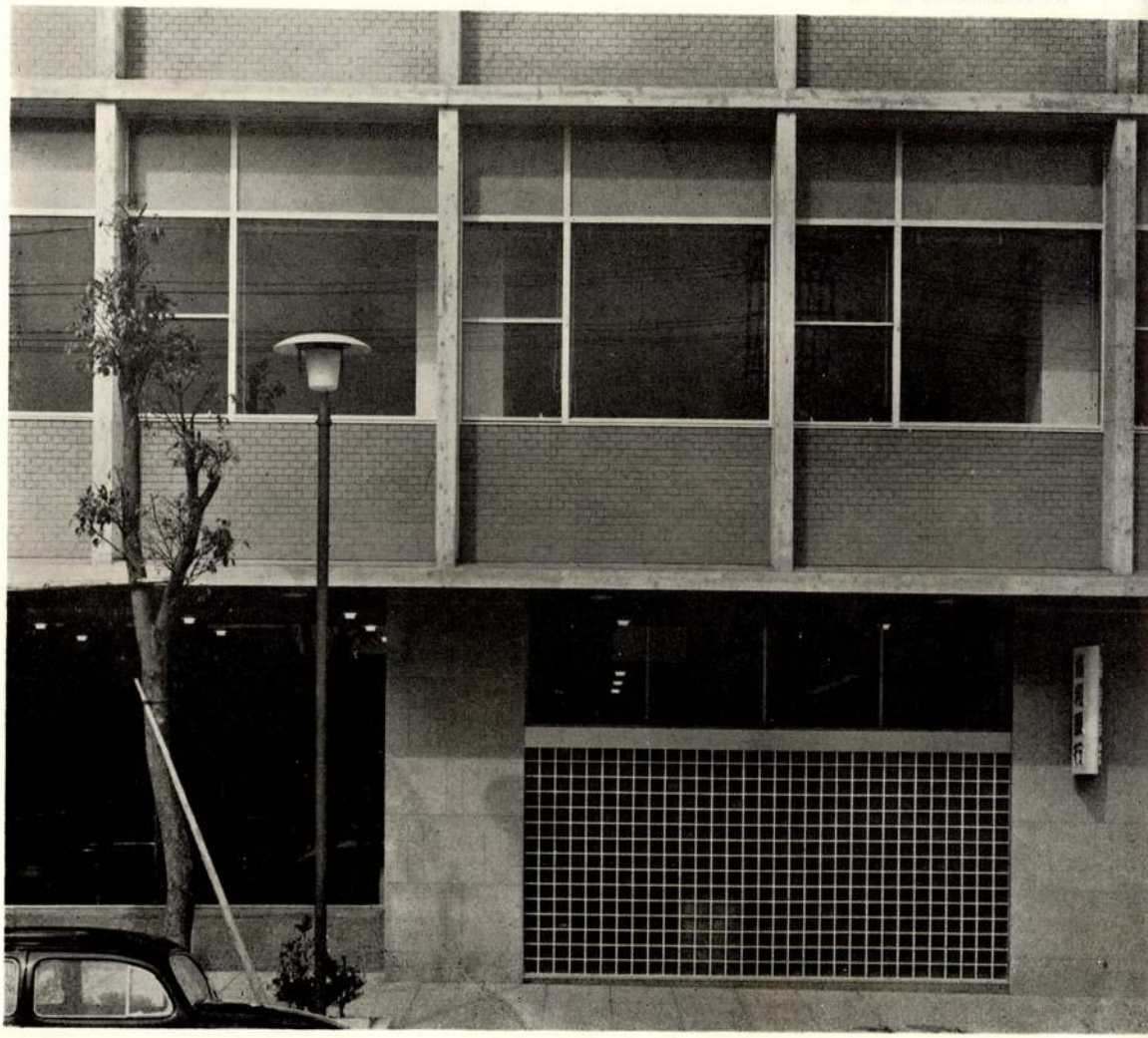
大ホールについては延2,200席を持つ市民に親める公会堂であり，一方完璧な音響特性をもつ演奏会場でもあり，又舞台を生かす演劇場でもありたい。この用途に対して可能な限りの設備をもつて転換を計ることより方法を持たないので，可動反響板，昇降オーケストラピツト，等舞台機構に特に意を払つている。音響特性については鳥原正男氏指導の下に実測を整理して報告をする予定であり，出演者用施設についてもこの種のホールでは最高のものと思われる。

地下劇場についてはGL面に床を持たないため大ホール床までの空間を利用した充分の容積を持つこと，映写設備室の綜合配置等に特色を生かしている。

外装色調については先頃竣工した，神戸新聞会館（村野藤吾氏），現在工事中の市庁舎（日建設計工務），又三宮駅そごう百貨店等の色調調整によつてこのブロックの調和とこの街の玄関である海上より背山へのバランスについても考慮出来たことは真に楽しいことであつた。

建設については県，市当局，京大坂教授，東畑謙三先生の御力添に対して重ねて謝意を表する次第である。（1956．11．25）

2．本館南側詳細

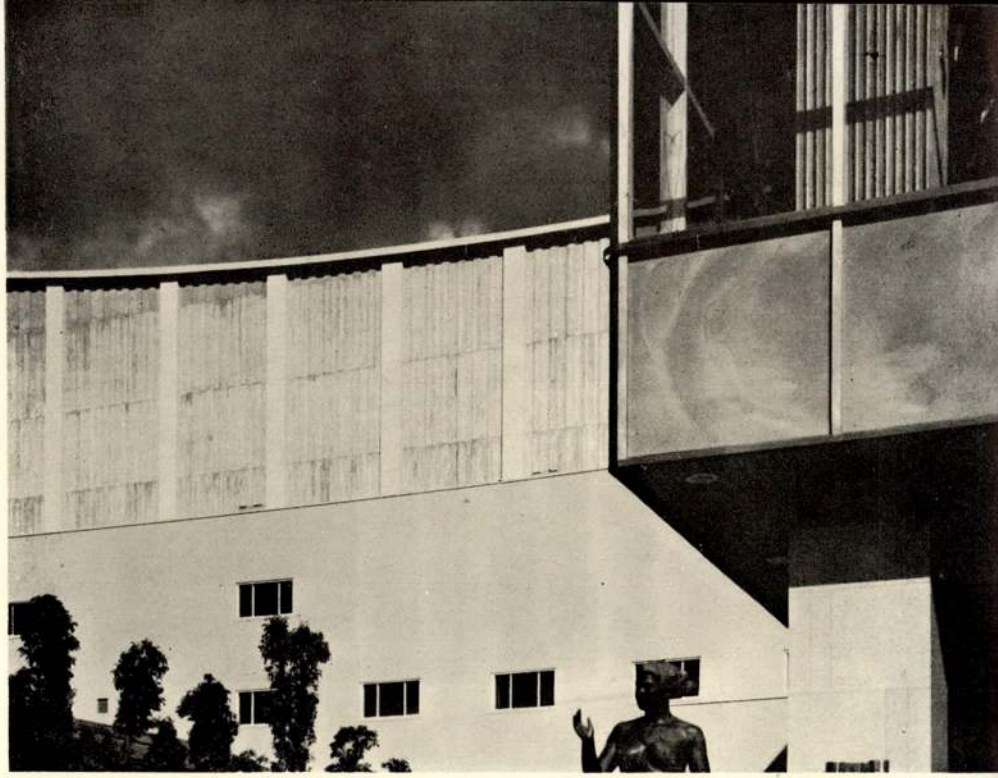




3. 本館下部詳細

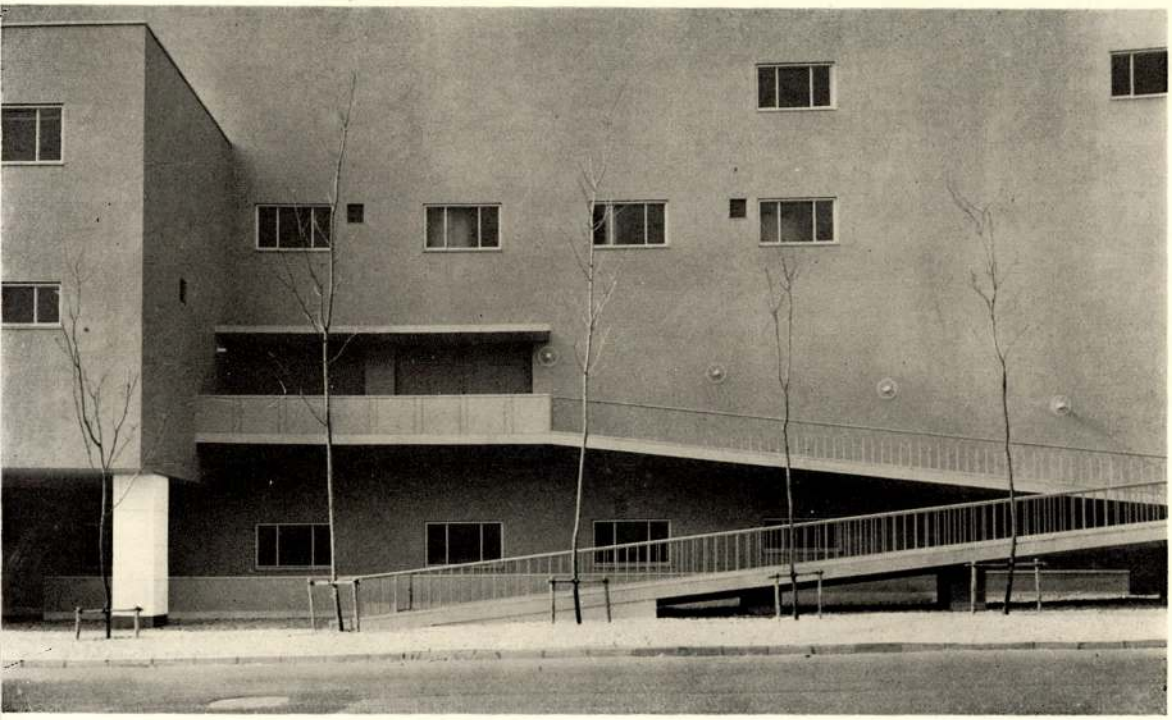
建築地	神戸市貿合区御幸通八丁目
敷地面積	2,022坪 100
建築面積	1,015坪 606
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造耐震構造
階高	地下 1 階，地上 8 階，塔屋 3 階
高さ	標準地盤より パラペット迄 31.00m
	〃 ペントハウス迄 40.90m
	〃 煙突頂部迄 55.00m
深さ	標準地盤より基礎下端迄 8.50m
工期	昭和29年12月15日より昭和31年10月24日

神戸国際会館　　設計施工　株式会社 竹中工務店



4

4. 西側の外観詳細
5. 東側の外観詳細



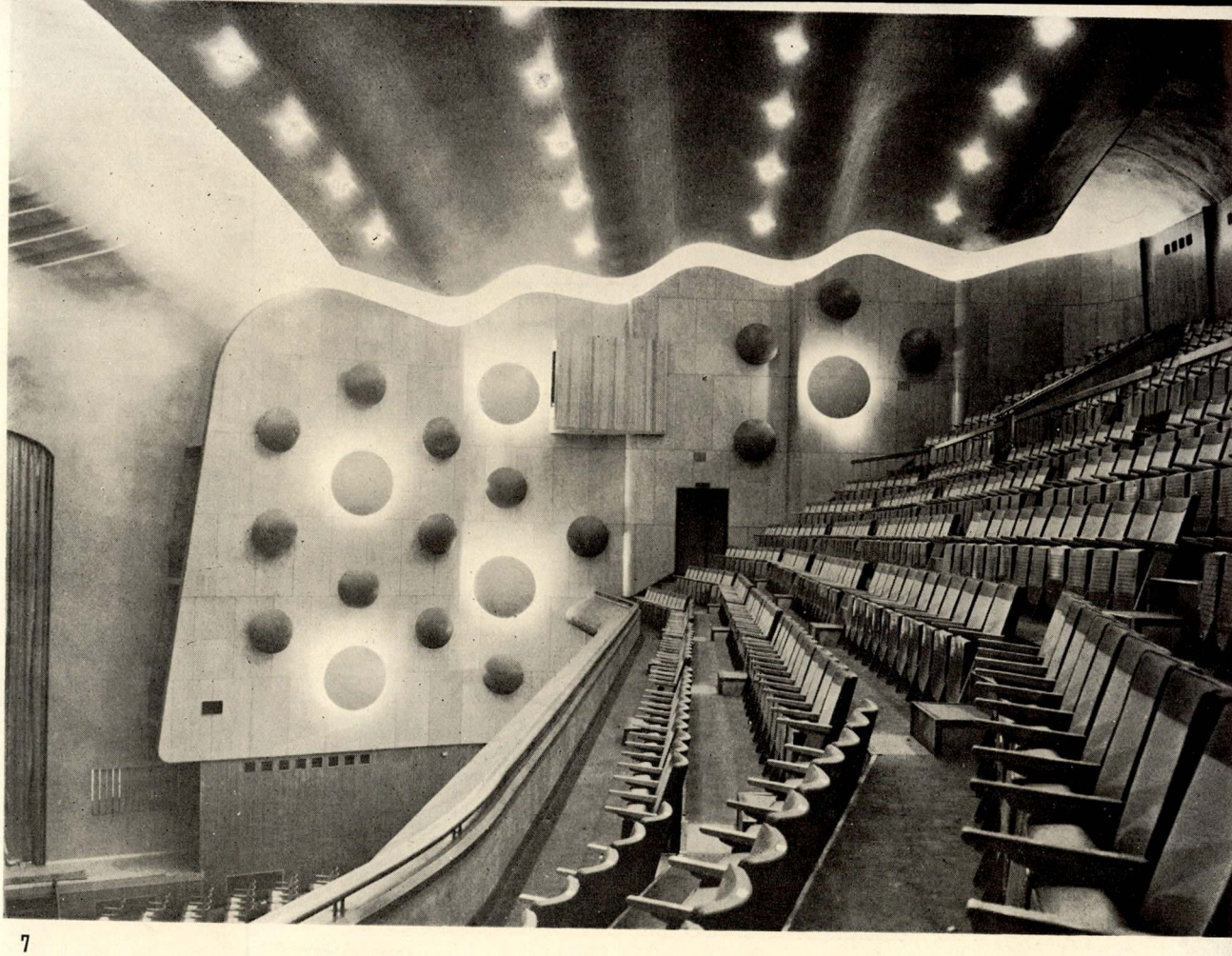
5



6

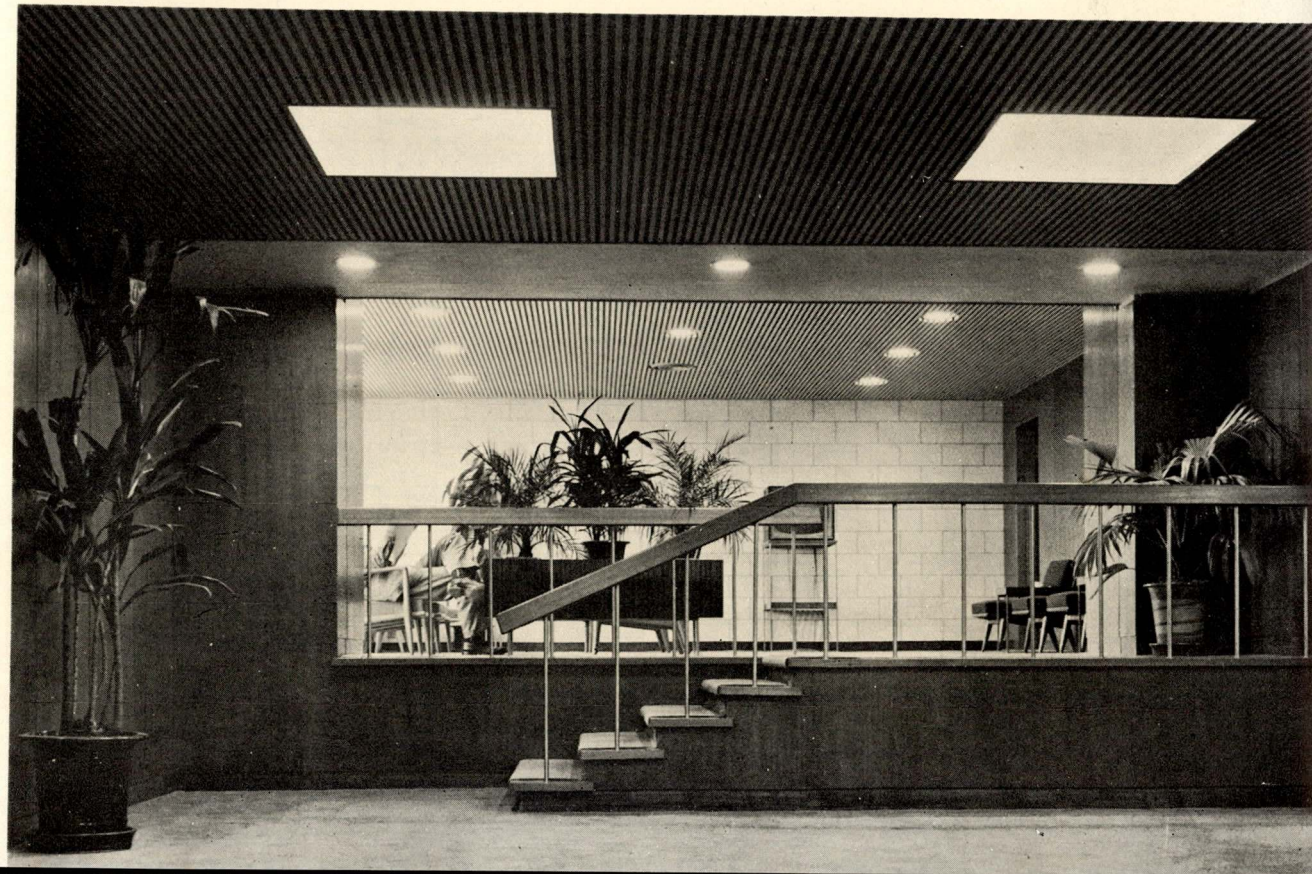
神　戸　国　際　会　館　内　部

6. 大ホールロビーの一部
松板の羽目とギャラリーへの階段
7. 大ホール客席と壁面
8. 六階ホテルメインロビー

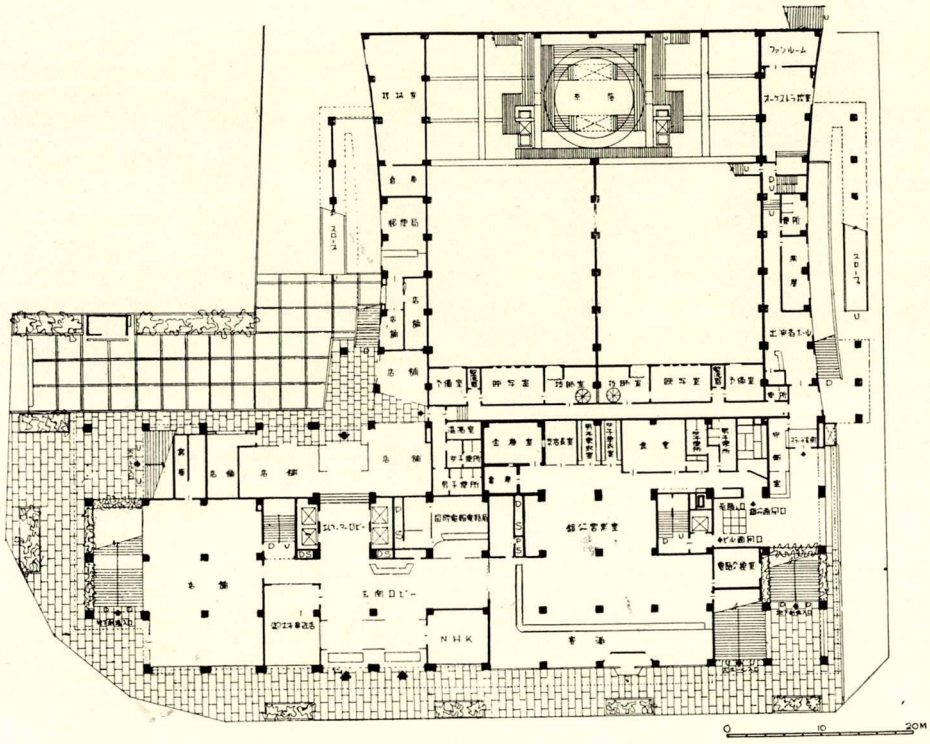


7

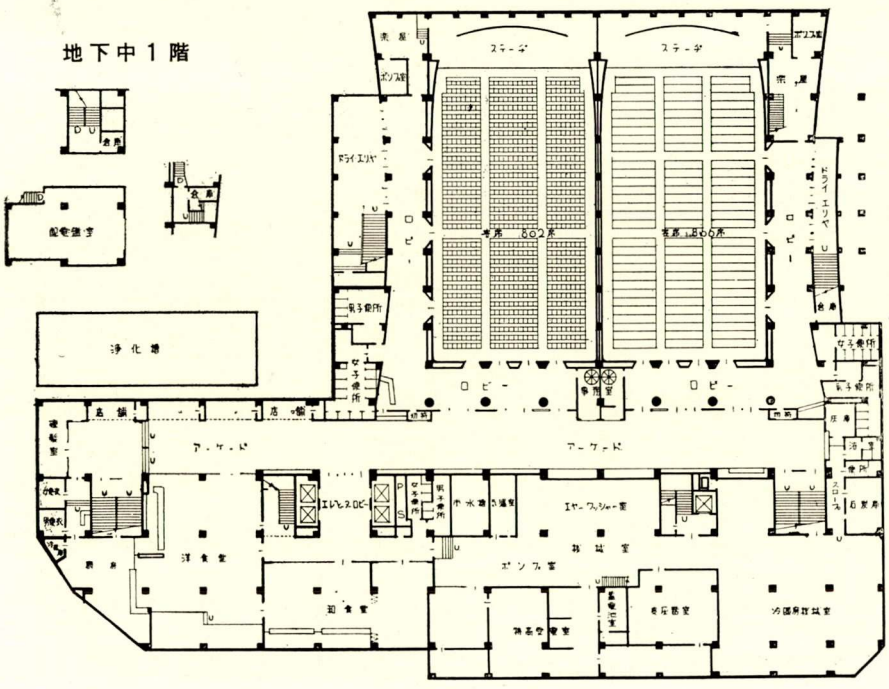
8



神戸国際会館平面図

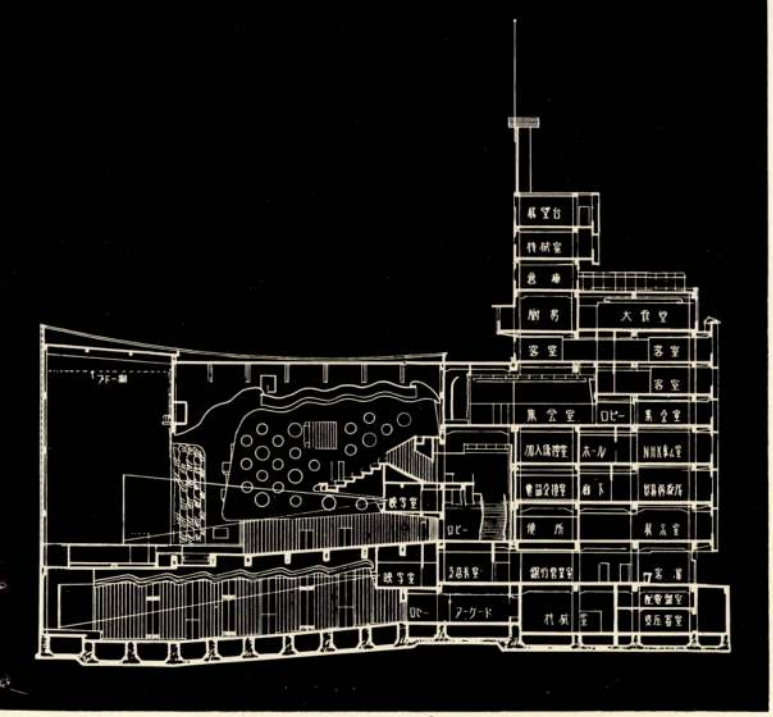


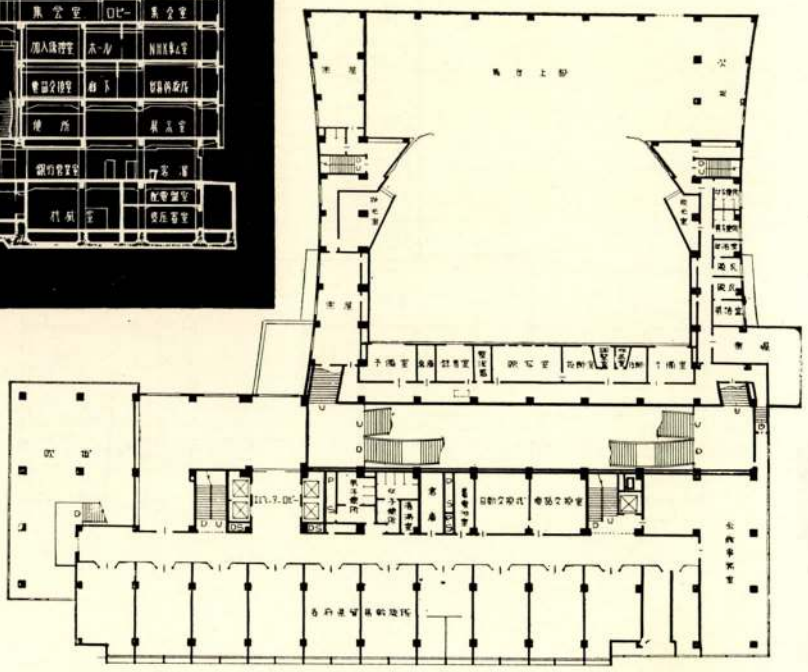
1　　階



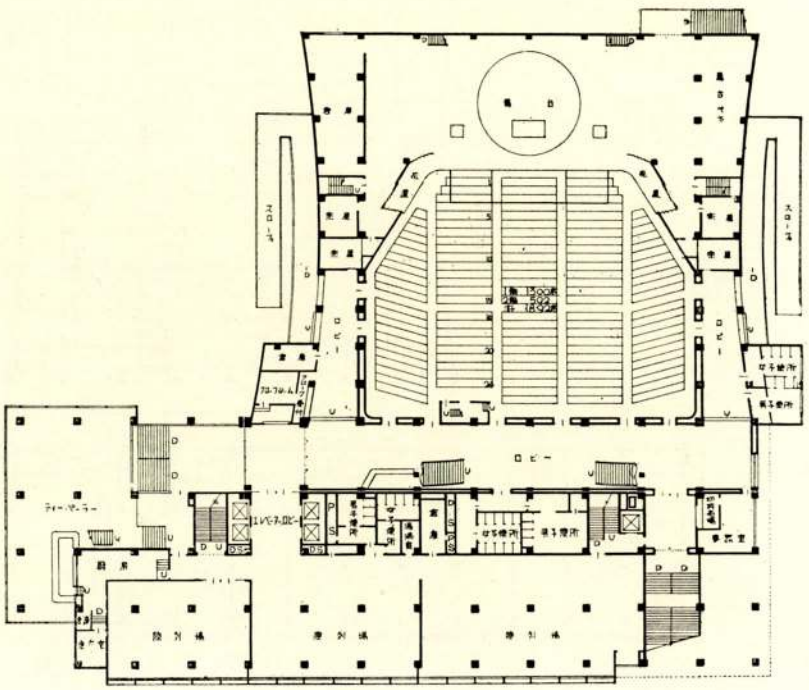
地　　階

神戸国際会館
断面図・平面図





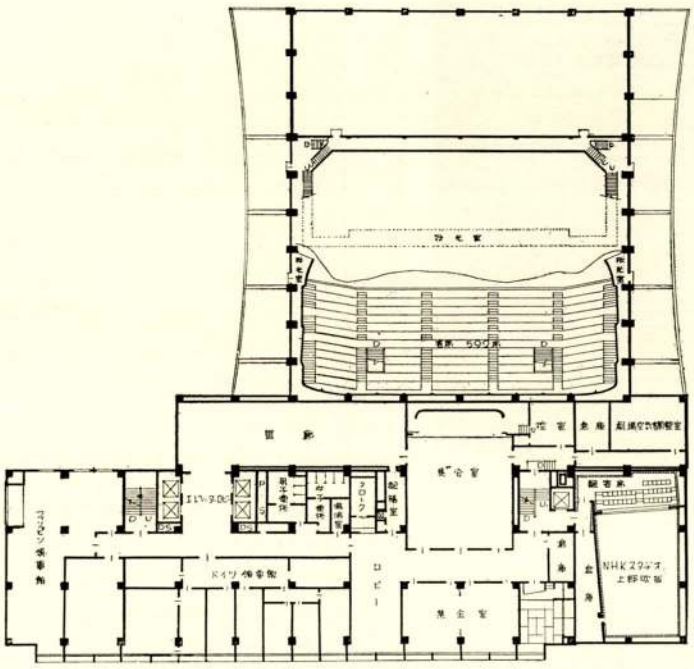
3　階



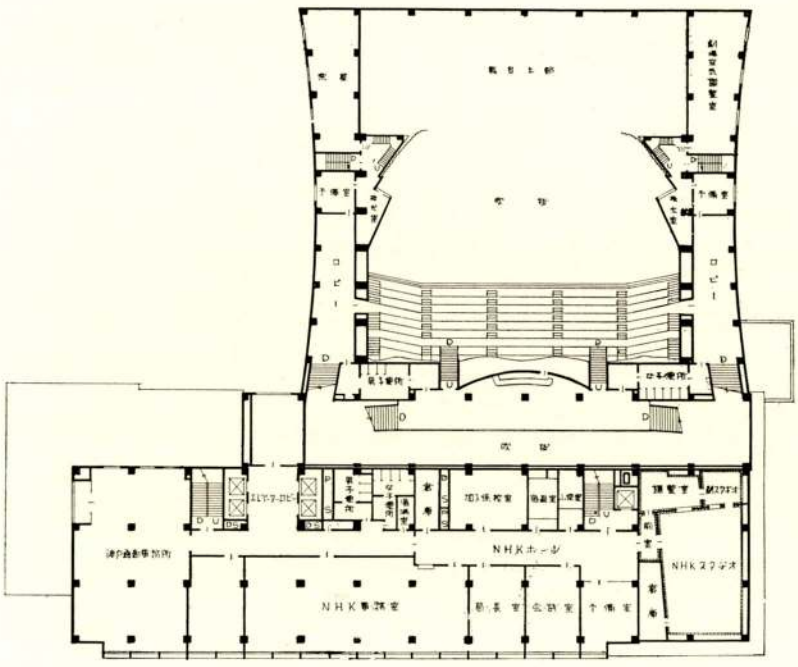
2　階

階別	面積
R 3 階	75.971
R 2 階	145.115
R 1 階	127.559
8 階	368.513
7 階	363.743
6 階	361.937
5 階	612.699
4 階	752.655
3 階	751.172
2 階	1,237.955
1 階	1,015.606
MB 1 階	43.177
B 1 階	1,410.900
延面積	7,267.002

神戸国際会館平面図



5　階



4　階

設　備　の　概　要

1．冷暖房換気装置

ターボー冷凍機350噸×370馬力，ターボー冷凍機250噸×270馬力，レシプロ型冷凍機，50kwセクショナルボイラーS612×2，事務室，大ホール，ホテル，地下映画館，N.H.K．スタヂオ，銀行並に店舗等七系統にて，温湿度調整をす。機械室，厨房等には，給排気を行う。

2．電　気　設　備

特高変圧器1250KVA×2，停電時発電機ディーゼル450馬力，発電機375KVA×1全館螢光灯照明，その他火災報知，電気時計装置を設置す。

3．給排水衛生設備

市水，井水，消火，給湯，冷水設置をす。ホテル各室には，バスタブ，シヤワーを設置す。

4．エレベーター設備

客用エレベーター，直流可変電圧歯車なし，積載量1噸速度毎分120米×4台人貨用エレベーター，交流二段速度自動着床式，積載量1噸，速度毎分45米×1台　給仕用リフト　交流一段速度　1台

5．大ホール舞台照明

舞台用調光器，U型20kw，40A×6本立×6台客席調光器12.5kw×3台ボーダーライト3例，フツトライト2例，その他両側投光室，舞台上部に500W—1kwスポツトライト90台を設備す。

6．大ホール映写設備

シネマスコープ式，スクリーン　51尺×21尺

7．大ホール音響設備

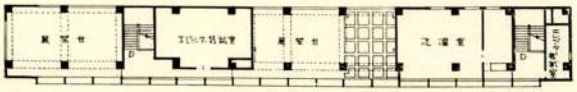
客席前方両側に，ハイフイメンスピーカー3台を設置し，立体音響方式とす。他に中継放送設備をす。

8．大ホール舞台設備

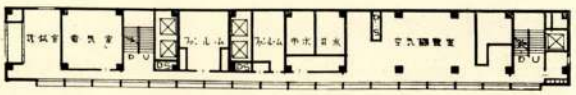
舞台，間口，72尺，奥行，48尺，プロセニアムアーチ，高さ30尺，廻り舞台，直径36尺×1カ所，中廻り6尺×12尺1カ所，両袖廻り4.5尺×4,5尺 2カ所

オーケストラピツト昇降装置 9尺×56尺，行程舞台面迄5尺，音響調整板，巾72尺，奥行，36尺（吊上式）（鉄管造合板仕上），仮設花道巾5尺長さ，80尺

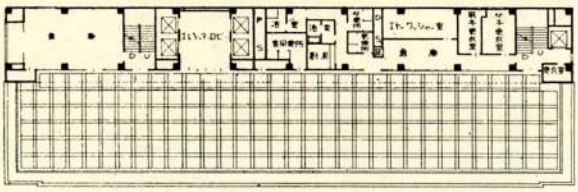
神戸国際会館平面図



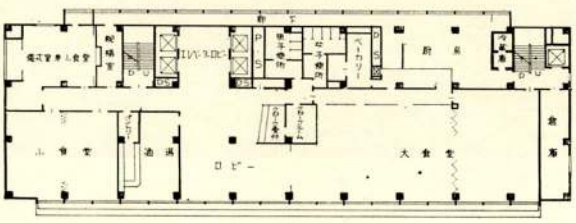
塔屋3階



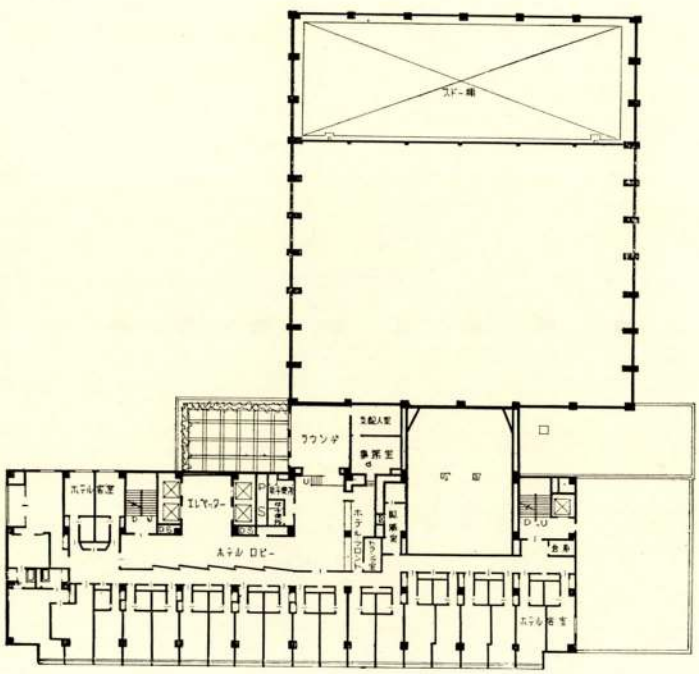
塔屋2階



塔屋1階



8　階



6　階



A 棟 : OFFICE BUILDING 西面外観

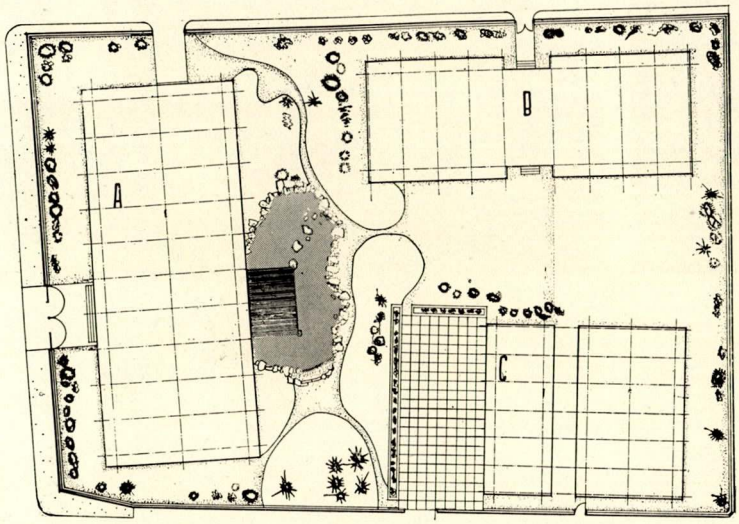
神戸米国総領事館

設計　山崎実建築事務所（米国）
構造　坪井善勝
施工　株式会社大林組



Scale : 1/800

A 棟 : OFFICE BUILDING
B 棟 : STAFF APARTMENT
C 棟 : CARPORT & SERVANTS QT.'RS



所在地	神戸市生田区加納町6丁目10番地
工期	昭和30年12月～昭和31年11月
敷地面積	1,112.40坪
建坪	延971.12坪

A 棟 （事務所）鉄筋コンクリート
地下1階，地上2階 延 545.44坪

B 棟 （宿舎）鉄筋コンクリート
地上 3階 延 313.60坪

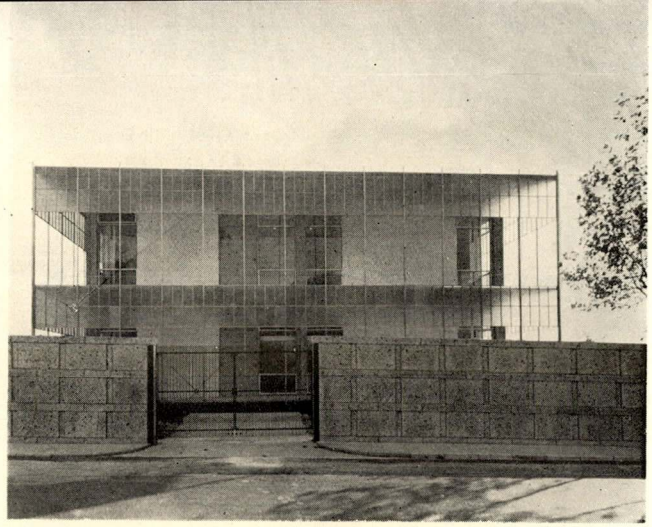
C 棟 （備員宿舎ならびに自動車庫）
地上 1階 延 112.08坪

B 棟 : STAFF APARTMENT 南面外観

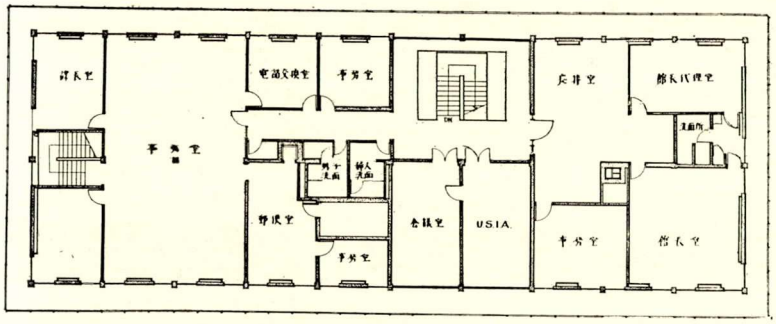




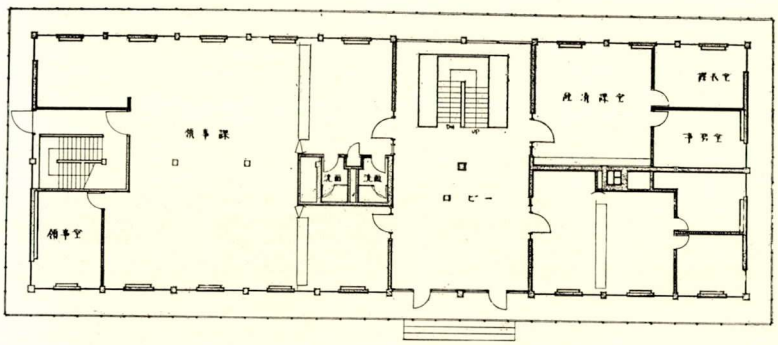
全　　景　（西面より）



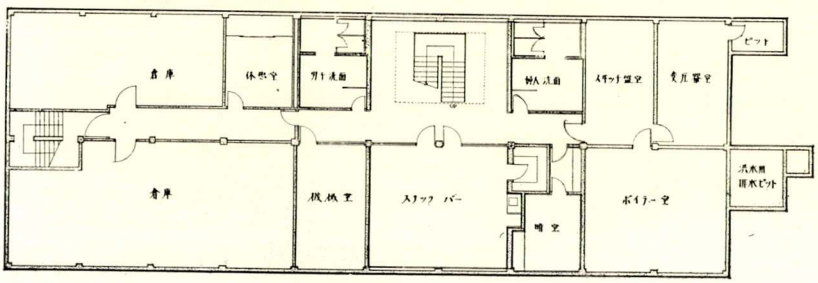
A 棟 北 面



2　階



1　階

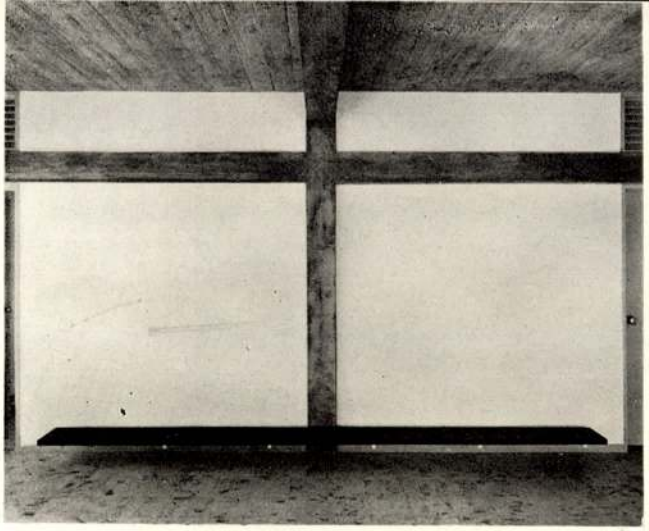


地　階

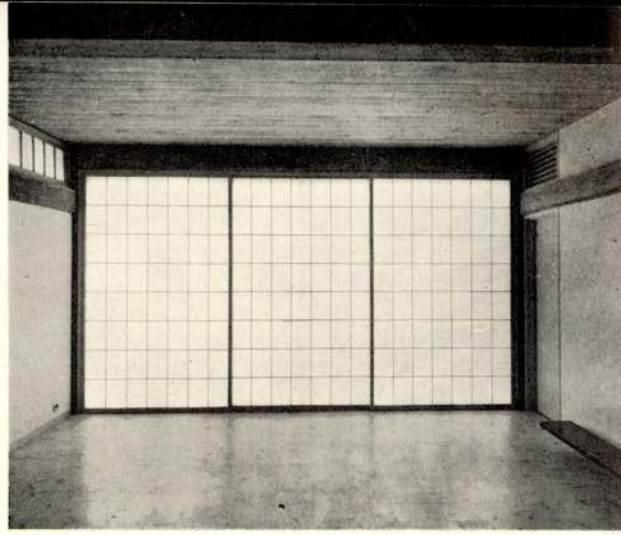
A 棟　OFFICE BUILDING

構造大要　基礎：栗石地形(ベタ基礎)
主体：鉄筋コンクリート造
柱梁・一部天井・壁：コンクリート打放し
地階：アスファルト防水

外部仕上　柱・梁・庇：コンクリート打放面グライダー研
壁：モダイクタイル（2分5厘）貼
窓：嵌殺しサッシュ金網戸付
庇端：ホワイトブロンズ製格子（日除プラスチック板嵌込）取付
正面入口：稲田石敷



C棟　厨房隣の居間兼食堂側面



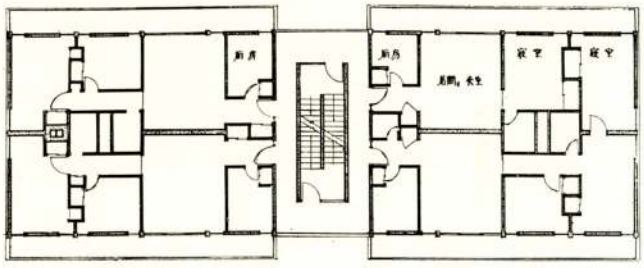
C棟　居間兼食堂

B　棟　STAFF APARTMENT

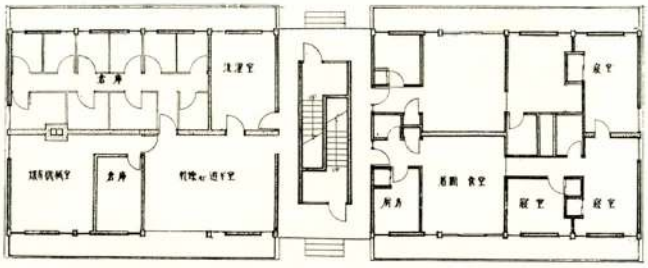
構造大要　基　礎：割　栗　地　形
主　体：鉄筋コンクリート造
柱・梁・天井・壁一部：コンクリート打放し

外部仕上　柱・梁・庇：コンクリート打放しグラインダー研
窓：嵌殺サツシュ，引違硝子障子（鋼製）
壁：那智石（細石）洗出
庇・手摺：鉄　製　手　摺

内部仕上
居間・寝室床：コンクリート鏡押下地アスファルトタイル貼
巾木：木製（楢）
壁　：有孔耐火ボード下地プラスター
天井：コンクリート，プラスターペンキ仕上



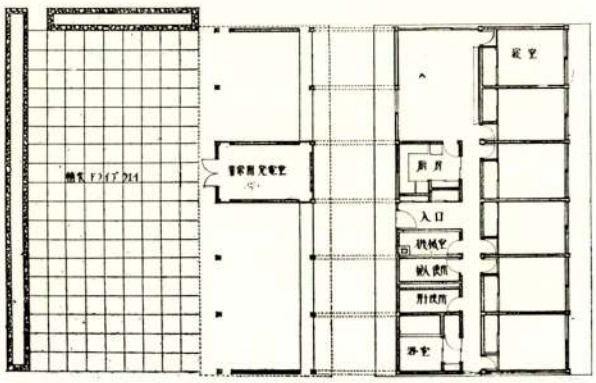
2　階



1　階

C　棟
CARPORT & SERVANTS QT.'RS

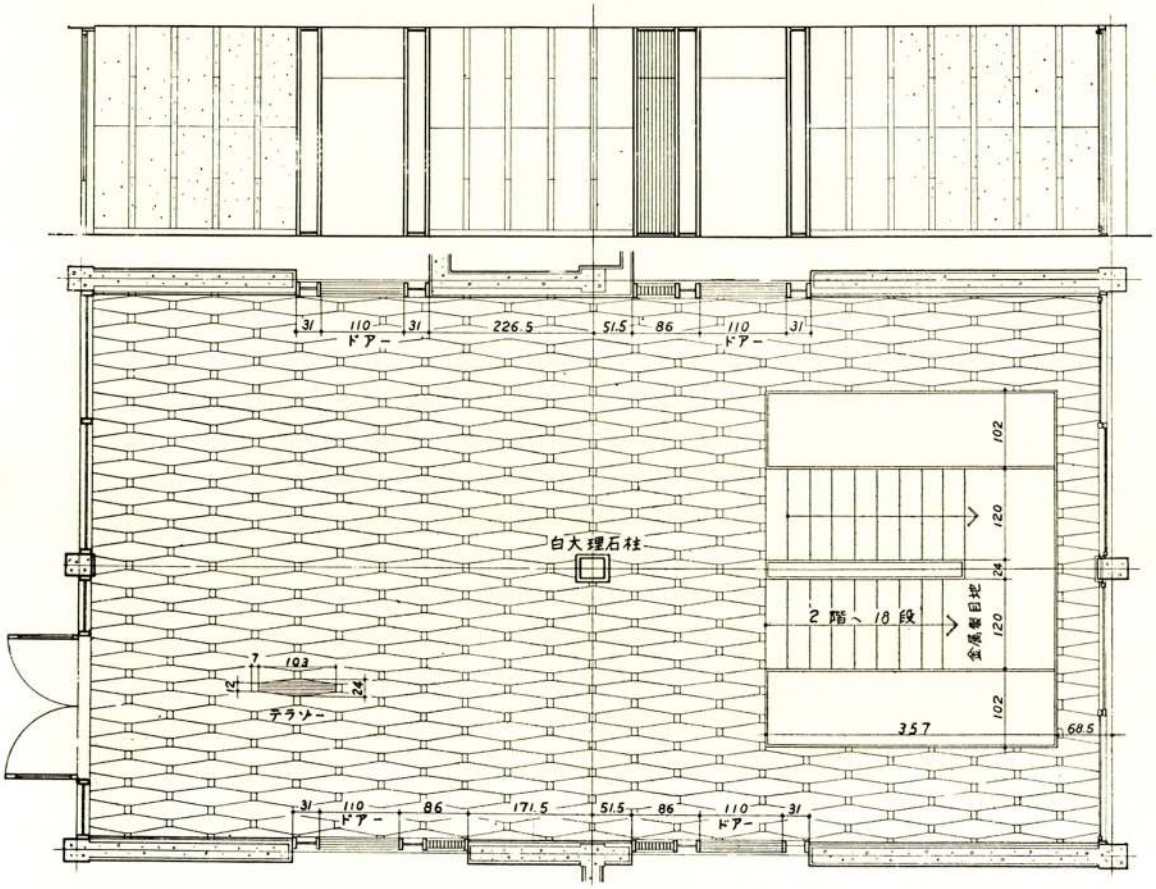
構造大要　基　礎：割　栗　地　形
主　体：鉄筋コンクリート1階
柱・梁・天井・壁一部：
コンクリート打放し



1　階



1階ロビー


31
110
ドアー
31
226.5
51.5
86
110
ドアー
31
白大理石柱
102
120
24
2階へ18段
金属製目地
120
102
357
68.5
7
103
24
テラゾー
31
110
ドアー
86
171.5
51.5
86
110
ドアー
31

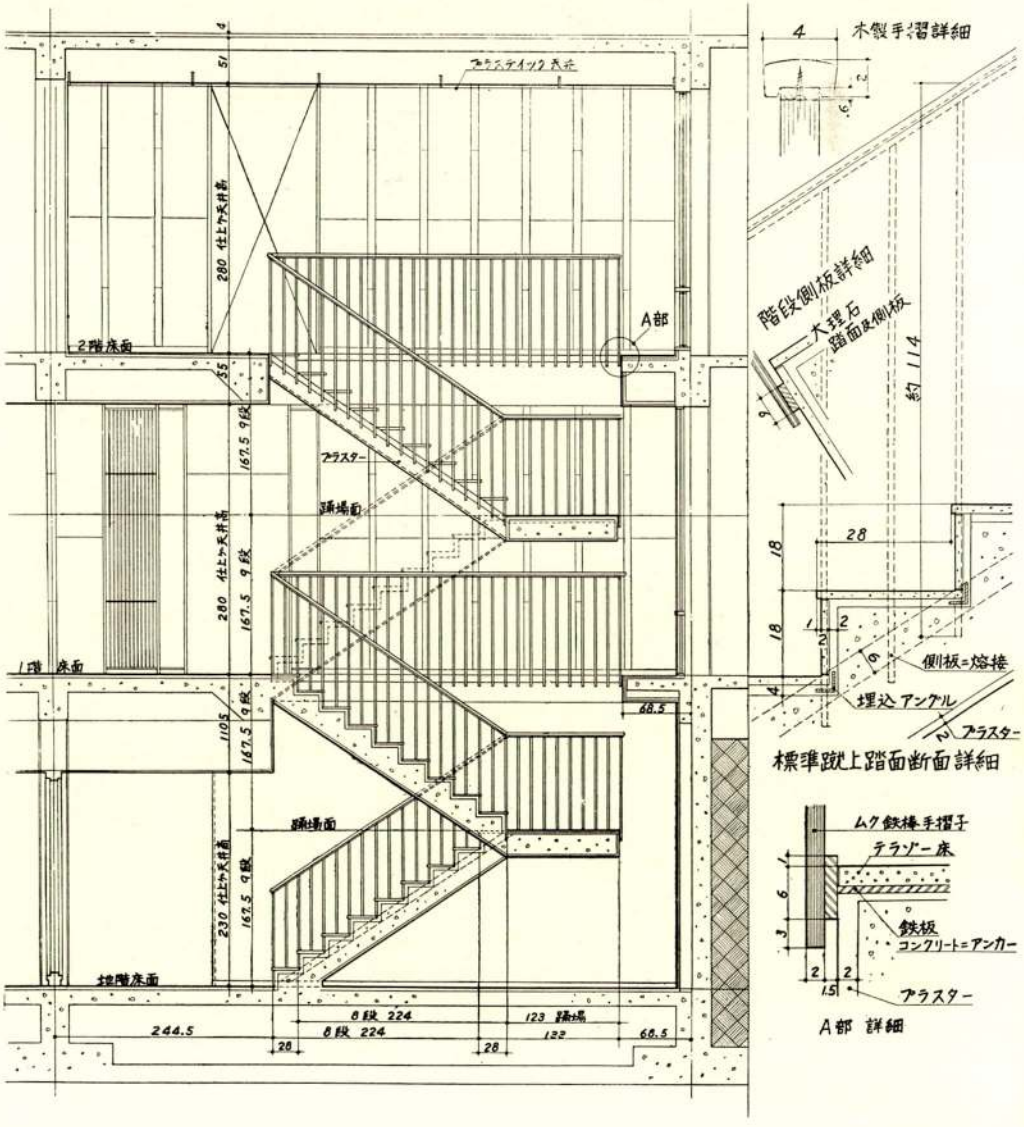
OFFICE BUILDING 1階ロビー

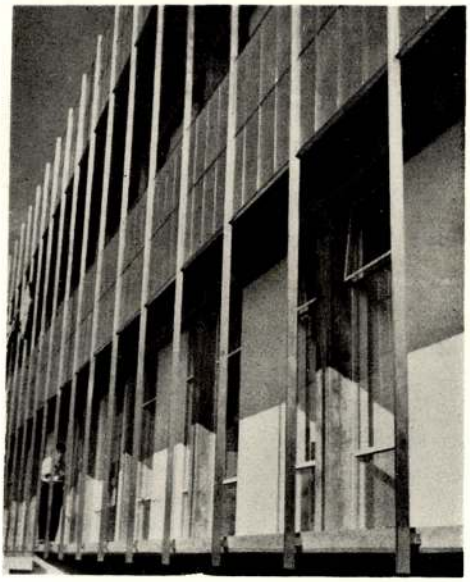
玄関ロビー　床：テラゾー（白サンゴ）異形菱ホワイトブロンズ目地入
柱：白大理石（伊太利産）
壁：大理石（内地産白磨）
天井：鉄筋ラス地プラスター仕上
建具：ホワイトブロンズ枠，木製フラッシキドアー（楢）

正面階段　踏面：大理石（白磨）艶消仕上ステンレス製上付嵌込
踏込：大理石（白磨）艶消仕上
手摺：鉄製ラッカー仕上，笠木チーク材取付

前　頁：**1階ロビー詳細図**
下　図：**階段廻り詳細図**



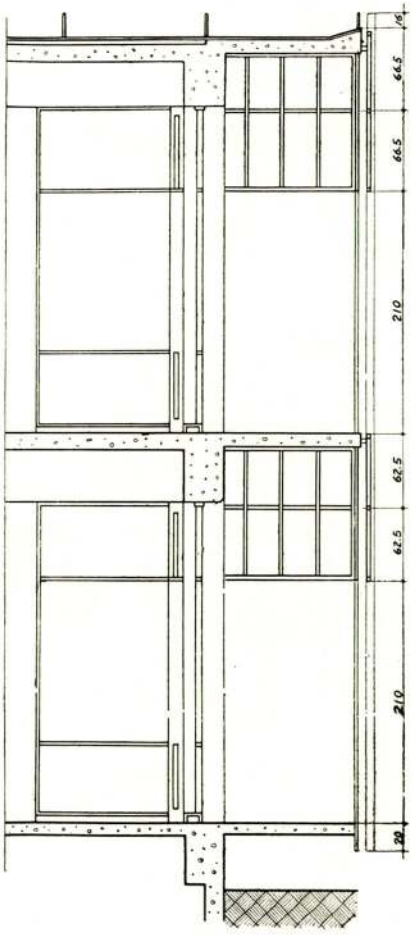


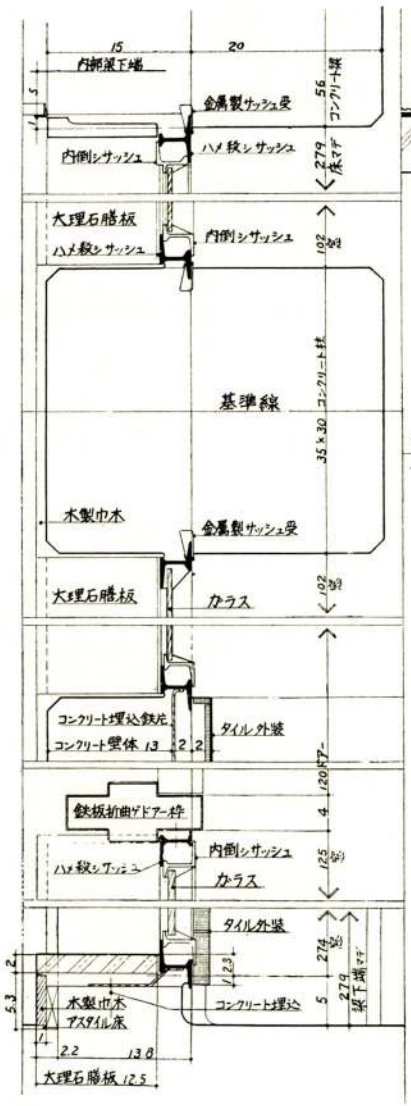


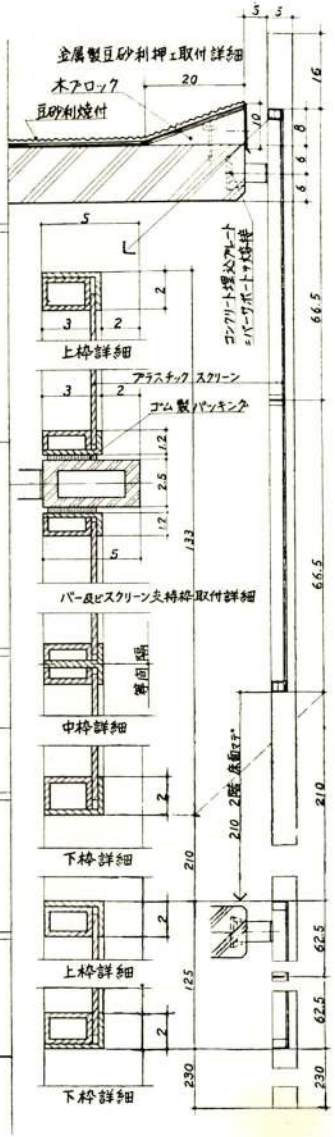
神戸米国総領事館

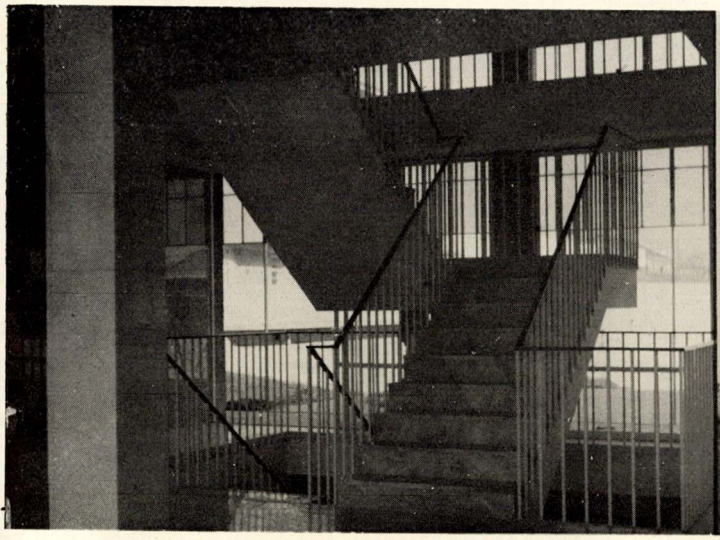
A 棟 OFFICE BUILDING

窓廻リ・サッシュ詳細図

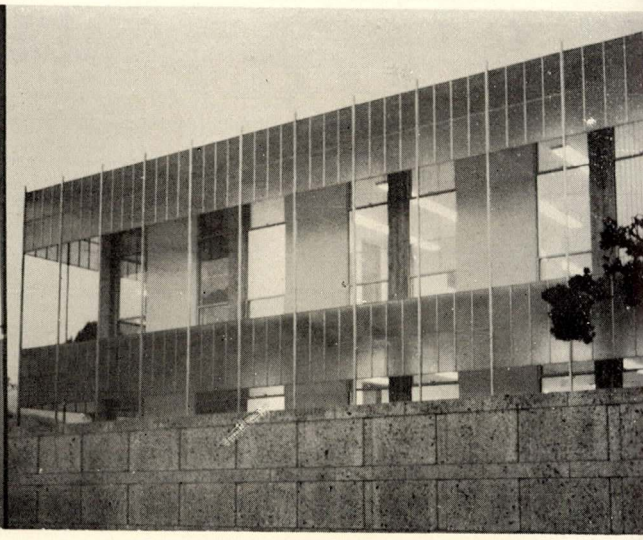








A棟——中央階段手摺（戸網製）

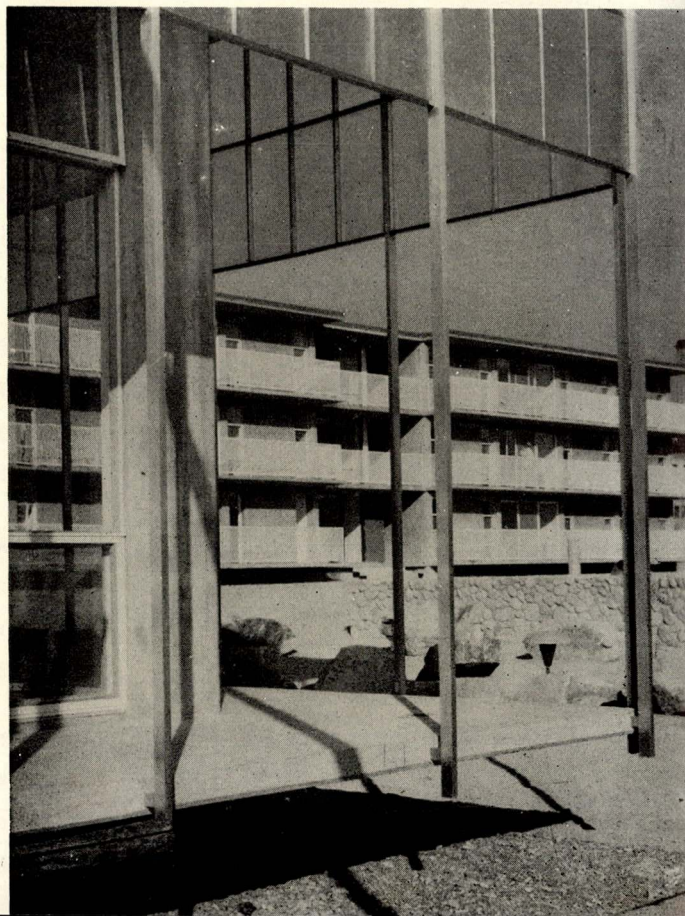


A棟——外装金物（ホワイトブロンズ製）

株式会社　攝津製作所

取締役社長　久保英次

A棟より望むB棟——ギャラリー手摺（戸網製）



神戸米国総領事館

製品をより美しく仕上げるには種々の工作法が用いられるが，製品価値を高揚するには材質を選択し，最も多くの曲面を持つ型材（引抜等機械加工品）を部分材として使用する事であり，亦全ての作業工作の方法をも指示出来得る施工図を作る事が極めて重要である。

いろいろな作業上の問題は，経験により製品別に説明的な施工図を作る事が出来るが，自然の力が製品に与える影響は，かづかづの試験と長時日の実験結果によつてのみ詳しい答が得られるものである。

外部金物工事は金属の持つ強度的な性質を充分生し得た設計であると思う。したがつて，主要材料であるホワイトブロンズ材は指定配合率を地理的にも浸蝕に耐え得るよう考慮され，特製された材料であるが，各々部分材の内部をも潮風雨に浸されぬよう，亦冬，夏期における伸縮作用により金物の耐久力が減ずるかの如き事の無きよう，特別な工作法の研究の結果製作されたものである。

高橋拡厚

建築の眼・担当五十音順・足立孝・岡橋作太郎

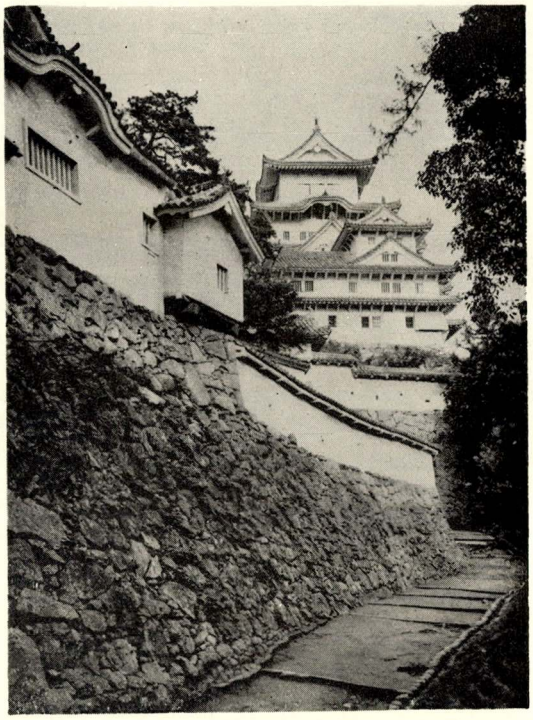
桂離宮に寄す

1　清冽なバクテリヤの居ない白く光る空気は
　上唇と歯の間に一月の味と香を与へ
　松は青く水に影を落し冷徹たる処
　苔むす行石をたどりて
　我は歩む古への中

2　爛熟の桃山を他所に沈滞期の芸術を採り
　貴人の示す最少の品格をデモクラシーに表し
　武圧をのがれて嵯峨の野に憩を求めしなごり
　土橋は幾重にも影を玉石にうつし
　なだらかな屋根の曲線は樹間に重なる

3　苔にうづまる燈籠のわびに我は照され
　巡り見る機能主義の造形
　市松の壁はあでやかに各所に使う遠近法
　時代に光る杉の糸輪は黒くにぶく
　金物のたくみに我は涙す

4　心ゆく系統ある芸術の粋
　材料の自然を貴び自然を愛し
　一木一草の心やりも生き生きとして
　人工を自然にとかして自然とし
　仕事を楽しみ愛せし古人を偲びて果なし　（SD）



姫　路　城



佐野正一・深尾実郎・陶浪貞彦・建築の眼

絵のない漫画

・ペレー　何時でも山高帽を手放さないルナール*村長。
　＊仏作家，「ルナールの日記」
・ライト　歌舞伎の名優，マッカーサー的ポーズが唸らせる，いや，可愛らしい。
・グロピウス　寄席に連れて行って，その顔を見ていたい。
・コルビジエ　しぼまない「赤い風船」*
　＊最近の仏短編映画を想起あれ。
・ニイマイヤー　赤道直下の太陽族
・ガ　フ　本物のコムパスを振るペレス・プラド*
　＊足で指揮するマンボの王様

万一，この書初めを大先輩に見つけられたら，日本人らしく「酒の上の事」ですますつもり。それよりもむしろ，この三ヵ日すら建築から解放され得ない，おたまじやくしは蛙の子の哀れさに御同情願いたい処。

（TK）

精緻と雄大

久しぶりに姫路へでかけて，お城の精緻で雄大な美しさに打たれた。こんな建物は勿論今日では実用上の意味はないし，今後につくられることもない。お寺や庭園とちがってお城の場合は今日の社会機構との断絶がはっきりしている。それにもかかわらず，デザインとして私達をひきつける何物かがあるのは何故だろうかを考えてみた。

議論はいろいろ分れるだろうけれども，多分それは精緻と雄大という普通には併立しにくい二つの感情をよび起すところにあって，私達が平素デザインで追求しているのは多分どちらかに偏している感情だということ，そしてそのどちらかというのも殆んどが精緻の方ではなかったかということである。

あまり簡単な割切り方はいけないけれども，とにかく20世紀の空気を吸っているうちに，何か私達はデザインの上で大きな忘れものをしているのではないかと思った。

（SY）

1957年と1857年　(新ゴシツク論時代)

鳥田家弘

新春に当つて「十九世紀の折衷様式から現代をみよ」という注文をうけた。なんだか当人は墓のなかにいるようで妙な具合だが，事のおこりはもつと威勢のよいことであつた。「おどろくべき題で，おどろくべきことを書け，現代は折衷時代なりがいい」というのが，つまり足立編輯幹事の話である。しかし正直にそんなことを書いたら註に註を重ねることになり，とてもおどろかすわけにはゆかぬ。それでも，新しいということは全く突然新しいことだと信じ，しかも新しいことの模倣をやつている人は，足立君の話にすこし位はおどろいてくれてもいい。私は現代を折衷時代という勇気はないけれども，その頃の新ゴシック時代ぐらいなら当らぬこともないとおもう。ともかく，歴史号にふさわしく百年前の1857年にダイヤルを合わせてみよう。

それにしても，もう少し今のことを書いておきたい。十一月の美術批評に，中原佑介が註だらけの気の利いた批評をのせている。それは，絵の新人が一向に新しくなくて，モダニズムの固定した枠のなかで概念的な模倣から出られないでいるという話で，例のわめき声になりそうなところをうまく笑わせてくれる。題は「概念の概念ということ」とある。「建築家は民衆をどう把えるか」という特集と一緒だから，再読をおすすめする。

これを読んで笑いながら，私はやはりすぐ百年前をおもい出す。この一世紀を隔てて，もののイメージは全く変つたが，言葉や態度はどうもあまり変らないからだ。建築では，民衆・伝統・創造などがこの一年話題になつたが，それも昔と似ている。(もつとも，変つた点もある。それは論理が一そう装飾で掩われるようになつたことだ。あまりに芸術家である建築家の論説は，伝達という機能を無視して一種の装飾芸術になつている。それは判らぬ絵——絵は何も判るというものではない——と同じく判らない。先日の週間朝日の書評欄に「ペダンチックは若人の特権」とあつたけれども，すこし若すぎるようだ。鉛筆でなくペンで伝える概念は，もつと大事にする必要がある。またそこに打出されている新しそうな新語も，反訳してもとに戻すと，ずいぶん古いものがある。)

いま，日本も曲り角にかかろうとしているともいわれ，そこで真に評論が必要ならば，新規さや狷介な差別立てを争うのでなく，もう少しのんびりした広い視野が必要だとおもう。また，現代建築の内部に籠つて前向きを志しても，その位置を明確にすることはむつかしい。そこで，むかしの曲り角のむこうをのぞいて見るのも有用だろう。

百年前の英国の曲り角のむこう，それは日本にはなくて通れなかつたし，そしてそこを通らなかつたということは，今の日本の曲り角に来て大変重要な問題だとおもう。

さて，ダイヤルを廻してゆこう。途中，1897年の声が入る。リバプールの協会長シンプソンが喋つている。「今世紀初めのゴスは偏狭な冗舌をやつた……中期の様式論争はすさまじく救いのないものであつた。……しかし，新世紀を控えた今日の吾々もまた，そのことを忘れてそれ以上のことを争うおそれがないであろうか？」われわれもまた，同じ狷介な論調をむし返してはいないだろうか？

しかし，もつとダイヤルを廻そう。当時の社会主義者であり機能主義者のリザービー。ヴォイゼイ・マッキントッシュ。労仂党・フェビアン協会。田園都市計画。アーツアンドクラフト運動。都市不良住区の問題・街路建築。ウエップ・ノーマンショウ・ボッドレー・モーリス・ラスキン。地方のおやしき・教会・官庁。下水問題・鉄道駅・官庁・教会・大学。ドナルドスン・タイト。ストリート・スコット。コッカーレル・バーリー。そしてバーリー卿の監理中であつた国会議事堂の時計塔から鐘が聞えはじめると，1857年である。

——1857年の建築ニュース——

ビルダー誌から大ニュースを二，三拾つておこう。

1．国会議事堂　もう工事は二十年もたち，上院など大半は開院したが，今年は通称ビッグベンという大時計のついた塔が完成した。子供映画のピーターパンがこの周りを飛んでいつたのを御覧になつたとおもう。その鋳鉄の屋根構造と仕上材とで，屋根の鉄量実に300トン。平面はせいぜい30坪位だから，まことに不経済なものであつた。（ついでに，議事堂全体の屋根トラスには莫大な鋳鉄が使つてある。造園技師パクストンが，工業博の建物（水晶宮の前身）の公募締切りのあとで急にその設計をはじめたのは，彼がこの下院の鋳鉄工事を眺めていてバーリー卿の鉄の使い方はいかんと思つたからだと，彼自ら講演で述べている。ところが，この工業博で最もすばらしいと好評だつた鉄とガラスの半円形の屋根は，実は技師パクストンの原案にはなくて，逆にバーリー卿がスケッチして，その原案を変更したものである。この辺のことは建築史の概説書では飛ばしてあるから，別に一度書いたが繰り返しておく。ついでに困る誤りがある。議事堂をゴシック様式と書くのはよいが，一緒にバーリー卿までゴシックの大家と書いた本は間違いである。端折つて一人一作位しか挙げないから間違うので，彼は当代第一の古典派である。当時なら，彼を今日いう意味の折衷派としては，やはり当らない。議事堂にはゴシック派のピュージンが協力していて，なるほど表に出た装飾は政府の要求通りゴシックらしいものだが，だからゴシックだといい切るには一寸問題がある。今日，装飾を否定する人は，装飾あるものの背後を透視することも出来るだろう。）

2．ローヤル・アカデミーの教授交替　病い勝ちとなつた古典派のコッカーレル教授に替つて，ゴシック派の闘将スコットと折衷的なおとなしいシドニースマークとが講演をはじめるようになつた。この古典派からゴシック派への交替はアカデミーはじめてのことで，次の論争と絡んで大ニュースである。スコットは同時にＲＩＢＡの副会長もつとめていた。

3．世紀の論争を引き起したロンドン官庁街計画公募案の発表　建物でいえば外務省と軍事省（あとでは印度庁舎）の建物であるが，上記のスコットがその立役者であつた。これをめぐる論争は彼のアカデミー講演などとあわせて，あとで述べよう。

この時代の懸賞設計のやり方は今とちがつていた。まだ審査が決まらぬうちに，応募案の全部が一般に堂々と公開され，大展覧会の形となり，雑誌の多くの頁にその展覧の模様，案の紹介・批評などが掲げられ，下馬評・ゴシップの投書まで出ている。審査決定前にこうして全案が公開されるのは，一見如何にもガラス張りで公平なようだが，実は驚ろくほどさまざまの面倒が起きており，国家的な大設計で審査から着工まで悶着なしに済むことは，ほとんどない。その上この官庁計画問題は，景気の変動や内閣の交替，印度の成りゆきなどが響いて，足掛け四年に亘る政治問題となり一層面倒であつた。建築界はその被害者の方であつて，別に建築論争が原因で解決を遅らせたわけではない。簡単にいえば，当年秋の不景気が建築論争を引起したといえよう。（そういえば日本で建築評論が急に出はじめたのは，少し前のデフレ不景気が原因だと何かに書いてあつたようだ。）

4．その他　建築界の内部にいろいろのニュースがあるが，分離が良すぎて建築論の狭い範囲しか聞きとれぬのでは，その時代が判らないという雑音好きの人もいるから，もう少し巾をひろげてその当時を一覧しておこう。

当時，大陸の後進諸国の工業力も次第に英国に追随しはじめており，上記の工業博はそれを振り放して昔の貿易上昇の率をとり戻そうとする目的に出たものであることは周知の通りである。鉄や機械にもそろそろ景気・不景気の波が立ちはじめていた。しかし何といつても英国は世界一の工業国であり，その販路も世界中の植民地に及び「地球上，日の没する所なき」大英帝国を誇つていた。時の首相は愛称オールドパームという，外交だけが自由主義で内政は吉田さんに似た頑固おやぢであつた。そのゴシック嫌いも有名である。外交だけの自由主義というのは，それで競争した方が先進国英国には得だからである。本年，印度に暴動が起り，翌年にはムガール帝国が潰され，遂に印度は英国の直轄統治に変つた。これは建築論争に大関係がある。というのは，不況による大蔵省の緊縮政策でとりやめとなつた軍事省の替りに，この直轄統治のための印度庁舎が建つことになつたからだ。この庁舎は，国内予算を一文も使わず一切印度からしぼつた金でまかなうということになつた。

しかし建築界は平和を愛するのが常であつて，前年の印度の大疫病には，印度民衆の環境衛生の改善を望む博愛的な記事がビルダー誌に散見される。植民地印度のことは，しかし末の話で，当時全く過密になつた国内大都市の貧民住区（労仂者住区とも書かれ，この二つは当時同義語であつた）の改良ということは，既に大問題の一つであつた。その対策は当時出来てきた換気理論による中庭通気の改良と下水処理である。（医学が換気理論という社会的視野を開拓する前の貧民住区対策は逆であつて，急にふくれ上つた貧民区に地区教会を建てることが第一の問題とされていた。）ロバートオウエン式の地方住区の計画はまだ一般化されず，大都市の住宅問題が主である。チャーチスト運動は下火になつていたが，労仂界は十時間労仂制から九時間労仂を闘い取れという段階にあつた。

そのほか，都市の街路計画（道路だけではなく，その両側面に並ぶ建物を同時に考えている）・無数の教会や都市建築の公募・鉄道新線の開通――その都度，地方古建築紹介――ゴシックの流行・その都市一般建築への進出などなど。まあその位にして，建築論に重点を移そう。

――様　式　論　争――

スコットが外務庁舎の実施設計と監理を依嘱されるまでは，公募作公開後二年近くかかつている。経費削減で大蔵省がもつと安手の旧案（ペネソーンが昔，立案したもの）を持出そうとしたり，それに対してＲＩＢＡが入選者を無視するものだという抗議を申入れたり，入選順位の変更を見たり，その間，恰好な小説の種になりそうな，いろいろのことがあつたが，とても書ききれないから省いておく。ともかく，首相をはじめ下院議員が大騒ぎをしている。しかし素人談議だから，そこには後世のいうようなつまらない様式模倣論争がずいぶんある。だから事件として見れば，シンプソンがいうように救いのないものだし，このように政治に揉み苦茶にされた作品が世紀の傑作にならなかつたのも止むを得ない仕儀だろう。

様式論争は，古くは国会議事堂公募の際にもあり，またピュージンが気の狂う直前1850年にも，ピュージンやスコットと功利主義の素人評論家ファガスンとの間にもむし返され，今度は三回目であつた。しかし，その都度次々に論点は移つて来ている。はじめは後世のいう通りに様式模倣の間の争いであり，二回目は功利主義の導入。その結果，三回目は単純な模倣様式の争いだけでなく，何が現代性をもち民衆の常識と結び，かつ創造を担いうるかという論争になつている。

もつとも，議員間の素人論争の中心は，ゴシック案が不経済であること，その窓は暗くて採光・遮光・換気に不便なこと，僧院にはよいが事務所建築の目的に適わないこと，世上伝えられるような国民建築ではないこと，などとその反駁とに集中され，その議論は，類型的に古い様式をイメージに描いてやるからどうしても妙な模倣様式論に堕ちてしまう。スコットは窓の採光問題をはじめから重視して，自分の案とロンドン中の古典風の官庁やクラブの実測結果を比較し，自分の方が大きく明るいと主張する。それでも，反ゴシック議員は聞くだけ聞くと，ゴシックの窓は狭くて暗いという。（明るい感じというものは，単に照度や輝度の問題では片付かぬ。）従来，古典建築に比して北方ゴシックこそ窓の建築だと自負して来た常識からすれば，ゴシック派はあいた口が塞がらない。首相はゴシックの利点は採光にあるという説を否定せず次のようにいう。「しかし，シャッターが取りつけにくい。朝三時にやつと寝ようとすると，すぐ朝日がさし込んで来て，ゆつくり休めない。」

こんな論争だけが当時の論争なら，何も今更書くことはない。しかし，こんな論争だと思つている向きが多いので困るから，書いておく。もつと重要なのは，創造に関係して，古典派とゴシック派の根本的な論争点は何かということである。

スコットは，上記のような論争に閉口して，「窓の形はアーチでも四角でも構わない。現代の要求と材料が求める形の通りにすればよい。状況によつて方立があつてもなくても構わない。われわれの時代，現代の洗練と工夫，窓の豊かな採光，現代の美術をもたらせばよい」といつている。ビルダー主筆のゴッドインはこれを引いて，「今のところ中世建築の単純な再製に反対する人々は，彼の言を理解していない。――またスコット派のうちの多くの人も古例に固執していて，そのため却つてスコット自身を悩ましている」などといい，低俗な様式論争を警しめている。また公募案公開当初の彼の批評を見ると，スコット案に一応フランス・ゴシックとかイタリー・ゴシックとかいう様式名を挙げてから，次のようにいつている。「こうした命名をスコットは否定するだろう。彼はある特定の国の一様式を求めるのでなく，抽象的意味でのゴシックを求めているのだから。――」そして，彼の作がイタリー風に見えるわけを推測して，「それは，イタリーに宗教以外の中世建築が多いためか――スコットが今日の官庁街に多いルネッサンス様式との不調和を避けようとする幾分ましな努力をしたためか――あるいはまた，スコットのデザイン上の性格が，国内に閉じこもるより，もつとイタリー的もしくは，大陸的な巾をもつているためか――それらの何れかだろう。」といつていた。要するに，流行するゴシック模倣を否定し，類型的な様式論争を排し，「いま問題なのは，一様式の何等かの新発展ではない。ゴシック運動も，もし美術を問題とし，一般に考えられているよりもつと高いところを問題とするならば，それは優れた建築美術のもつ真理として共感しうるようになるだろう。」という。

このゴッドインの希望は正しいが，しかしスコットをも含めてゴシック派はやはり狷介な精神から抜け出すことは出来なかつた。ゴッドインのいう抽象的意味でのゴシック――すなわち，その構造・用途・気候の重視，地方的伝統の根源性の上に立つ現代性などは，様式模倣とは無縁の内容主義として，建築の基礎的反省を促がす長所をもつていた。けれども何より不具合なことに，それは他と相対して差異を立てようとする偏狭な党派性と自己主張に結びついて離れえなかつた。しかし結論を急がず，そのゴシックの合理性というものを聞いておこう。

――新　ゴ　シ　ッ　ク　論――

スコットは，アカデミーで数年におよぶゴシック論を述べている。第一講は中世ゴシック論だが，その結論で

は，「ゴシック運動は過去のものを正確に復興することではない」として，新ゴシック派のとるべき態度が，要約次のように述べられている。

「むしろわれわれは，自らの民族と自らの時代に属する建築をルネッサンス以来久しく持ちえなかつたという事実を，深く感じとるべきであり，そして現代の要求に適うわれわれ自身の美術の新しい発展を望まねばならぬ。」「そのための基盤には，われわれ自身の民族と国とに固有の建築を据えよ」「この固有の原理の研究は，やがては，古典の伝統から来るものより一層吾々自身のものとなる将来の建築を創造しうるであろう。」

その研究の結果，ゴシックの原理は構造・即用・自然な態度にあるということになる。「ゴシックの合理性」という講演から引こう。「ゴシックの様式は神秘的なものから作られたのでない——それは当り前の実際的な要求に応じて，平明なコンモンセンスを用いることから来ている。」「建築の目的が，コンモンセンス・自然の法則・材料の性質などに即した方法で果されているかどうか，またその結果が不釣合な労力・資材の支出なしに出来たかどうか，が問題である。」「このコンモンセンスの原理が示す道は，平面計画が全く自由であることにある——内部の実際的要求に外部のデザインが全く従うことにある。」「不整がよいか均斉がよいかは，ただ実際上の要求からきまる。ゴシックの不整の形そのものを求めることは，吾々の潔しとしないものである。」……

こうした内容主義は，1840年前後のピュージンのゴシック論にはじまり，50年前後のラスキンの七灯・ベニスの石にも見られ，スコットがいい出したわけではない。ただ，教会や地方住宅から進んで，都心の一般建築にまで，このゴシック流行を強引に押しひろげて来た点に彼の特徴がある。教会・官公庁・事務所をはじめ，彼は730件におよぶ当代第一の仕事量を抱えて図面の近代的量産をやつてのけた。彼の事務所は当時ゴシック派にとつて私設アカデミーであり，党本部であつた。彼は出張先で，どの現場にゆく予定だつたか忘れ，電報で問合せるほど多忙だつた（電話はまだない）。古典の異教仮装や初期浪漫主義の中世仮装を拒んだゴシック派も，こうして一度流行に乗つてしまうと自らを失なうことを拒みえない。スコットは，ゴシック運動が超えねばならぬ障害として，「競技設計の探湯の審判のような不合理」と「建築家の不自然な迎合的な流行便乗」とを挙げている。しかし，後者を超えることは特に十九世紀の都会ではむつかしいことであつた。

ドナルドソン教授は，ゴシック流行を「商業建築の一種の広告」だという。自由競争の商社商店は，都市の秩序統一というエチケットを守つておれなくなり，自己を他から際立たせて広告するためにゴシックの対比の強いものを用いるようになつたのだという。一般の定評のようにゴシックは貴族の反動なのではなくて，近代資本主義の自己表出に応じるわけである。しかし，まだ当時の街路建築は三世紀の長い都市伝統——古典の秩序統一を失なわず，結局ゴシックは挫折した。中世都市のような自然さの代りに，商業的な看板広告としてしか受け容れられず，そのゴシック理論は後の機能主義や構造派と通じたものをもちながら十九世紀では挫折した。むしろ古典の長い伝統が，都市建築のエチケットを支えるものとして都市建築の広告化を救つている。（二十世紀の日本の都市は，そうした伝統をもたず，そのエチケットが破れたのちの外国都市建築を輸入して来た。いま問題の社会的機能を担うというピロチも，本当に個々のＰＲという広告を脱するには，まだ考えるべき点が多かろう。）

——要　す　る　に——

もう引用するひまがないが，結局ゴシック論には，低俗な様式模倣や広告看板を除けば，二つの面があつた。一つは，平面の重視・構造・即用・内的なものからの造型（つまり後の機能主義のようなもの）。もう一つは地方的伝統に創造の基盤をおき民衆と結ぶということ（これは今日もよくいわれる。民衆の意味がちがうだろうけれども，しかし民衆は民衆だ）。そしてこの二つは，三世紀間の古典の伝統から断絶しようという狷介な精神で支えられている。創造に関わる根本的な問題というのはこの精神の可否である。

古典派が秩序と統一と美をねがつたことは，別の機会に二，三述べたから，くわしくは書かない。「古典の伝統は普遍性を軸にして来たが，ゴシック派の地方的伝統は分派の末にかかわる狷介な差別立てであり，それは常に他の価値に引きずられて自らの塗り替えに心を奪われている」という主旨は，コッカーレルやタイトがよく述べていることである。広量な精神・普遍性ということと狭い精神・派生的な地方性ということは，われわれにとつても考えるべき問題である。そしてまた，美なるものは一々特殊であつても，それを生むものはやはり広い精神だとおもう。

われわれが今，社会的機能などというとき，少なくともあの狷介な新ゴシック論を繰り返えさぬようにしたいとおもう。ゴシックは小石を無数に積む構造，われわれのはギリシャや鉄やＰＳや木造真壁のような構造で大差がありながら，その評論が似通うのは残念である。ゴッドインは当時共存ということをよく説いていた。足立君は現代は折衷時代なりといえという。そうなるか，新しい別種の統一を回復しうるかは，こうしたゴシック論に似た狭さを超えてからであろう。

（筆者・神戸大学工学部助教授）

日本の古建築における基準寸法

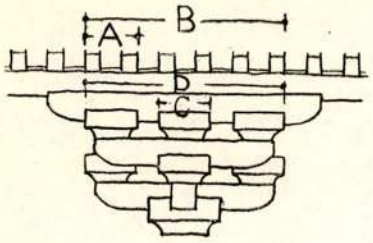
大森健二

▶現在，新しい建築界においては，建築生産における基準尺度として，または美的構成の数学的な解法としてモデュール（module）の問題がとりあげられている。果してこのようなものが，かつて日本の建築界において存在したことがあつたか。実はそれは，ある意味では工匠の便宜的な目安であり，しかもその用い方が限られた局部的なものではあるが，日本の歴史的な建築において，明らかに規格基準となるべき寸法が存したことが認めうるのである。通常これを我々は「木割り」なる語でよんでいるが，この「木割り」は観方によれば，甚だしく綿密な計画によりおこされ，また，まことに見事な実績を示していたものともいいうるものなのである。

実はこの「木割り」や，日本の古建築における技法的な問題の調査や研究は，きわめて初歩的なものであつて一つの建築技術史として通観しうる体系は未だ出来ていない現状のようである。この調査に関し，もつとも便宜的な位置にいる古建築修理技術者として，この調査研究をすすめ得ない筆者としては，まことに汗顔の至りであるが，一応思いつくまま表題に関し，あらまし述べてみよう。

▶ここに複雑な斗栱（マスグミ）構成をもち，軒は地極，飛檐（ヒエンダルキ）垂の二種の垂により支えられる深い軒出となり，しかもその垂が緊密に，ぎつしり打ちならべられた建物があるとする。実際は，現存する寺の本堂か社のような古い建築は必ずといつていい程そのような構成をもつているものであるが，初めてこれを観る時は，一体どのような基準により，いかような技術がこれの完成を支えているものかと考えざるを得なかつたものである。

この複雑な構成をもつ斗栱に対し，一定の方式を定めることが可能となつたのは，即ち斗栱のみについていえば，所謂「六枝掛斗栱」の技法の完成したのは，日本建築史の位置からみて，そんなに早い時期のものでないことが明らかにされている。実は斗栱の構成に際し，一定の基準なり規格が出来上つていくのは，斗栱と垂割りとが密接な関係を持ちはじめてからであつて，現存の実例から案ずるに，その時期ですら，鎌倉中期をのぼることが出来ないのである。厳密な意味の「六枝掛斗栱」の如きは，更に降つて，遺例からは鎌倉末以上には考えられない。日本建築史上からみて，斗栱割りの技法の完成は



甚だしくおくれたものといい得る。しかしながら「六枝挿斗拱」は建築生産または計画における局部的な規矩にすぎないものというには，あまりにも計画性のすぐれたものでありすぎるということが出来るものであつた。

▶既に御承知のように「六枝挿斗拱」においては，

A＝C となり，同時に B＝D の関係が必ずまもられる。ここでA＝2(椪の巾)＋(椪の隙間)

であり，また普通この時期における（椪の隙間）は（椪の成い）に等しいから，上式は次のように考えても支障はない。即ち

A＝2(椪の巾)＋(椪の成い)

ここで，椪の成いは巾の二割り増しとの基準寸法の割りつけ法を適用すると，更に上式は

A＝(椪の巾)×3.2

となる。ここでは椪の寸法さえ定めれば，斗栱の寸法の如きは，自動的に算出されることになる。いわゆる江戸木割でいけば，大斗は肘木巾の三倍であり，大斗の巾は柱の太さに等しいのであるから，この因果関係をたどれば，椪の巾を決定するだけで，直に柱の寸法まで定めることが出来る。更に斗栱の出の如きも，また軒の出も軒鼻の木負か茅負の反り上り量も，その寸法も同様の方式で求まつていくものなのであつて，逆の面から見れば建築の計画に当つては建築家の恣意の如きは，全く押えつけられるが如き感さえ抱かしめるものなのである。

▶普通，木割り技法のもつとも進歩した江戸時代の建築が，前代のものと比較して，甚だしく見劣りのする理由として，木割りそのものが，確とした美的尺度の基準となるものでなく，いいかえれば誤つた建築規準尺度であつたということと，今一つは木割りがあまりにも精密になつたため，設計にあたつて，もはや身動きのならない位置に建築家を追いこみ，この結果，作家の創造的意志を全く捨てさせるようになつた点があげられている。このうち後者については，これ以外に建築家そのものの質の低下か，時代的にみて美術生産の不振をあぐべきで，必ずしも木割りそのものに責を負わすことは出来ないであろう。前者の木割りそのものの影響については，筆者は更に別の事由を考えている。即ち，それは，建築のあり方そのものに，建築の芸術的な価値を傷うものが存するに至つたと考えるのである。

▶上代の建築においては，斗栱は勿論のこと，地椪や飛檐椪も明らかに構造材であり，それは深い軒出を支えるにも，また屋根の荷重をうけるにも必要欠くことの出来ないものであつた。平安時代に発達した野小屋の構造はまず地椪飛檐椪の有していた構造的役割を一部開放することに成功し，ついで鎌倉時代に発展する桔木(ハネギ)構法及び更に徹底的な小屋組構造は，終には化粧椪をして，全く構造的役割から解き放し，あたかも地椪飛檐椪は，化粧屋根裏なる名称が適確にこれを示すように，天井に類する形式のものになつてしまう。ここでは椪は，荷重を承けるものでなく，実は荷重そのもの自身となり，強固な桔木により，これにとりつけられるに至るのである。化粧椪の勾配が緩くなり，その表現的な取扱いが自由になつた裏には，椪自身が構造材としての使命を放棄し，逆に荷重となつて桔木にぶらさがるようになつた事実をみとめねばならない。このことは斗栱についてもそのまま当嵌る。斗栱はその構造使命としては，一番外側の桁である丸桁を支持するものであつたのが，丸桁そのものをはね上げる丸桁桔木の発生により，全く無意味な構造材におちてしまう。このため丸桁は，もともと斗栱と均一のものであつたのが，全く不釣合が大寸の部材となり，丸桁と斗栱が外観的に見て別のものになつてしまうのである。この状態においては，斗栱は単に柱上と桁との間をうめる装飾的なものと考えても支障はなかろう。

▶日本建築の美の要因として，常に軒先や屋根の張りのある力強い構造的な美しさがあげられるが，軒先架構において，純粋に構造的な要求から力学的に定められる緊張感のあるものと，単に装飾物としてお座なりに配置された構造とは，自ら差異の生ずるのは当然であろう。木割り技法の発達をとげる時代や，当時木割りの規準尺度の探究のために採り上げられた建築の属する時代が，前述の如き，構造物としての本質から遊離し，純粋さの欠ける建築が一般化されている時代であるとしたならば，その木割りの示す処は自ら明らかである。

▶勿論，木割りによる基準尺度の確立にあたつては，ル・コルビジェのモデュロールの如く，審美的な立場からまたは美を創造しようとの意図のもとに行われたものでないことは認めねばなるまい。今まで述べた式の木割りの目指しているものは，複雑な各部材を総合的に配置し

それに一つの統一をもたらすためのものであつたろう。各部材の比例寸法の如きも，工匠の現場における目安的なものとして定められたものとの感も深い。しかしながら一方，単に斗栱やこまかく打ちならべられた棰に対する配慮からのもの以外に，建物の全体的なプロポーションについての考察の結果に基く木割りも，また別に存するのである。例えば複雑な斗栱等を有しない書院等に対するものもある。これについては既に藤原義一氏が「書院造の研究」の内に詳細を述べておられるが，以下若干これを引用してみることにしよう。

▶書院造の木割りでは，各部材の寸法比を次の如く定めてゆく。即ち，柱の太さは「新編武家雛形」によれば，6間に7間の建物の場合は6×7＝42坪で，柱の太さは4寸2分と定めている。この定め方は必ずしも実状に沿つたものでなく，この外にも天井高さによる割りつけ法もある。藤原義一氏は，正面の間数に係数として6を掛ければ，適当な寸法が実例で得られると説いておられるが，このような木割り法が用いられたとすれば，審美的にも一つの合理性を有するものと考えられないこともない。書院の木割りでは，柱の太さが，次に述べる柱の面とあいまつて，各部寸法決定の基準尺度となるのである。柱の面は柱太さの10分の1なり，何分の1というものを定めるのであつて，前述の雛形では，柱幅を7分しそれを両方の面巾に定めている。ここでは面巾の見付は柱幅の10分の1となり，柱の面内は10分の8となる。以下各部寸法は柱幅または柱面幅により限定されている。即ち長押の太さは雛形では柱の面内としているが，これは丁度柱幅の8割，他に面をいわず単に柱幅の8割と初めからうたつているものもある。以下一応雛形の字句にならつて各部寸法を記すことにすると，落縁板の厚みが柱面内の半分，縁葛の成いが柱幅という風に定めていくのであつて，桁の下端は柱面内，成いは柱幅，茅負の成いは柱の片面おとしで10分の9，反りは茅負1本，裏甲厚さは茅負半分，棰の下端は柱面内半分，小舞の成いは棰成いの半分と軒先まで規準寸法で割つていく。なお大斗の寸法は巾は柱二本，高さは一本と細いところまで定めている。

▶以上の書院造り即ち広間建築における木割りの基準寸法というものは，その示すところは斗栱におけるものとは若干の差異の存することが判る。もとより，その体裁は同じようなものを示しているが，そのねらいとするものに，別の面があるかに観察されるのである。前のものが複雑な細部に，あたかも振りまわされているかの状況を示すに反し，後者には何らかの自立性がうかがえるのである。それは結局は単純なものに対する基準寸法の定め方が，一つの方式を創る上に比較的容易であり，複雑なものに対しては現実に方式をあてがうのが精一杯の理由もあろうが。

▶現在，日本の古建築における基準寸法としての「木割り」は，死物化したものの如く考えられている。もつと悪いことは，木割りの大系のほぼ完成した時期，即ち江戸中期以後の建築に全く見るべきものがないということが，木割りそのものに何ら価値のないものとの先入感を植えつけていることである。既に述べたように，筆者は木割りそのものを排する気にはなれない。ただ，これを結果的に見る場合は或は無価値のものであるかも知れないが，その方法において，木割り完成への過程の面において，はるかに学ぶべきものがあると信ずる。複雑な斗栱をある一定の方式化された枠の内にはめるには，確かに枝割りを基準尺度として考えた手法は賢明であつた。枝割りの完成せぬ前にも，やはり建物に対する基準尺度の存したことが認められる。それは1尺なり2尺という一つの完数値を基準とするもので，例えば肘木の長さの如きも，斗栱の真々を枝割で押えて寸法を定める以前は，肘木長さを一つの完数に定めて斗栱を組んでゆくやり方であつたため，常に斗栱廻り棰廻りに混乱した状況を示していたのである。また書院造等の広間に対する各部寸法の基準として，柱の幅をとり上げていることも，日本建築の美的な面における柱の役割からみても，また構造力学的な観点によつても，確かに当を得ているものであり，竪の部材と横の部材との間の比例関係の出し方も，よく日本建築の本質をとらえているものといえよう。「木割り」はその体系において，基準寸法設定の技術的考察において今日もなおその生命を持続している。新しく建築の規準尺度を考察するには，古い木割りの示唆するものは，決して捨てうるものではなかろう。

（筆者・滋賀県技師・文化財保護係）

明治以前における建築生産の諸形態について

川　上　貢

建築生産は建築が土地に結びついて現場で生産を行わねばならず，また機械的多量生産が困難であること，生産品も流通性に欠けていますことなど，他の一般消費物資の生産に比較して制約される面がきわめて多いことが特徴です。生産方式には現在は需要者において生産手段をもち資材を準備して行います直営と，建築業者に註文してつくる請負との二つが主として行われています。しかし，前者の直営は限られた場合で漸次減少していまして，請負によることが，ほとんど普通のことになつています。請負という言葉は現在では土木・建築請負を代表する場合が多く，請負業といえば土木・建築請負業を指すほどまでに建築生産の方法のなかで請負の占める比重はきわめて大きいことがわかります。

請負の定義を民法のなかによりますと，それは「当時者の一方がある仕事を完成させ，他方がその仕事の結果に対し報酬を支払う契約」（民法第632－642条）と規程されていますように，別に建築生産だけに見られる行為ではありません。土木・建築に代表される請負生産は，わが国ではどのような発展経過をたどつて今日に至つたのでしようか。建築請負の場合をとくに考えてみることにしますが，わが国では建築請負をもつてする事業が広般に行われるようになつたのは江戸時代になつてからのことで，それも封建制度の枠のなかで，きわめて制限された状勢の下でのことですから，停滞的で大きな発展をみることができませんでした。高度の資本が投下され合理的経営が行われるようになつたのは明治維新の変革を経てからのことです。現在，斯界で十指の内に数えられる有力業者もその草創の時期は二，三の業者をのぞいては殆んど明治年間であることを考えますと，その歴史はまことに浅いものであることが知られます。このような近代的経営の請負業が成立する以前の建築生産形態についてここに考えてみることにします。

古代　律令という成文法が制定されて天皇を頂点にもつピラミッド的中央集権体制が成立した奈良時代には主要な建造物はすべて国の費用でつくられていました。そのために官制による造営機構，例えば造営省や造寺司が設けられて，その直営によつて施工されていました。例えば造東大寺司には木工所・造瓦所・鋳所・山作所の下部組織に分れて木づくり・瓦の製造・釘・金物の製造・材木の伐採・製材などの直営工場を所有していますし，また造寺司に配属された技術者は国家権力で駆り出された多数の役民を監督し指導して建築をつくり上げています。これらの殆んど直営態勢のなかで，一部ではありますが請負が行われていることは注目すべきことと思います。それは762年の石山寺造営のときに，様工として出現していますが，檜皮の採取とその葺工事にみられるものです。しかし，檜皮葺工は材料を支給されていまして単なる手間だけを請負つたものですから，この場合は賃請にしかすぎません。

官営機構による造営は律令制が整備し，中央政府への貢納がスムースに行われていたときには順調に進行しましたが，ひとたび律令体制がくずれてきますと機構は有名無実のものとなり，経費に欠乏を来たして生産は滞り勝ちです。平安時代も半ばを過ぎる頃には官営機構による生産は停止してしまいます。これに代るものとして，寺院などでは，それ自身に営繕機構をもつようになります。つまり，寺院の内部に木工・瓦工・壁工などの技術者をかかえて寺院収入によつて生産をまかなうようになります。つまり，生産は国家による集中的経営より，個人による分散的経営に変化します。さて，日常の小修理では，このような個々の生産組織や私経済でまかなえますが，大規模な生産になりますと，その負担は容易ではありません。その場合の国家援助の便法として平安末期より鎌倉初期にかけて盛んに行われた方法に成功というものがみられます。これは，ある一国の国司に命じて宮廷または寺院施設の造営を完成させるもので，国司への任命または，重任を許す代りに，国司はその任期中に国中から取りたつた税金でもつて建築生産を請負う方法です。したがつて大内裏のように建物の棟数が多い場合には多数の国司によつて分担されることになります。摂関

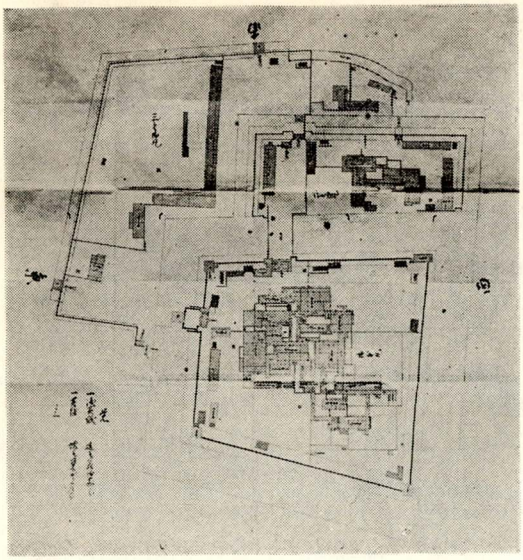
政治の時代，諸国司が藤原氏一門で占めていたところから，藤原氏の氏寺である興福寺，あるいは一門の長者である人の邸宅などは，多数の国司を動員することによつて，その建築の完成は容易に行われます。さて，成功は国司が中央政府に対して請負うのですが，国司がその生産手段を直接に把握しているわけでなく，朝廷や寺社に直属する技術者を便宜的に利用する程度であつたようです。この時代の技術者には政府に属して下級官人の地位にあるものの数はきわめて少数で，寺社においては下人に等しい身分と待遇しか与えられていませんでした。しかし，その技倆に関しては高く評価されているものもあります。京都東寺の大工為末はその一人で，彼は1149年高野山金剛峯寺金堂のデザインをしていて，東寺と高野山の木工77人，檜皮工，鍛冶など諸工の惣大工として高野山に出向いています。この場合，高野山に山上・山下あわせて61人の木工が直属していながら，東寺の大工が配下の工11人を引き連れて参加していますが，これは東寺と金剛峯寺とは本末の関係にありますので，本寺である東寺大工が優位を占めたのです。支配系統が異なつている場合には技術者の協同，または交流は認められていません。即ち，封鎖的な荘園経済の下では自給自足が原則になつていました。したがつて資材においても，商品として流通し交換される度合はきわめて僅かでした。

中世　鎌倉，南北朝，室町の三つの時代を中世としてまとめ，この期の生産形態を損色（ソーシキ）と呼ぶ文書について伺つてみることにします。損色というのは奈良・平安時代においては破損目錄または破損調査書とでも見做される内容をもつた文書で，これは一般に官営施設に関して破損状況を調査，報告して修理のための準備に役立てられたものです。鎌倉期以後には修理の他に建物を新造する場合にも資材や経費を見積つた書類を損色と呼ぶようになります。即ち，建築に着手する前に予め損色を作成して資材や経費の準備に役立てるわけです。南北朝期の例ですが，1364年，京都八坂神社の鳥居を造営したときの例をみますと，八坂神社に所属している木工大工が，その職分である木工とともに鍛冶，丹塗，手伝，足代など造営に必要なすべての資材の数量寸法，そして手間を見積つて損色を作製し，造営責任者である奉行に提出しております。この場合，その施工を木工大工が一手に引き受ければ木工大工の請負になるのですが，施工は木工・鍛冶・丹塗の各職に分けて，それぞれの職人が担当していて，奉行が総括しており，木工と鍛冶は八坂神社に所属していましたので，やはり直営と見做されます。しかし，木工大工は支給された材料に加工する手間仕事の範囲を超えて，材木の入手に尼崎にまで出張して奔走し購入の責任をもたされていること，そして上記の損色を作製していることなどをみますと，業者として独立し自営する能力を具えていたと見做すことができます。当時の社会経済的状勢が未だその自営を許す段階に達していなかつたことが神社直営の大きな理由といえましょう。

公家や寺社などの有力領主に技術者が隷属した状態は中世においては座，または大工職といつた形で示されます。座は建築関係では木工・壁・檜皮などの職別に組織された団体で領主の許可を得て加入が認められ，座人の他は領主の与える職仕事に参加することができませんでした。大工職は領主より補任される一種の特権で，平職人に比較して上棟や竣工の際，領主が出す祝儀や祿物のわけまえが最も多く与えられますし，事実上，職人や仕事を統制する地位と身分を保証されていました。室町時代には大工職は細分され，極端な場合には棟別に存在していました。大工によつては1人で多くの大工職を独占するものがみられ，そして大工職の独占をめぐつて大工の間の争いが多く発生しました。1435年の例に，一つの建築工事の着手前に3人の木工大工より損色を提出させて1人の大工を選んでいる場合があります。これは指命入札に相当するものですが，損色がこのような手段に扱われている例は，この頃に多く見受けられます。

上のようにして選ばれた大工は指図をつくり，材木の購入や点検を行い，そして配下の木工を指揮して造作にもタッチしていて，今日のアーキテクト以上の広い職能をもつていましたが，未だ奉行の権能を超えることは出来ませんでした。ところで奉行というのは先にも記しましたように作事の総指揮者であり，建築主に代つて作事を完成させるための，すべての権力をもつていました。建築主にとつては奉行人の選定は作事の完遂に大きく影響しましたので，普通は建築主＝領主の有能な部下を任命する場合が多いようですが，その人を得るために，とくに部下以外の適任者を選ぶ場合があります。例えば清水寺や醍醐寺の造営奉行に相国寺や南禅寺の禅僧に依頼している場合がそれです。なお奉行には月俸や衣料が支給されています。

近世　信長や秀吉によつて武家の手で封建制が完成されますが，それは公家や寺社の中世的領主権力の解体を意味し，旧来の領主に隷属していた手工業者をそれらから切り離し，封建大名の統制下に再編成していきます。つまり，上記の座や大工職の中世的諸特権は否定され解体されて，改めて大名権力のうちに諸職の技術者をくみいれ，その技能を城下町や城の建設に有効に役立てる態勢をつくり上げました。そして江戸幕府の創立，幕藩体制の確立はそれらが制度的に完成されました。幕府にはその営繕組織として御大工頭の支配下に大棟梁・大工棟梁・肝煎の階層別に身分・家柄の固定した組織がつくられています。御大工頭は江戸と京都の両地に設けられていますが，京都御大工頭は中井氏が世襲していまして，畿内と近江の六ケ国の大工・大鋸・杣・三職の職人を支



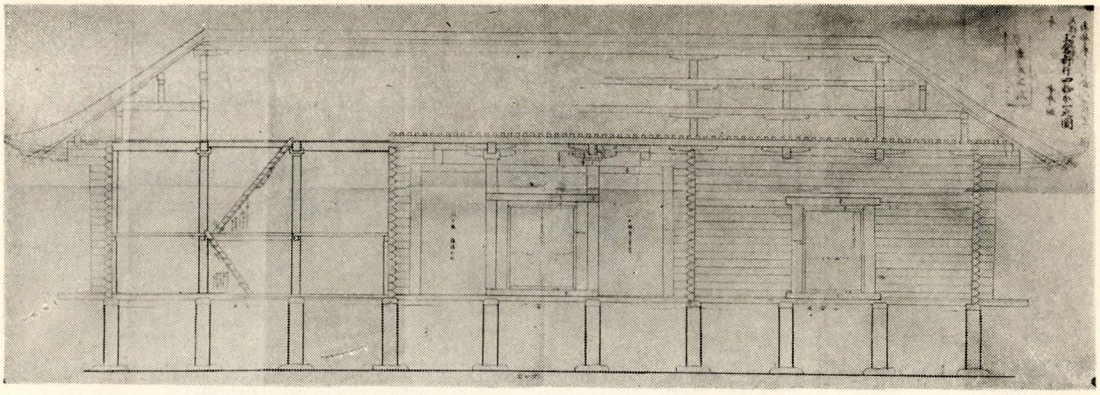
第1図　1670年，近江永原御殿修理のときの指図（中井忠重氏蔵）。本丸，二之丸，三之丸の各郭に所在した建築の平面を記し，修理と撤去の区別を彩色で区別している。図の全面にヘラで方眼をひき，その一目盛をもつて柱間1間＝6.5尺を表示する。

配していました。即ち，畿内と近江の大工職人は地域毎に組に編成され，中井家より鑑札が下附されて営業を認められました。これは宮廷や幕府の施設の営繕には無条件に参加することを義務ずけるための措置でしたし，また職人の移動を禁止する目的をも持つていました。大工組の内容を1695年の堺の例についてみますと，堺全市で四組に編成され，一組は36人から70人ほどの大工で組織され，各組は組頭，惣代各一人で統制され，さらに全組を2人の年寄りで統制しています。組への加入は相続または親方と組頭の承認を必要としましたので誰でも自由に加入できませんでした。そして組の定書によつて職仕事に関し厳重に規制されています。

次に生産形態についてみますと，初期においては直営についで請負が現われてきますが，次第に請負によるものが直営に代つてきます。1602年から着手された二条城の建築作事は，所司代板倉氏を作事奉行とする直営作事で，資材は入札によつて購入し，大工頭中井藤右衛門の指図の下に多数の大工を京都・大和・河内の各地から雇傭して行われました。設計と現場の監理は中井支配の大工棟梁が行いますが，これは幕府直属の人々です。同じ直営であつても中世のそれと比較しますと，資材の入手において当時の商品経済の発展に即応した情勢を巧みに利用し，職人も広い地域に多数を動員していることなどに飛躍的な発展を示しています。

請負においては1592年に寺院の門作事で檜皮大工が木工大工の競争をしりぞけて請負つた例がみられます。従来，諸職を指導する立場にいた木工大工に代つて檜皮大工が請負つているところに平等な条件の下に身分格式にとらわれないで作事に参加する機会を与え，適当な職人の選択をゆるす請負のもつ，より進歩的性格をうかがうことができます。寛永年間になると，幕府が実施する作事に請負が目立つて現われてきます。1633年の京都知恩院の造営は幕府の費用によるもので奉行に譜代の大名が任命されていますが，材木の入手や諸職の工事は入札請負で行つています。この頃の請負の内容を詳細に知る例には，やはり幕府が費用を出して造営した美濃南宮神社の場合があります。江戸の幕府大工棟梁が設計した図面と仕様書をもとに，諸職の人に入札させ職別ならびに一式請負で本殿をはじめ諸建築がつくられました。業者には各地の人が参加していますが，江戸・尾張・美濃に比較して京都の人が大部分を占めていますのは，未だ京都が中世以来の伝統をもち，諸職の業者が集中していたことを示しています。なお，三重塔のみが一式請負ですが落札者は京都の石屋で，この人は同時に職別の石工をも請負つています。落札者は奉行宛に請状を出していますが，これが請負契約書に相当するもので，それには2名の請人（保証人）が連判しています。その内容は材木・木引・大工・屋根葺・石工・鍛冶・手伝・塗物・かさり金物・彩色・鋳物の各職の仕様を略述し，完成期日を明記し，材料の品質と施工の万全を保証しています。それに加えて，完成前はともかく，完成後においても施工の不完全による破損の補償を請負者が負担し，そして落札者が期日まで完成できないときには請人が代つて完成すること，落札者・請人ともに未完成で放棄するときは，両者の家屋敷・家財を召し上げられても文句を言わないことなどが明記されています。請負主の損失保償規程がなく義務のみを強制し，建築主の利益のみを考えた一方的契約に終始しているところに封建制度下に行われた請負の性格をよみとれます。

この例の他にも1668年の比叡山延暦寺根本中堂や大講堂などの修理，1670年の近江永原御殿の修理などは何れも幕府経費による請負で上例と同様な契約内容が知られています（**第1図**参照）。1698年，大和法隆寺の西大門の作事も一式請負によるものでしたが，ここでは請負はこれまでも，しばしば行われたらしく，どの工事にも適用できる請負見積書の書式が制定されていました。そして上出の契約内容と同様のことが決められていましたが，それ以上に物価の騰貴により最初の見積額より経費が上回つても，それは請負主が負担することを明示していますのも注目されます。先の永原御殿の場合に物価の変動を理由としていませんが，経費が見積額より増加し



第 2 図　1836年.東大寺正倉院宝庫修理のときの地割図。大工善助の一式請負で行われ，この図はそのときの監督者中井氏所持の控図（京都府庁蔵）。断面と立面を一図で表示した当時の作図手法がうかがえる。

たときは追加払をしない，また減少しても値引させないことを仕様帳に明記していましたことと比較して，その間に契約内容が更に，細密化していることがうかがえます。これまでの契約にみられますように，建築主が請負主に一方的な奉仕を強制していまして，請負主にとつては救われるところがありません。実際上，工事経費を見積額より極度に切縮めることによつて利益を生みだすことができたのでしようが，その間のシワヨセはつまるところ，下層の職人たちの上に集中することになつたのではないでしようか。（**第 2 図**参照）

江戸時代のはじめ，幕府の所在地江戸では町の開発，住家の建設に多くの職人を必要としました。大名諸候の江戸邸宅建設には，京都より，または国元より職人を呼びよせて職人不足をかこつていましたが，その後，一世紀を経たときには，やはり江戸の邸宅建設に国元の材料や職人をわざわざ送らせるよりも，江戸で有り合わせの材料を使い，職人を日傭で雇つた方が経費が安上りになるといつています。商品生産の増加，貨幣経済の発展にともなつて大名その人ですら消費支出の切りつめを真剣に考慮するようになつた社会経済上の変化がうかがわれます。したがつて，日常に多数の工人を抱え，自家生産の資材にたよる直営が減少して請負による場合が急激に増加を示してくるのも当然のことと考えられます。請負生産は庶民の間にも浸透して多くの例がみられます。先出の堺大工仲間の定書によりますと，入札に関して多くの規程があります。大工職人は原則として，その縄張り範囲が確立していて，これを得意出入といつていますが，相互に他の出入先を侵さぬように，いましめ合つていました。そこで，出入先の作事は出入の大工職人にまかせるのですが，出入大工の承認を得て入札を行う場合もありました。入札には作事対象が町内会所のときは町の家持出入の大工，寺社のときは，その檀家出入の大工町方では町表の出入大工，そして借家は家持出入の大工のみが入札することができました。なお，落札したものは入札に加わつた人々に，その人々の見積作料として請負額の何分かを支払うことが定められています。その他種々な入札に関する定めがありますが，このことからも入札による請負が都市において広般に成立していたことを裏付けることができます。

上のような大工職人の組仲間組織は1843年，幕府の天保改革の令により，その活動の停止・解散が命じられていまして，先出の諸規則や拘束が取り除けられ，職人の移動や新規の営業が自由になりました。しかし，天保改革そのものが封建的支配階級の特権的生命をひきのばす苦肉の策でありましたように，職人の営業の全面的自由を目標としたものでなくて，在来の仲間の特権的職人の他に職仕事に従事することを許されなかつた人々を新らしくその支配のうちにくみいれようとしたものです。したがつて，新規の職人も，やはり中井家の免許が必要でありましたし，中井家の支配を脱するものではありませんでした。

上来みてきましたように大工組仲間で代表される職仕事の独占的性格は他職の屋根葺・左官・手伝にも共通するところです。したがつて，これらの職仲間に加入していない素人が，その職に従事することは禁止されていますので，建築請負業を営むには各職の営業者に限られることになります。一般に請負者に大工職人が多いこともこのような制約に由来しているといえます。したがつて請負業者には大工の親方または棟梁の枠外に出ないで，その営業規模や，活動も小さいものであつたと思われます。このようなところに封建制度下に行われた建築請負業の停滞性や限界が考えられます。建築請負そしてその業者の大きい発展は封建制が打ち破られ，多くの拘束するものから解放されるところに期待されます。それは明治維新の変革まで待たねばなりませんでした。

（1956.11.26）

（筆者・京都大学工学部建築学講師）

アンケート

1. 卒業当時，感銘をうけられた建築その感銘について

2. 卒業当時，感銘をうけられた書籍その感銘について

3. 当時，お考えになられた将来への抱負・夢などについて

世代（第二次大戦の戦前前期，戦前後期，戦中，戦後）を異にする下記の建築家の方々に，学校卒業当時の思い出のお話を左記アンケートの要領で書いていただきました。これによつて，現代建築の発展史の一端でも知ることができれば幸いと存じます。

戦前前期	竹腰健造
	村野藤吾
	滝沢真弓
戦前後期	東畑謙三
	鴻池藤一
	小川正
戦中	足立孝
	光安義光
戦後	菊竹清訓
	羽藤文男
	薬袋公明

戦前・戦中・戦後と世代を異にする建築家は学窓を出たとき何を考えていたか

竹腰健造　東大建築科　大正元年卒　現在　双星社竹腰建築事務所々長

1. 実のところ，卒業後感銘をうけた建築は日本にはない。当時の教育は欧州の建築を基本としていたので，学校の講義や写真で見せられた西洋の建築に憧れをもつたことはある。大学卒業後，直ちにパリ，つづいてロンドンに行き，ノートルダム，ウエストミンスター・アベーを見ては，さすがに人間の組立てた大きな芸術という深い感銘をうけた。

2. 蘆花の「思い出の記」，鷗外の「即興詩人」と Mrs. Oliphant の “Makers of Venice”

「思い出の記」は私等と同時代の人は読んで若い血を沸かしたもので，九州の田舎の中学から笈を負うて東京に出で，一高，東大と進み，やがて卒業期になつた，多情多感なその頃の私には，小説の主人公が九州の出であるだけに，胸をうつものがあつた。「即興詩人」は卒業直後，イタリーを旅行しながら読んだので，書中のイタリーの国状は実際とは違つていたけれど，その中に出てくる風景，建築と共に感銘を深くした。“Makers of Venice” は，ベニスの興亡と芸術とを巧みに織りなして書かれた名著で，感激をもつて読んだ。

3. 私の家庭が九州で炭坑の経営をしていたのだが，私はこの事業がいやで仕方がなかつた。工科で炭坑に関係のない仕事といえば，まず建築ぐらいのもので，仕方なしに建築科に入つたので，別に大した抱負もなかつた。とくに私の周囲には，建築に関係のある者は皆無であつたので，将来はどこか官庁の営繕課長にでもなればと考えていた位だ。あとは，ただ運命の導くままに，揺られ揺られて今日になつた。一度は建築界を離れたが，敗戦のため追放となり，また建築でなければ生きていけぬ破目に陥つた。これも運命であろう。

村　野　藤　吾　早稲田大学建築科　大正7年卒　現在　村野・森建築事務所々長

1. 日本の建築については，卒業当時とはいえないが，ともかくその頃と記憶しますが，中村順平氏設計担当の「如水会」には感心しました。それより後かと思いますが，長野先生の諸作，殊に正金銀行神戸支店。これは恐らくずつとあとかと思います。

如水会の建物はその当時としては自由型，殊に内部に感心しました。また家具が非常によいと思いました。徹底したルイ風のデザインのものには当時の私としては及びもつかないもののように，今でも記憶しております。

2. (1)ハワードの田園都市　(2)中央公論誌上における田中王堂のヒュウマニズム諸論　(3)萬朝報紙上における茅原華山の社会時評に関するもの　(4)有島武郎の小説の殆んど全部を愛読。

(1)，(2)，(4)とも一連のヒュウマニズムに感流。

(3)は前記と共鳴する社会的共感によるもの，かと思わる。

3. 今のように，設計で飯を食うようになる，否，なれるとは自信をもつていえない状態でした。もちろん抱負などといえるものは夢にもありませんでした。今だつて「ごりむちゅう」ですが，当時の私としては生活することが精一杯，第一次欧州大戦後の物価高の社会状態を見て，ただ撫然とするばかりでした。建築に興味をもつような気持ちになるのは，ただ自分のスケッチに色を塗つて心ひそかに喜ぶ時ぐらいでしたでしよう。いくらか夢らしいもの，建築家としての襟持を心の底に持ち得られたかと思われるのは，何といつても，佐藤功一先生のレネサンスのレクチュアーが心の底にしみ込んでいたからであるように思います。先生一流の講義ぶりは非常に印象的で，何かしら高遠なものを，また否現実的なものに対する興味を誘い，自然に建築的な形而上的な世界というものを心の目で見るように教え込まれたことを思い出します。これは今日迄どんな暗い世相にあつても，私を建築に釘づけにさせてくれた力ではないかと思います。これが夢といえばいえない状態ではないかと思います。抱負など当時はもちろん，今だつてありません。

戦前・戦中・戦後と世代を異にする建築家は学窓を出たとき何を考えていたか

滝　沢　真　弓　東大建築学科　大正9年卒　現在　大阪市大教授

1. ドイツ人の遺していつた青島の諸建築。

第一次大戦は私どもが，高等学校に入ると同時に始まり，大学在学中に終つた。周知の如く当時の新建築はドイツがリードしていた。が戦争とともに万事休すの形だつた。戦後，青島に旅行して初めてドイツ人の作品に接し「こりや本物だ」と感嘆した。

2. Worringer：“Formproblem der Gotik”（ヴォリンガァ「ゴシックの形式問題」）

戦後，新着の書として読んだ。難解なところ多く閉口したが，その論理も文章も卓抜なのに感銘。尚その後，シペングラアの「西欧の没落」にも感銘。後日顧みるといずれも，当時の表現派思想を反映したものというわけだ。

3. 伊東忠太先生の西洋建築史の講義でセセッション運動の話を聞いたり，第一次大戦後ドイツにまたも新運動が起りつつあるという報道に接したりして若い情熱をかき立てられた。卒業まぎわに石本喜久治，堀口捨己，山田守，矢田茂，森田慶一などという連中に誘われてやりだしたのが「分離派建築会」の運動。まるで虹のような夢を画いたわけだが，それでもこの夢は十年つづいた。悪口をいわれると口惜しくて論戦もした——今から省みると冷汗三斗の思いではあるが。

東　畑　謙　三　　京都大学建築学科　大正15年卒　　現在　KK東畑建築事務所長

1. 2. 3. 私の学生時代はクラシックの万能時代より漸くモダーンに移らんとする時代といえよう。ことに計画の方を教わつた武田五一教授はこの方面の権威であつたので，ギリシャよりゴシックに至るまで大いにたたき込まれた。今にして想えば先生はモダーンがきらいであつたのではない。クラシックを素材として計画の根本である構成の方法をしこまれたのであつた。私は今では先生の教授方法に感謝している。しかし若い学生にとつては新しき思潮にどうしても傾倒する。丁度，大学の三年のときに分離派の講演会が大阪の堂ビル中山講堂であつた。たしか森田，堀口，滝沢の諸先生の話である。有志数名で，はるばる大阪まで聞きに来た。世人はどうしてこの運動を認めないのか，なんと聴衆は私ら以外にわずかに四名であつた。こんな時代に旗あげされたこれら先輩の意気たるや全く尊敬の限りである。

当時，これらの先輩の創られた京都駅前の郵便局や農場の門等に感銘をうけた。クラシックでは，大阪中の島の図書館であつた。外国雑誌では英米のものはクラシックばかり，ドイツのワスムートや，モデルネバウフォルメン等がやや新しき傾向のものをのせていた。ライト，ペルチッヒ，メンデルゾーン等が国内でも，もてはやされていた。スタイルに対して懐疑的であるが，さて，これらの新しき建築家の作品も，その余りに造型的ないき方にとけ込むわけにはいかない。私は，ゆきつまつて想いなやんだ。上記ワスムートの雑誌の大正13年頃の中に好きな小住宅のスケッチがのつていた。作者はフランスのLe Corbusier と書いてある。書物 Vers une Architecture より，と紹介してある。早速，丸善を経てこの書物をとりよせた。書中，パリーの博覧会の L'Esprit Nouveau館や，アパートの設計図がのつている。私はこれこれと思つて暗雲が一挙に開けた感がして，フランス万歳を叫んだ。仏語の未熟な私は幸いに Hilberseimer氏の独訳本を見つけ，氏の思想の大要が理解できた。わが国では当時 Le Corbusier が，いかなる人なるや誰も紹介する人がなかつた。当時，京都大学建築学教室の研究発表雑誌「建築学研究」の第3号，昭和2年6月号に〝Le Corbusier に就いて〟として氏の思想と作品との大要を紹介した。おそらく，わが国で彼を紹介した初めてのものだと，今でも小さい誇りをもつている。原稿を校正している最中にフランスの雑誌が届いた。そしてゼネバの国際聯盟の新館の懸賞設計の当選案が発表されていた。その中に Le Corbusier の名が出ていたので，これはなかなか偉い人に違いないと思つた。じらい三十年，今なお世界の建築界のパイオニヤとして活躍する氏を思うと，建築家の生命も永いものだと感心する。ただ個人的には最近の作品より20年ばかり前の作品の方が好きである。Le Corbusier は年をとらないが，私は年をとつた関係かと反省している。当時，感銘をうけた書物は，上記以外に Gropius の Bauhaus 叢書があつた。そのうち Oud の〝オランダ建築について〟とか，Theo van Doesburg の〝新しき構成芸術の基礎概念〟等の書籍が印象に残つている。ことに後者は物の見方の原理をわかりやすく書いた書物で，今でも座右に置いている。若き日の感激と夢とは今なお，なつかしいものである。

戦前・戦中・戦後と世代を異にする建築家は学窓を出たとき何を考えていたか

鴻　池　藤　一　　早大理工学部建築学科　昭和12年卒　　現在　会　社　役　員

1. 国際劇場（浅草），東京宝塚劇場（日比谷）

古くより多くの人々に親しまれてきた東京の帝劇，大阪の中央公会堂が共に当時の施工上よりして，僅かな出の「ギャラリー」さえも支柱で受けねばならなかつたために，1階に死角席を避け得なかつたものを，昭和に入つてから構造力学，施工法ともに大いに進歩して，何等支柱なくして10米に及ぶ長い片持梁の「ギャラリー」を完成し得たことは，当時数学や構造力学に興味を持つていた自分にとつては，なかなかに感銘の深いものであつた。

2. ㋑天沼博士「埃及記行」㋺和田篤憲「雲助道中女」

㋑建築史には当時，大分熱を上げていて飛鳥，奈良時代は勿論，埃及や希臘の古代建築となると，丁度若い女学生が舞台の男装の麗人に夢中になる程度に，ただ文句なしに憧れを持つていたものであつた。卒業直前にたまたま手に入つたこの本を，卒業設計を毎日午前2時か3時まで書いていても，床に入つてから半時間ぐらい読まねば寝られなかつた記憶がある。

㋺この書物は徳川時代における道中の制度や風俗について実際の資料に基づき，実に興味深く書かれていた。今日に至るまで道路交通に対して深い関心を持つようになつた動機を作つた。

3. 将来の抱負等というと漠然としたものはとにかく，纏つた考えの如きものは正直なところ何一つなかつた。素直にいつて抱負よりも卒業して，やれやれと思つたのが，正直な気持であつた。自分のように型にはまつた現実的な頭の人間には，夢に類する美しい想像や希望等が入り込む余裕もなかつたのかも知れない。余り色々と考えていると苦しまぎれに今頃になつて無理に抱負を偽造する懼れがあるので，この辺で切り上げます。

小　川　　正　早大理工学部建築学科 昭和12年卒　現在 株式会社竹中工務店設計部長

1. 日独文化会館（村野藤吾氏設計）

貧困な学生なりの感覚でしたが，そのアプローチ表通りから見たあの風格，中庭や広間の木部の取扱いについて感銘を受けました。第二次大戦後，機を見てゆきましたが，京大の研究室となつて全く荒れ果てているのを見て，むしろ強い憤りさえ感じました。

2. 建築様式論叢

書架の中から取出して見ると，扉には，学生の頃この集成を見て欲しいと思いつづけていたが，絶刊になつていた。大阪の古本屋でこれを見つけた時の嬉しさから懐中豊かならず，定価の倍くらいの価格であつたが飛びついた思い出が残されていました。

3. 私事になりますが，亡くなつた父が同じ仕事をしておりましたので，何の不思議なこともなく建築の道を進むものとなつておりました。当時，父は住友から大林の方へ関係をしておりましたが，私には竹中へ行けという半ば命令でした。デザインをするものが請負に行くのかと級友からも，たしなめられたことでした。

しかし部内の空気や机をを並べておられる著名な設計者の手伝をすることに，当時の低い条件など気にならなかつたのです。今もなお当時の朝日ビルは戦火に耐えてなお若々しい姿を中之島の一角に毅然としてそそり立つております。こんな強靱な，そして美しい建築が出来ればと毎日，円型硝子の花屋の見える玄関の扉を押しながら考えつづけたことでした。そして20年当時から経つた今では，更にその感を強くするのみです。

戦前・戦中・戦後と世代を異にする建築家は学窓を出たとき何を考えていたか

足　立　　孝　京大建築科　昭和16年12月卒　現在 大阪大学助教授

1. 藤井先生「住宅」，村野先生「比叡山ホテル」

古いものと新しいものを共有している京都，その京都のような作品として記憶しています。共に「うまさ」について教えられました。実物を知らぬものでは，現代建築創刊号に出ていた坂倉さんの「巴里博日本館」が思い出されます。

2. モンテーニュ随想録，寺田寅彦随筆集，森田教授建築概論講義

モンテーニュ老からは「人生における物判りの良さ」を，寺田先生からは「新しい眼のつけどころ」を，森田先生からは「建築の秩序」と「設計者の良識」を，共に炉端で聞く話のように心の底にいつの間にか定着しているのを感じます。

3. 在学中に学内で初めての徴兵検査があり，丸坊主にそぞろ秋風を感じ出してからは何んとなく落着けず，それでもやらねばなるまいと気持を締めて卒業設計を描き出したトタン，真珠湾攻撃で暁の夢どころか心のどこかに風穴があき，今さら図面がやれるかと専らラジオと首つぴき，全くのお手上げだつたのが，成績如何に関せず国策に順応すべしというわけで，有難いのやら有難くないのやら変な工合，後髪（実は丸坊主だが）引かるる思いで校門を押出されたものの，シャバには１ケ月，初めての月給即ち退職金で背広も着ずに制服から，また制服へ，大阪駅をたつ時はもう一ぺん，この灯が見れるやろかと，さすがに淋しかつた。という具合なあわただしさに夢の，抱負のといつたものは入る余地なく強いて思い出すと，なるほど都市集合住宅，開拓者住宅，日本的表現等々，果ては当時流行の西田哲学流観念論に人並みの関心を持つていたようだが，それも生死の問題，戦争の成行き，大東亜共栄圏の夢といつたものの前には影が薄かつた。全く，あなたまかせの門出でした。

光　安　義　光　東京工業大学建築科　昭和17年卒　現在　兵　庫　県　技　師

1. 第一生命（G.H.Q）。岸体育館。

鉄筋の建物がなくなり，国際主義の臭いのする芸術家にまで，政府の弾圧がかかつた時に，不足な建築材料の中に夢と希望を見出す木造の岸体育館の造型は，私どもへ勇気を与えてくれました。

2. 歴史的現実，風土，現象学派の美学，装飾論（リーグル）

第二次大戦に突入し，卒業と同時に銃を執らねばならず，現実の把握に悩んでいた時，80頁足らずの歴史的現実は何か澄んだ確信を持たせてくれた。それは戦後の実存主義のあり方に似ているかも知れない。

3. 機能主義に抵抗を感じ，建築は空間感情の抽象であると考えて，学生時代は専らアブストラクト・アートに執心しました。この考えは現在でも間違つていないと考えています。

デザイナーとして立ちたい。事務所を開設し，一方，若い人に接触するために学校の責任のない先生ぐらいになつて，退歩しないように努めよう。そうして，生涯のうちで一つでいい，多くの人に感銘を与える作品を創りたいものだと希つていました。

村野先生，谷口先生のような風格のある設計が出来ればと念願していました。

追而，今はお役所の一設計者にすぎませんが，若き日懐いた夢や希望を忘れたわけでもないのですが，自己の能力に焦りを感じます。次第に怠情になるからでしようか。反省させられます。

戦前・戦中・戦後と世代を異にする建築家は学窓を出たとき何を考えていたか

菊　竹　清　訓　早稲田大学建築学科　昭和25年卒　現在　菊竹建築研究所長

1. 「コクーン・ハウス」ラルフ・トウィチェル，ポール・ラドルフ設計

60才と32才の２人の男が，一つの設計に取組んだ有様を想像して，まづ楽しくなる。自然にふれあう生活の秩序が，構造と材料をとおして，これほど生き生きとしている秘密も案外こんなところにあるのかも知れない。

2. 「風土」和辻哲郎著

私には風土は皮膚に感ずるものではあつても，頭の中に風土条件としてたたみ込まれたものではなかつた。そして「モンスーン的風土」として改めて理解した時，自然と日本建築との関係が容易ならないことを知らされた。

3. 私の眼に映つた戦前派の建築家たちの作品は一般に弱々しく，ふがいなかつた。敗戦という心理的影響もあつたかも知れないが，しかし何か私たちのこれからの生活にはピンとこなかつた。私の生涯をかけて斗いとる建築のあり方は，これとは違うという気がした。

だから先づ私は自分の進路を探し出す必要があつた。そして，この模索は現実の仕事にぶつつかることだと考えて，ひたむきに仕事を求めた。仕事のある所に進んで行つた。この頃の私は他の芸術部門と同じように20代のかくされた着想が技術的裏付けを得て40代に開花するといつた20代建築家説をもつていたので，私のガムシャラさは真剣であり，一層深刻だつた。当時，構想と技術の蓄積という意味では前川国男氏は最も建築家らしい建築家にみえた。私のこうした仕事に対するどん欲さは，いろいろな意味でみんなに迷惑をかけ，誤解を生んだ。しかし，またここから私は建築設計に当る設計態勢の問題も自分の道を切開くために乗り越えなければならない障害であることに気がついたのである。

羽　藤　文　男　東大第二工学部建築科 昭和26年卒　現在 坂倉準三建築研究所々員

1. ブリテッシュ・フェア

これまでの鉄，ガラス等の現代建築材料の使い方が，素材自身の特性を充分生かし切つていなかつたのに比べて，鉄によるサスペンション構造が思い切つたアイディアで駆使されていて，まことに眼のさめる思いでした。

2. New way of the building

鉄，コンクリート，木材，煉瓦，アルミニュームと各材料毎にその沿革，力学的特性，施工法等について簡明に，しかも，それら相互の関聯性に深い注意を払いながら，それぞれの材料特性が見事に浮彫りされています。

3. 構造とデザインの関係に興味をひかれ，型と力学的性質に関する論文を漁つて定性構造学——在来の構造学を定量構造学と称して——を唱え，その試論ノートを提出したり，卒業設計の追込み最中，構造アイディアを生かしたデザインを思いつき，徹夜で設計変更したことを憶えています。しかし，紙と鉛筆だけのデザインに少しも自信がもてず，早く仕事を通じて建築にふれたいと願いながら，また一方，日本の現状でどれだけ思い切つた仕事にたづさわれるかという不安があつたようにも思います。しかし当時はオフィス・ブームの初期にあり，懸賞設計が行われ始め，建築ジャーナリズムもようやく自立し始めた頃で，それらが絶えず陽動し，混迷していながらも，そのことに却つて何となく希望をもつていたようです。そうして建築が〝第一の技術〟Archi-tect といわれるように，それが人間の生活全般に技術的，感覚的秩序を与えるものであり，古代から人間生活を支配してきた哲学，政治，経済，科学に代つて現代こそ建築が生活秩序の創造者として諸学の王座につくべき時であり，そのためには，どんどん地方へ進出して腰のすわつた仕事をすべきだというような意味を，卒業謝恩会の席上で高言した無鉄砲さを懐かしく思い起します。

戦前・戦中・戦後と世代を異にする建築家は学窓を出たとき何を考えていたか

薬　袋　公　明　早大建築学科 昭和26年卒　現在 日建設計工務株式会社設計部員

1. なし。

考えてみると貧しい時代でした。何処へ行つても，新しく建てられる建築はバラックばかり。そのバラックと〝ニラメッコ〟しながら寒さに震えてデプロマを画き明日を夢見て過していました。戦火をまぬがれた古い建築は郷愁と歴史的存在として眺められるだけで全て否定していたし，当時，特に感銘を受けた建物は不勉強のためありませんでした。

2. 内村鑑三著「後世への最大遺物」

建築：これが一生の仕事になるのだろうということに正直なところ，当時嫌悪と迷いが心の奥にあり，やりきれない気持でした。そのころ読んだこの本は私にとつて忘れられない一つの救いだつたといえるでしよう。記憶に残る文章は「私の名誉を残したいというのではない。ただ私がどれ程この世界を愛し，どれだけ私の同胞を思つたかという記念物を，この世に置いて往きたいのである。即ち英語でいう Memento を残したいのである…云々」。

その Memento を現実に生きる人々へ真に利益と幸福をもたらすものにするために我々の仕事があるのだと考えたのです。

3. 建築の仕事とは何の関係もない私の育つて来た環境から，建築家に対する一般の人々の認識の極めて低いことを痛感し，建築がよりよくなるためには一般の人々の高い認識と，それに対する協力がなければならない。そうするためには，どうしたらよいか，ということを真剣に考えていました。その頃，戦後新しく生れたＮＡＵも期待にそむいて，建築界から浮き上つた存在となり，もちろん一般の人々とは，全く無関係な一つの集団に過ぎず，結局実際の設計活動を通じて一般の人々に認識してもらうことが一番いいだろうと考え，設計事務所に入つて我々の時代に建築家の場を医者や弁護士と同じような社会的場まで高めようと，たくましいことを思つていました。

愛する人を得て，こんやの白足袋に終らないようにという，ささやかな夢は当時から今も尚続いている私の変らない夢であり楽しみでもあるのです。

法隆寺再建非再建論争の結末とその後

山本栄吾

法隆寺の再建非再建論争というのは，その道にたずさわつた人々だけのものではなく社会一般にも広く話題を提供したものだつた。しかし不思議なことには，それほど広く知られたものにもかかわらずその結末をかいつまんで述べたものがないからであろうか，その点の認識が案外薄いのには驚くほどである。

無論この論争のなりゆきを記述した数種の文があるにはあつたが，それらのどれもが揃つてやはりその点が極めてあいまいで歯がゆい気がする。ただ村田治郎先生の名著「法隆寺の研究史」（昭24.10.毎日新聞社刊）のみが，適確にこの論争の遷り変りと，それぞれの論旨を詳細に正しく摑まれて，しかも一般にもわかりやすくはなし言葉で説かれてあるのだから，この書さえ玩味熟読すればその間の論争の動きの全貌は正しく諒解できるのだが，この書があるのにいまでもまだこの論争の結末についての認識が広くいきとどいていないのはどうしてだろう。私がいまいおうとするのは，この論争がどういう終り方をしたかということが主で，それはいまいつた村田先生の名著さえあれば全く駄足なのだが，先生の驥尾に附してその書を読んでいない人々の参考に，ともかく簡単に記してみよう。

◇　◇　◇

論争のなりゆきを述べる前に，一体この再建非再建論とは何を対照として，何といおうとしたものか，つまりその定義とでもいうものを考えておくのが必要だろう。

関野貞先生がこの問題に関して，明治38年に初めて出された「法隆寺金堂塔婆中門非再建論」という論文の中で，それまでの再建説を唱えた論者を再建論者と呼ばれ自らのこの論文表題を非再建論とされた。喜田貞吉先生はすぐに「法隆寺再建非再建論に対する審判判決書」というのなどを書かれたため，ここに再建非再建論という１つの名が完成している。そこでその頃の両論者のいい合つたことが，即ち再建非再建論ということになる。両論者のいい分というのは，

非再建論者―法隆寺西院の金堂，塔婆，中門，廻廊の大部分は，大化の改新以前の建築様式をもつているからこれらは推古朝に創建されたままだ。

再建論者―「日本書紀」など信じられる記録には，天智天皇９年に法隆寺が全焼したとあつてその事実は疑えないから，いまの西院伽藍は和銅年間の再建だ。

という主張であつた。喜田先生は春にこの再建論を発表され，その年末には早くも天智の火災は事実だが，和銅再建などとは到底証明できないし私はそんなことはいわぬと変つていられるのは，先生の説が極めて不安定なところから出発されているからであろう。それはさておきここではつきりいえることは，両論者が論じ合つている対照というのはあくまで西院の主要堂塔についてであるから，要するにこの論の定義とでもいうのは「西院主要

伽藍が推古朝に建つたままか1度燒けたものか」ということである。

喜田先生は「余の証せんとする所は法隆寺の罹災にあり，再建にあり」といつて2本建のようだが，先生の所論を拝見すると実は再建論という看板の火災論に他ならぬようである。関野先生は様式論で押しながら他方喜田先生の主張である天智の火災を認められなかつた。いずれにせよ西院主要堂塔について論じ合つていて，火災にしてもこの西院が燒けたか燒けぬかと論じているのがこの再建非再建論というものだと充分認識しておきたい。

◇　◇　◇

関野，喜田両先生の間にかなりの論争があつたのち，大正10年に関野先生は中門，廻廊，経蔵などを解体修理してその地下を調べ，これらの下には燒土がないことを確かめて自説を強化された。この観察と論証とは，さきに述べた再建非再建論の定義ともいうべきものの範囲からは決して逸脱してはいない。ところが喜田先生は．すでに明治から多少の兆しはあつたのであるが，関野先生のこの発掘成果に答えて大正14年にははつきりした1つの線を打出された。それは，法隆寺の創立は聖徳太子の宮殿であるところの斑鳩宮を改造したに過ぎず，従つてその位置はいまの東院のところで，それが天智の火災で燒失後その後身としていまの西院伽藍を再建したのだから，西院の地下に燒土が出ないのは当然であるといわれた。つまり喜田先生の火災論とは，いままでは西院伽藍についてのもので，それをもつて西院伽藍の再建論として唱えていられたのが，その火災は西院ではないといわれだしたのだからも早やここではいままでの自分の再建論として唱えられていた火災論の範囲から抜出して，西院伽藍そのものについては非災論に変つていられるのが見逃せまい。従つて皮肉にも喜田先生の論じだされた動機が，純学問的な基盤から出発されたものではなかつたけれども，再建論と称して明治38年に自ら求めて介入されながら大正末年頃にはこの喜田先生から先に論旨を変えて勝負なしに逸脱してしまわれたのはおかしなことといわねばなるまい。

昭和2年になると関野先生の説にも大変化があらわれた。それはいま若草伽藍址と呼ぶところに聖徳太子のための釈迦像を本尊とした1寺があつて，それが喜田先生のいわれる天智9年の火災に燒失し，別に用明天皇のために造つた薬師像を本尊とするいまの西院伽藍である法隆寺が推古朝に建てられたままにいまも遺つているといわれた。即ちこれはいままで喜田先生の火災実在説を否定されていたのがその実在を認められたわけである。しかし火災が西院以外の地であつたといわれることや，西院伽藍は推古朝のままだと依然主張されているところはいままでどおりの西院非災説の線から何ら逸脱されていないことに注意したい。

火災論の喜田先生がさきに西院非災説に変られ，いままた火災の実在を否定されていた関野先生が，西院ではないがその実在を認められたのだから，さきにいつた再建非再建論と名付けられた論争の本質はここで完全に消滅してしまつた。これが昭和の初め頃である。

◇　◇　◇

このように再建非再建論争というものは消滅したが，両者の学術上の論争はそののちもやはり続いた。というのは関野先生が最初に論文を発表されたのは西院主要堂塔の造営年代を出そうとされる意図から研究された成果だつたようだが，喜田先生の火災論が再建論として登場したのは先生自身がのちに告白されているように，先生の恩師に対する助太刀から出ているのだから，いうまでもなく喜田先生が特に法隆寺を研究されての成果ではなく，単に関野，平子説の向うを張つたに過ぎなかつた。ところが喜田先生も続々といわゆる非再建論への抗論を書いていられるうちに，漸次と法隆寺に関した研究も進んで，次第に再建論と称される火災論から西院伽藍造営年代論に論旨を変えていられた。そうしてその造営年代は，燒けたものが再建されたのだから奈良時代の初め頃だろうと匂わせておられたのだつた。ここでまた関野先生の推古朝創立のままだといわれる論旨と一致しないから両者の激突は依然と続けられた。このように実は形が変つていたのだが，論争が続いたので一般には明治38年以来の論争がその後も継続しているように誤解を招いている。

両先生の所説が大体にこの辺りまできたところで，関野先生は昭和10年，喜田先生は14年に逝去されてしまつた。ところがあとにのこつたのはやはり西院伽藍造営年代論であつた。さてそれはどのようになつていつたのだろうか。

◇　◇　◇

両先生の御生存中であつたが，岸熊吉氏によつて金堂の現礎が古い礎の繰出円柱座を削りとつて，再用されていると言明された。また古瓦の蒐集家保井芳太郎氏が，「大和上代寺院志」の中で西院から出土する瓦を他寺の多くの例と比較検討して，到底それが推古朝のものではないといつている。さらに福山敏男博士は，実に劃期的な名論である「法隆寺問題管見」（東洋美術19，昭8.10）でもつて，金堂内の薬師・釈迦像の銘文は追刻であること，若草伽藍址にあつた寺（おそらく斑鳩寺）が天智9年に燒け，その後身として天武天皇の初年にいまの西院の金堂が造営され，その末年頃には塔が完成した（法隆寺）と説かれた（この理路整然とした名論は，将来も崩れるようなものではないのであるが，博士御自身は何を思つてかこの所説のうちの多少をいまでは変えていられるようなのは甚だ惜しい）。

この間に小野玄妙，会津八一の両博士，源豊宗，田中

重久氏等によつても論説があり，特に有名なのは足立康博士の新非再建論というのがあつたが，いずれも諸学者に全面的に認められるに至らなかつた。

石田茂作博士の若草伽藍址の発堀は，福山博士説を一層に強く証明した結果となり，これで若草伽藍址の寺は西院伽藍に先行するものであるという見解を決定づけるに至つた。また若草伽藍と西院伽藍，それに浅野清博士などによつて発堀された斑鳩宮址などの相互位置関係を説いた方位説は極めて有力なものであつて，これも将来ともに覆ることを知らないだろう。

次にあげたいのは村田治郎先生の「支那建築史より見たる法隆寺系建築様式の年代」（宝雲36，昭21.4.）というこれまた名論考で，古くは伊東，関野先生によつて法隆寺系と中国建築との様式の対比が示されたが，それをさらに拡げて彼の地の多くの例をとりあげ，なおこまかく検討追究された成果がこの名論であつた。流石に先生は中国建築の第一人者であるだけにこの所説が成つたものと大いに畏敬しているところである。さて先生は法隆寺建築にみる中国の建築様式は，北斉から隋まで降る様式が含まれているからそれがわが国への伝播した期間をも考えると，これらの造営年代はまず奈良時代の初めとなるようだといわれた。この成果はこれまた侵し難い絶対値であるといえよう。

◇　◇　◇

関野，喜田両先生の没後に時折あらわれた高論によつて，漸次進歩した法隆寺研究の要点は以上のようであつた。そうしていまでの結論は，も早や西院の主要伽藍は若草伽藍址にあつた堂塔の後身として，その火災後である奈良時代の初め頃に再建されたものであるという見解が動かず，これが定説となつている。

建物そのものに対する直接検討は，塔・金堂の解体修理が最もよい機会であつた。これによつては天井絵やその落書などがまず奈良時代の初め頃だろうと思われ，塔・金堂双方の様式や技法を対比しての観察では，金堂に続いて塔が造られたとみていいようである。しかし造営年代を詳かに決定するような成果はえられなかつた。

◇　◇　◇

若草伽藍址にあつた寺の本尊と，もしかするとその礎石までも移して西院伽藍を造り，しかも前身寺院の由緒をそのまま後身がうけついだのだから西院伽藍は若草伽藍の再建だといえよう。しかもその再建の時期は大体に喜田先生が早くからいわれた時期に合うようである。しかしこれら現在の定説でもつて「再建論の勝利に帰した」というのはどうであろうか。ことにこういう人のいままでの所説をみると，明治38年に始まつた再建非再建論がそのままずつと最近まで続いていて，その結果再建論の勝利といつているようだからその点は到底承知できそうもない。

◇　◇　◇

西院の造営年代は奈良時代初頭の大化元年以降になつた。従つて従来の時代区分ではこの年代が明らかに奈良時代に入るわけである。またかつていわれたことがあるように，たとえこれが奈良時代の造営でもその示す様式は飛鳥時代であるという見解すらいまとなつてはなりたたなくなつた。しかし村田先生が一提案として示された時代区分法によると，西院伽藍は飛鳥時代造営ということになる。というのは，従来も建築史では大体に皇居，帝都，政権者の居地の名を冠して各時代称を呼んでいるのに，飛鳥・奈良時代の区切にはそれを適用していない。ここの区切にもそれを用いたならば，いままで奈良時代前期と呼ばれた頃はまだ皇居が飛鳥地方にあつたのだから，和銅の平城奠都までを飛鳥時代とし，そのうち大化元年からこの頃までを飛鳥時代後期とすることにしたならば，西院伽藍はいまの定説である造営年代頃でもつてしかも飛鳥時代造営ということになる。

◇　◇　◇

最初にいつたように村田先生の「法隆寺の研究史」を熟読すればこの拙稿は不用である。しかもこの稿では先学の各論を詳しく述べなかつた。それらは村田先生の名著によつて知られたい。いまも私は全く先生のこの名著に教わつたことを謝す次第である。

（筆者・京都大学建築学教室員）

杭

株式会社　武智工務所

取締役社長　福留並喜

大阪市西区西長堀北通四丁目一〇細野ビル三六号

電話新町㊽九九五～九九八

間仕切天井・には軽量鉄骨を・軽量鉄骨は日進式を御採用下さい・

耐震・耐火・軽量・堅牢

防錆完全・中空防音

合理的工法・責任施工

株式会社　奥村重兵衛商店

大阪市北区木幡町五六番地

電話北㉞四一三一～四

姫路城天守閣群の振動実験

石崎澄雄

去る3月（昭31），姫路城天守閣群について振動実験を行なう機会をえた。各種構造物の振動測定は最近随分行なわれているが，古建築物に関するものは五重塔以外にほとんどない上に，姫路城天守閣のような大規模な木造建築について行なつたのは，わが国では初めてのことであり，おそらくは世界でも他に例がないと思われるので，これがどのような模様を呈するかは，われわれとしても大いに興味のあることであつた。

もともと振動測定というものは建物に外部から加わる力，あるいは変位に対し，これが動的にどのように応答するかを調べることであつて，これによつて建物のもつ力学的な性質を知ることができるものである。この力学的な性質を代表するものとして，固有振動週期とか，減衰率とかがある。これらはいづれも建物に固有のものであつて外から加わる力の性質によつて左右されることはないし，これらの値が建物の耐震性とも関係するから，通常きわめて重要視されている。目下のところ，これらの値を求める方法は振動実験以外にはないから，古建築についてもこれを行なうことはわれわれの宿望でもあつた。

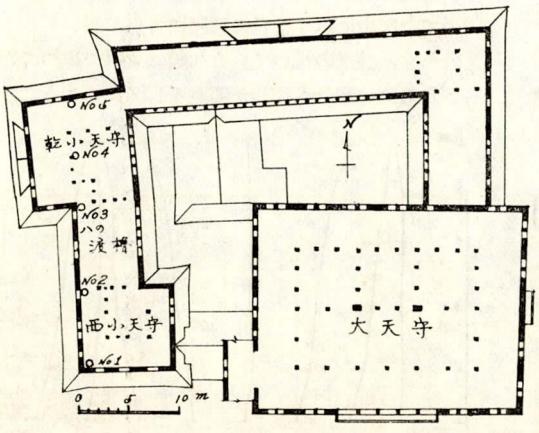
測定は3月中旬，約1週間にわたり，京大の棚橋教授指導の下に，大天守，西小天守および渡櫓の一部について行なつた。3月とはいえ，雪の降る日もあつたりして城内はかなり寒く，とうてい1日中，内部にいられないほど冷えこみ，また城のことであるから，薄暗くて測定もしにくかつたが，参加してくれた人達は元気に昇りにくい階段を1日に何回も上り下りして測定を行なつてくれたので，ほとんど充分に近い調査ができたと思つている。

振動測定の方法や結果については，すでに他で* 詳しく述べたから，ここでは結果の概要と，これにもとづいてどのようなことがわかつたか，他の建物と比較してどうかというようなことをやや詳しく述べてみたい。またなるべく平易に述べたいと思うので一部の読者の方々にとつては冗長なものとなるかも知れないが御寛恕願いたい。

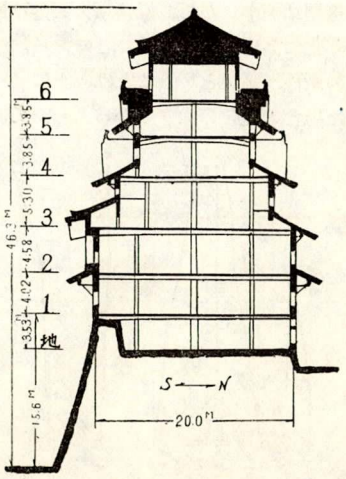
第1図 (a)，(b) は天守閣群の平面と大天守の断面の概要を示すものである。ごく簡単な図面であるが以下に述べる測定結果と参照して頂だくつもりでここに挿入しておいた。

さて最初に測定を行なつたのは大天守であるが，**第2図**は大天守の各階に振動計を置いてえた記録の一部であ

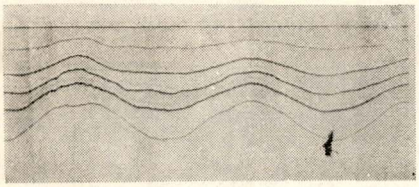
* 棚橋，石崎，金多，鈴木；姫路城の振動測定について
建築学会研究報告，昭和31年10月　437頁



第1図　(a)　二階平面図



第1図　(b)



第 2 図

る。これの動きを図示したものが，**第 3 図**で左から順次 0.2 秒毎の各階の東西方向の変位を示してあるが，これによつて大天守のおよその運動を知ることができよう。この図は自然の状態におけるもの，即ち人為的には何等の外力も加えず，風の力や地面を伝わる常時の微動のために動いている状態を示すものである。南北方向についてもこれに似た運動を常にしている。**第 4 図**は 5 層目にロープを掛けてウインチで約 800kg の力で引張り，急にこれを緩めて振動させたときの状態を示すもので，これから揺れている状態を想像して頂けると思う。ただしこれらの図は高倍率の振動計の記錄から描いたもので，後に述べるように実際の振幅はきわめて小さい。第 3，4 図に表われている各階の相対的な変位から各階の剛性が推定されているのであるが，その説明はやや面倒になるのでここでは省略する。大体についていえば各階の相対変位の小さい部分ほど剛性が高いと思つて頂けばよいと思う。

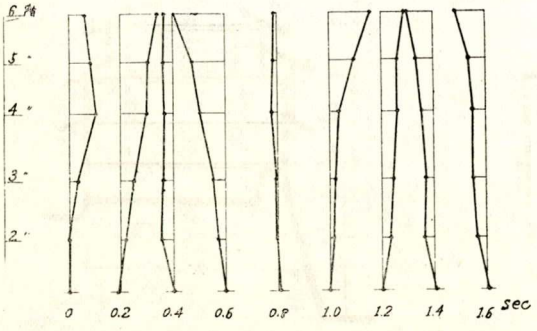
つぎに固有振動週期であるが，これはいくつも存在して普通はそれらの中で最も長いものを問題とする。この大天守についても最長の固有週期をとり上げてみると，東西方向が 0.9 秒，南北方向が 1.2 秒であつた。大天守の高さは石垣の上から棟まで約 31m で，わが国で一般に許可せられている最高のビルとちようど同じ位の高さであつて，これらのビルの固有週期と比較すれば若干長いけれども，普通の木造家屋では 0.5 ないし 1 秒位で，固有週期は建物の高さにほぼ比例することを考えれば大天守の週期はむしろ短かいといえる。剛性の高い建物ほど固有週期は短かいから，姫路城大天守は剛性が木造としては非常に高いものということになる。

この剛性が高いということは，上に述べたロープで引張つた場合の変位の大きさからもわかる。約 800kg の力で斜下方に引張つたときのロープが水平面となす角から水平分力を求めると約 750kg で，このときの 6 階床の最大撓みは 0.15mm であつた。これから計算すると天守の頂上を 1cm 動かすためには約 50t の力を要することになる。また第 2，3 図に示す変位の分布からさらにくわしく各階の剛性を求め，別に天守の重量から現行設計用震度 0.2 として水平力を出し，この両者から頂点の変位を求めたところ 9.2cm となつた。激震に際し必らずしも震度 0.2 のような力が作用するかどうかはわからないから，実際地震を受けたときの天守の変位はさらに大きいかも知れないけれども，以上に示した数字の大きさからもこれの剛性の高いことがよくわかる。

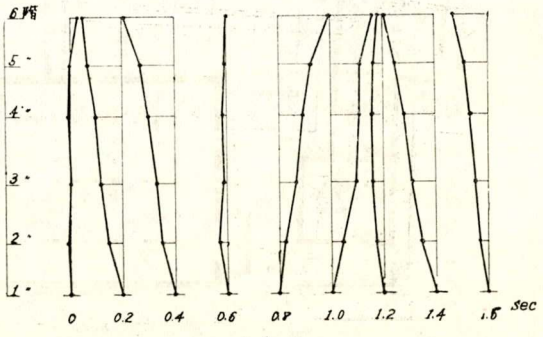
このように木造の建物としてきわめて剛性の高い理由は建物の周囲がほとんど壁にかこまれており，しかもその壁体は非常に厚い漆喰で固められているため，鉄筋コンクリート造のコンクリートと同様な役目を漆喰が果しているようである。漆喰の強度はコンクリートにはるかに及ばないけれども今回の実験のように変形の小さい場合にはその作用がコンクリートによく似てくるのであろう。

大天守の振動の減衰は減衰比で表わすと 1.12 であつた。これは大天守を自由に振動させたとき，振動中 1 回往復したときの振幅が，つぎの 1 往復の振幅の 1.12 倍あるという意味であり，換言すれば 1 つの振巾のつぎの振巾は約90%位になることを表わしている。この値は鉄筋コンクリート造の建物より少し小さいから，振動の減衰がおそいということになる。この減衰のおそい理由は種々考えられるが，要するにエネルギーの内部損失や外部の逸散が少ないことであつて，構造力学的には良好なことを示しているのではないかとも思う。

これで大天守の振動性状の主要な点は述べたが，大天守の運動を，さらに仔細に調べてみると非常に複雑である。**第 5 図**は 3 階の四隅に振動計を 2 個づつ置いて得られた記錄から四隅の点の水平面内の動き方をとらえたもので，図中に示す番号の順序に各点が動いていくことを表わす。各点の描いている曲線はすべて違つているからこれらはいづれも違つた運動をしていることになる。こ



第 3 図



第 4 図

れは四隅の点が，ある程度は連関を保つて，めいめい勝手に動きそのために床も種々な形に変形していることを表わしているが，どうしてこのような運動をするかは複雑であつて解釈できない。ただ床の対角線方向の運動成分がいづれも多少目立つているのは，この建物が対角線方向に変形しやすいためであると考えられる。

以上は水平面内だけの動きであるが，上下方向にももちろん動いており，**第6図**は南東隅における上下方向の運動と南北方向の水平運動とを一緒にして描いたものである。この図から天守は上下に動きながら水平方向に運動していることがわかる。

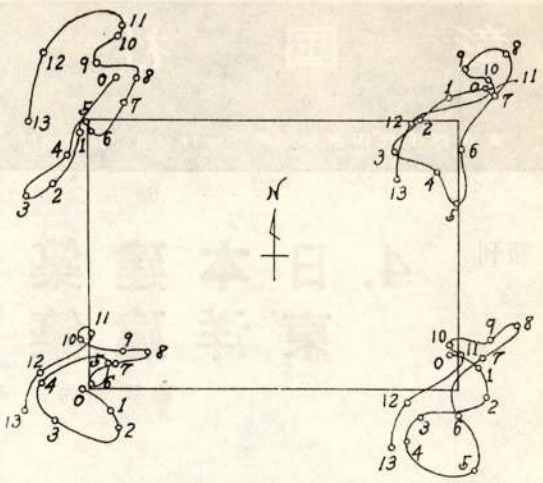
大天守が南東方向に相当大きく傾斜していることは以前に行なわれた調査で知られていたが，今回の振動実験ではこれに基づく特長は表われなかつた。

西小天守についても大天守とほぼ同様な測定を行なつた。各階の水平方向変位の分布を**第7図**に示す。図では0.1秒毎の動きを示しているが，地階床から1階床までの部分は，石垣中にあるのでほとんど変位を生じていない。2階床は僅かに動いており，3階床で急に振幅を増しているが，これは2階床から下の部分が上部にくらべて剛性が非常に高いためである。大天守については，このように振幅が急激に増している部分がないから，構造的には大天守の方がすぐれているような気がする。

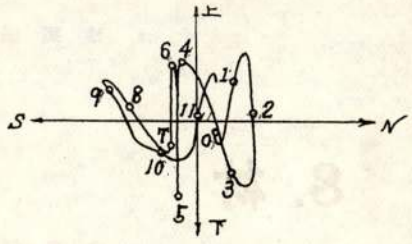
西小天守の固有振動週期の最長のものは0.6秒で，建物の高さを考慮に入れると木造としては週期が短かい。振動の減衰比は1.13で大天守とほとんど同一で，これらについては大天守と同様の性質をもつているものと考えられる。

渡櫓については第1図中に記した No.1 から No.5 までの5カ所に振動計を置き自然状態における東西方向の変位を測定した。これの運動を図示したのが**第8図**である。これからわかるように各点は一様に動いておらず，No.3 あたりの点を中心として明らかに捩れた運動をしている。この渡櫓のように平面形が比較的細長く，北側の部分と南側の部分との剛性が異なりしかも床が変形しやすい構造では，全体として捩れを生ずるのが当然と思う。

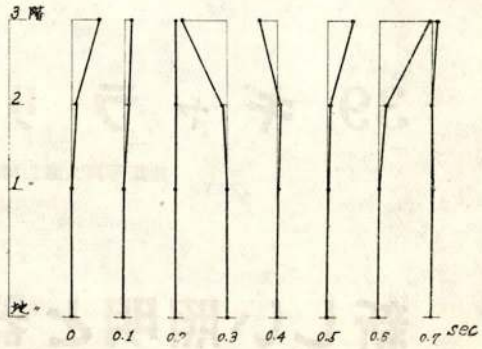
姫路城大天守の解体を前にして行なつた振動実験の結果はおおむね上に述べた通りであるが，天守の振動性状を一口にいつてしまえば，普通の木造建物と鉄筋コンクリート造のちようど中間の性質を示している。各階の床はすべて簡単な木造であるため床が変形しやすく，そのために床の四隅の運動がばらばらであるけれども，鉄筋コンクリート造の建物では通常このようなことはない。しかし壁体の作用はコンクリートに似ており，固有週期は比較的短かくなつている。大天守が解体せられ，修理が終るのは数年先のことと思うが，その際ふたたび今回のような実験を行なつて結果を比較できたらまた得るところがあるであろうと考えている。(筆者・京都大学防災研究所)



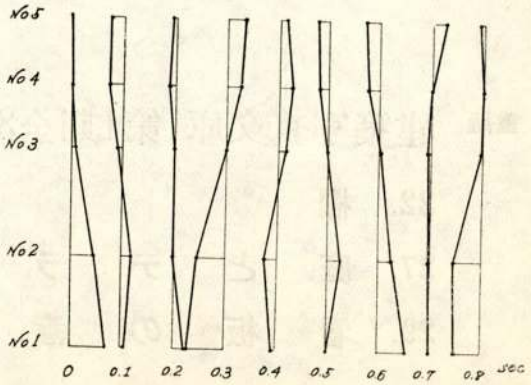
第5図



第6図



第7図



第8図

彰国社新刊案内

東京都千代田区平河町2—11・電(33)営業部—0293・2851　編集部—1745・4523・振替東京173401

新刊

4. 日本建築史 東洋建築史

建築学大系　全40巻

本書は，日本建築史を太田博太郎・福山敏男・藤岡通夫・渡辺保忠，東洋建築史を村田治郎と，この分野における最高の執筆者による日本建築史・東洋建築史の集大成であります
A5判 504頁 特製函入　定価 ¥1,250 〒50

5. 歴史

建築講座　全10巻

執筆　渡辺保忠・加藤角一　建築様式の変化建築のつくり方の発達を図版を用いて具体的に解説したもので，工高の教材として，これからの建築を考えるうえの優れた参考書です
A5判　200頁　上製　定価 ¥ 350　〒 35

8. 材料

建築講座　全10巻

飯塚五郎蔵著　加藤清作監修　工高の教材・2級建築士受験の原動力として執筆された本書は，各材料の一般的性質を解説すると共に数多くの新材料を具体的に紹介したものです
A5判　200頁　上製　定価　¥ 350　〒 35

39. ギャラリー

建築写真文庫　第2期全30巻

彰国社編　この本は，国立近代美術館・鎌倉近代美術館・根津美術館・ブリジストン美術館などわが国の代表的ギャラリーを写真によつて紹介したすぐれた写真図集であります。
B6判　88頁　総アート　定価 ¥ 300 〒35

新しい照明と器具

柳瀬駿著　この本は，光源の発達・建築照明の三方式・新しい建築照明など，最近，浮びあがつてきた照明の問題を系統的にわかりやすく解明したものとしてすぐに役立ちます
A5判　122頁　上製　定価　¥ 350　〒 35

重版

建築写真文庫 第1期全30巻

22. 欄間
27. 庭とテラス
29. 看板の意匠

彰国社編　この本は，あらゆる建築の諸相を分類展示する目的のもとに編集されたもので内容は，これら諸建築の近代的・古典的，和風・洋風のものなど，さまざまな傾向をもれなく取入れ，その外観・内部・各部詳細を収録した住宅や店舗など各種建物の計画・設計・新築・改装にすぐに役立つ好適な資料です
B6判 各90頁前後 総アート 各 ¥300 〒35
第1期　全30巻1揃　特価　¥8,100　〒400

最高の品質 最大の生産を誇る!

伊奈の タイル・衛生陶器

Inaseito 印 附属金具

伊奈の鳩印衛生陶器には Inaseito 印附属金具をセットで御利用下さいます様おすゝめ申上げます。



本誌で見たと御報知
次第カタログ進呈

IS 伊奈製陶株式會社

本社及工場　愛知県常滑市扇面新田　電話常滑(代表)700
東京事務所　中央区西八丁堀2—8　電話築地㊺5261・5262

特許出願中

経費節減145万円の利益を生む

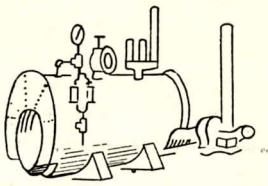
平川~MPボイラ

煙管式ボイラの「革命兒」現る!

☆高性能・輻射型
☆石炭・オイル・ガス焚
☆1年間(3000時間)の燃料節約額

大阪府立工業奨励館
公式試験成績

汽缶効率 812%
石炭焚にて
排ガス温度 197℃



7′×30′ランカシヤボイラと比較して
145万円益
(但し E.E.2000kg/hr.
6000カロリー石炭5000円/屯
1日10時間1月25日として)

◁営業課目▷ 平川~水管ボイラ、平川~機関車型ボイラ
平川~竪型ボイラ、外ボイラ全般・輸送機械

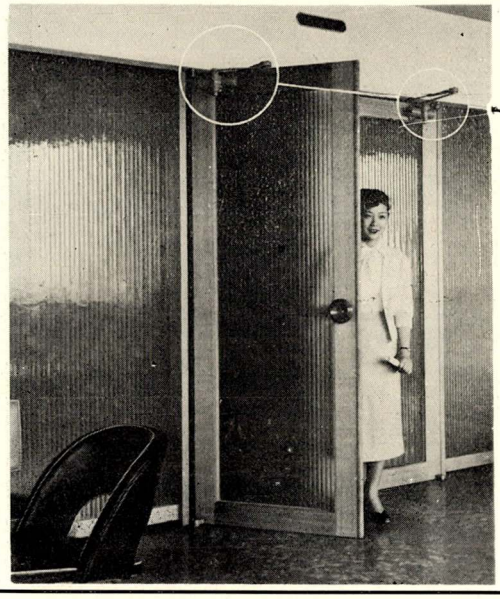
株式會社 平川鉄工所

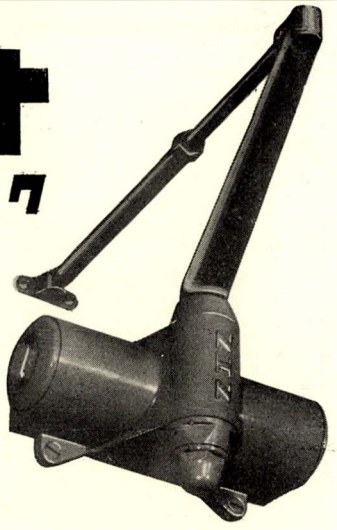
本社・工場 大阪市大淀区大仁西2の1 電話福島㊽1975—8
東京営業所 東京都中央区八重州6の7 電話㉘5883・7787—8
九州出張所 福岡県小倉市富野545 電話小倉⑤1362

NHN

ニッカナ
ドアーチエック

日・米・英・独特許





型状優美

故障絶無

日本金具製作所
製造元 ダイハツ工業株式會社

優秀機能ヲ誇ル

岩住式

シャッター

最新ノ機械設備

最高ノ設計ト技術

不撓ノ研究ト改良

ドアー・サッシュ・メタルラス　(JIS557)

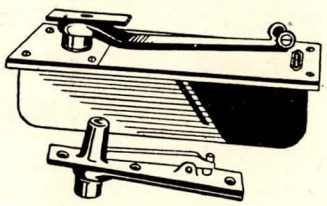
株式会社 岩住鐵工所

大阪市西淀川区千舟東二丁目三一番地

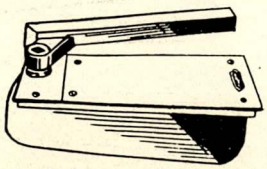
電話 淀川(47) 代表 4351. 4352. 4353. 0903. 0904

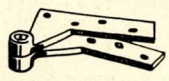
NEW★STAR

ドアーチエック

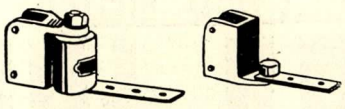


フロアーヒンヂ

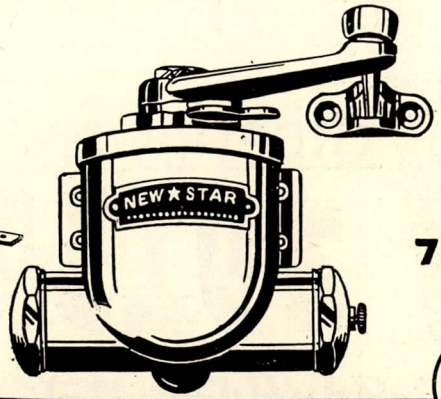




フロアーヒンヂ



ラバトリーヒンヂ



輸出　好評

ニューヨーク・ロスアンゼルス・マニラ・台湾

日本ドアーチエック製造株式会社

取締役社長　出向井啓蔵

本社工場　布施市横沼町三丁目十一番地　電話 大阪 (72) 代表6666—9

東京支店　東京都千代田区神田錦町一丁目二十三　電話 東京 (29) 1920・4920

近代建築には
アサヒ印　燃えない美しい…

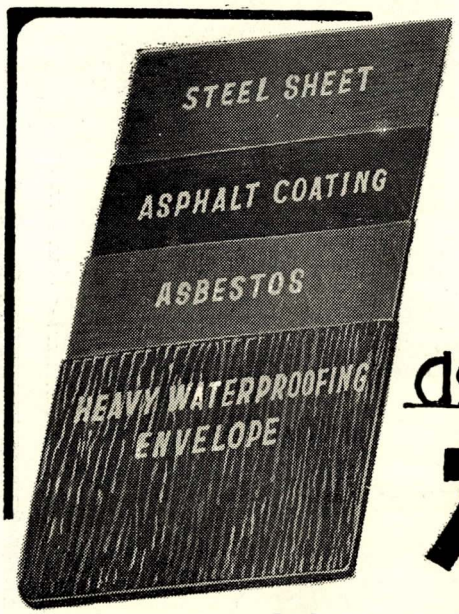
耐火ボード

アサヒトーン
石膏ラスボード
石膏及石膏製建材

JIS—A—6901 表示許可

大阪耐火ボード株式会社

本　　社　大阪市北区絹笠町50（堂ビル）　電話(34)4033・4034・(36)1141
ボード工場　大阪市東淀川区元今里北通5丁目24　電話(37)1144
石膏工場　大阪市此花区木場町11　電話(46)1865
東京営業所　東京都千代田区神田東松下町46　電話(25)2938・5801



営業品目
特許　オリエンタルメタル製
屋根板・谷樋・軒樋・竪樋・呼樋
棟色・雨押類・ダクト並臭突類
特許　オリエンタル　スカイライト
特許　特殊屋根材「セラクタイト」
特許　オリエンタル・アスファルトブロック

製造販売施設工

asbestos protected metal

オリエンタルメタル

オリエンタルメタル製造株式会社

本社及工場　尼崎市長洲字稲川新田44番地　電話大阪㊀4947～4949
東京支店及工場　埼玉県北足立郡蕨町駅前　電話川口5978　蕨252
九州出張所　福岡県八幡市熊手町二丁目　電話八幡 723
東北出張所及工場　福島県郡山市外富久山町久保田142　電話郡山 267
名古屋営業所　名古屋市熱田区三本松通り2の35　電話名古屋㊀7674
延岡作業所　宮崎県延岡市東中川原町5059　電話延岡3632
岩国作業所　山口県岩国市今津川12　電話岩国 776

ORIENTAL around the world

ORIENTAL

設備原論 Q・A

関西設備原論研究会

この1月号から，本欄で，空気，熱，音，光などの，いわゆる設備原論といわれる分野の問題についての解答を行うことになつた。1回に1～2問，1問について1～2頁の予定である。答えるのは，関西設備原論研究会である。二，三年前から，おもに関西の学校関係の者が集つて，毎月，研究会をもつていた。それに名ずけたのがこの会で，自然発生的のものである。

凡ゆる問題に，直ちに明快な答ができるというほど，ウヌボレてはいない。できるだけ調べ，研究してお答えしたいと思つている。多くの問題を寄せていただくと共に，本欄に対する御批判をお願いしたい。また，同好の士の，答える側すなわち研究会えの参加を歓迎する。

1 壁の結露や湿りを防ぐにはどうするか

1. 結露と湿り 露がついて困るということは，関西では，特別な高温高湿の作業場以外では多くはない。しかし，湿つて困ることは，身辺にいつも見受けられる。

材料は，周囲の空気の関係湿度に比例して含湿するものである。もつと正確にいうと，周囲の空気の水蒸気圧が高くなると材料の含湿量が増し，温度が高くなると，含湿量は減る。関係湿度も水蒸気圧が高くなると大となり，温度が高くなると小さくなるので，含湿量と関係湿度が比例することになる。

材料の表面や内部の空気の関係湿度が高いと，材料は含湿量を増して湿り，関係湿度が100％を超えるようになると，結露が起る。結露する場合でも，材料によつては，吸水して，露の形では目につかないこともある。

温度の高い場所と低い場所があり，その間を，水蒸気が移動し易いときに，温度の低い場所で，結露や湿りを生ずる。最近，断熱材や吸音材が多く使われるようになつたが，多くは空隙の多い材料であつて，断熱性とともに透湿性も多く，背後の低温の場所で結露や湿りを生じ断熱性の低下や，腐朽の原因となることも考えられる。

2. 壁の結露や湿りを防ぐ方法 材料の表面や内部の関係湿度を低く保つことが，結露や湿りを防ぐ方法である。その場所の水蒸気圧が，その場所の温度に応じる飽和水蒸気圧よりも低くなるほど，関係湿度は低くなる。故に，次のような手順で考えればよい。

(1) 温度分布を計算する。

(2) この温度分布に応じる飽和水蒸気圧を**第1表**から求める。

(3) 水蒸気圧分布を計算する。

(4) 水蒸気圧が，飽和水蒸気圧を超える部分では，関係湿度は100％を超えるので結露し，両者が接近していれば，関係湿度が高くなつて湿る。

温度分布は，熱伝達率 α (kcal/m² h°C)，壁を構成する各層の厚さ l (m)，熱伝導率 λ (kcal/m h°C) を知れば計算できる。実際の計算には，後で例をもつて示すように，これらから求めた熱伝達抵抗 $(1/\alpha)$，熱伝導抵抗 (l/λ) を用いる。

水蒸気圧の分布は，水蒸気が熱と全く同じような法則にしたがつて流れるものと考えて計算する。すなわち，温度 (°C) と水蒸気圧 (mm Hg) とを対応さし，熱と同様に水蒸気に対して，湿気伝達率 α'(gr/m² h mm Hg)，湿気伝導率 λ' (gr/m h mm Hg) を考える。これらは，1mm Hg の水蒸気圧の差があるとき，何グラムの水蒸気が流れるかを示すものである。また，熱の場合の如く，実際の計算には，湿気伝達抵抗 $(1/\alpha')$，湿気伝導抵抗

第1表 飽和水蒸気圧表

温度 °C	水蒸気圧 mmHg	温度 °C	水蒸気圧 mmHg	温度 °C	水蒸気圧 mmHg
−9	2.33	6	6.97	21	18.47
−8	2.51	7	7.47	22	19.63
−7	2.72	8	7.99	23	20.86
−6	2.93	9	8.55	24	22.15
−5	3.16	10	9.14	25	23.52
−4	3.41	11	9.77	26	24.96
−3	3.67	12	10.43	27	26.47
−2	3.95	13	11.14	28	28.07
−1	4.25	14	11.88	29	29.74
0	4.57	15	12.67	30	31.51
1	4.91	16	13.51	31	33.37
2	5.27	17	14.40	32	35.32
3	5.66	18	15.33	33	37.37
4	6.07	19	16.32	34	39.52
5	6.51	20	17.36	35	41.78

第2表　湿気伝導率

材料	λ' $\left(\frac{gr}{mh\ mmHg}\right)$
静止空気	$7.5\sim10\times10^{-2}$
鉱滓綿，岩綿 (195kg/m³)	7.9×10^{-2}
同　上 (圧縮)	$1.8\sim3.0\times10^{-2}$
鉱　屑 (211kg/m³)	6.1×10^{-2}
コンクリート (1:2:4)	$1.6\sim2.3\times10^{-2}$
同　上 (密)	$0.13\sim0.94\times10^{-2}$
石灰プラスター	1.3×10^{-2}
セメントプラスター	0.55×10^{-2}
煉　瓦	$1.3\sim2.6\times10^{-2}$
松　材 (繊維に平行)	2.5×10^{-2}
同　上 (繊維に直角)	0.12×10^{-2}
コルク板	0.68×10^{-2}

第3表　湿気伝導抵抗

構造	l/λ' $\left(\frac{m^2h\ mmHg}{gr}\right)$
セロテックス (1.9cm)	2.9
ペイント膜	11
ルーヒング (2～3kg/m²)	280
繊維板 (1.25cm)	1.2
同　上 (一面アスファルト塗)	9.3
同　上 (一面アスファルト浸し)	4.3
木摺下地およびプラスター	3.3
プラスターおよび下地 (1.9cm)	2.5
アスファルト紙 (0.34kg/m²)	36
同　上 (0.49kg/m²)	71
合板 (0.64cm)	8.5
煉瓦壁 (10cm)	34

(l/λ') を用いる。λ', l/λ' の値は，**第2表，第3表**に示した。その他の多くの材料や構造についても，測定値が報告されているが，[1),2)] 熱伝導率ほどではなく，また正確でもないようである。

湿気伝達率 α' は，対流のみによる熱伝達率を α_c とすると，0°～20°C の範囲では，

$$\alpha' = 3.4\alpha_c \sim 4.3\alpha_c \qquad (1)$$

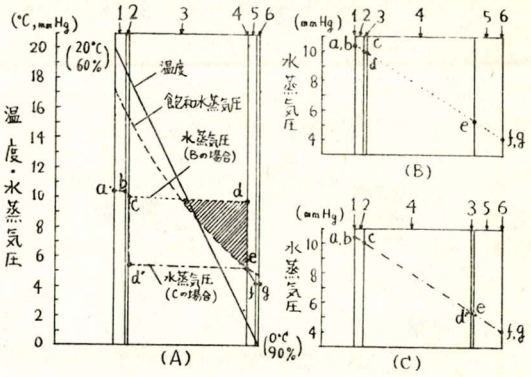
である。α_c を室内側6，外気側16とすると，湿気伝達抵抗 ($1/\alpha'$) は，室内側0.05，外気側 0.02 で，第3表の湿気伝導抵抗に比較して，無視できるほど小さい。故に壁の両表面の水蒸気圧は，それに接する空気の水蒸気圧と等しいと考えてよい。また，壁の中の中空層も，水蒸気の移動に対しては殆んど抵抗を持たないので，計算には中空層は無いものと考えてよい。すなわち，中空層内の水蒸気圧は，その両側の表面の水蒸気圧と等しい。

計算例　**第4表**に示すような構造の壁について，室内が20°C，60%（水蒸気圧 10.4mm Hg），外気が 0°C，90%（水蒸気圧 4.1mm Hg）の場合を計算する。

第1図（A）のように，壁の各層を熱伝達抵抗，熱伝導抵抗に比例する厚さに描き，両側の気温を示す点を直線で結べば，壁の温度分布が得られる。

この温度に応じる飽和水蒸気圧を第1表から求めて記入すれば，破線の如くなる。

次に，（B）図の如く，各層を，湿気伝達抵抗，湿気伝導抵抗に比例する厚さに描き，両側の水蒸気圧を示す点を直線で結べば，壁の水蒸気圧分布が得られる。これを（A）図上に書きうつして，a－b－c－d－e－f－gとなり，これが飽和水蒸気圧を示す線より上に出る部分で結露する。これは岩綿の部分に当る。



第1図　温度および水蒸気圧布分を求める作図

アスファルト紙4を，木摺プラスター2と岩綿3との間に移せば，水蒸気圧分布は，（C）図 の作図で求められ，（A）図に書きうつせば，a－b－c－d′－e－f－gとなり，辛うじて結露は防がれるが，岩綿の外気側は含湿が大となり，温湿度の条件が少し悪くなれば結露する。アスファルト紙を2枚にしなければ安全でない。

一般に空隙の多い材料は，断熱材や吸音材として用いられるが，透湿性が大きいので，防湿材を併用することが必要な場合が多い。そして防湿層は，高温，高湿側に設けなければならない。

(1957-1　関西設備原論研究会・前田敏男)

1) M. Bäckström : Kältetechnik. 1953 Karsruhe S. 391
2) H. W. Woolley : Moisture Condensation in Building Walls (Building Materials and Structure Report BMS 63 Dec., 1940)

第4表　壁構造と各層の常数値

層番号	構造	壁厚 (l)	熱伝導率 (λ)	熱伝導抵抗 (l/λ)	湿気伝導率 (λ')	湿気伝導抵抗 (l/λ')
1	内面伝達	—	$\alpha=6$	$1/\alpha=0.17$	$\alpha'=20$	$1/\alpha'=0.05$
2	木摺プラスター	0.02	0.5	0.04	—	3.3
3	岩綿	0.06	0.03	2.0	7.9×10^{-2}	0.76
4	アスファルト紙	—	—	—	—	36
5	コンクリート	0.15	1.0	0.15	1.6×10^{-2}	9.4
6	外面伝達	—	$\alpha=20$	$1/\alpha=0.05$	$\alpha'=55$	$1/\alpha'=0.02$

2 風があれば寒く感ずるが，その温感に及ぼす影響はどれ程か

1. 人体からの風（対流）による熱損失は風速の平方根に比例する。[1)P.42, 2)P.91]

人体からの対流による熱損失は，風速の平方根及び人体表面温（あるいは衣服表面温）と気温との差に比例する。

したがつて基本的な要素として，人体表面温（衣服表面温），露出部面積，平均気温および平均風速の4要素があげられる。いま人体の対流による熱損失量を H_c（kcal/h, m²）（体表面積 1m² 当り1時間に損失する熱量）とすれば

$$H_c = k_c' \sqrt{v}(t_s - t_a) \cdots\cdots (1)$$

ここに k_c'：常数（姿勢により異なる）
v：風速（m/sec）
t_s：人体表面温（°C）
t_a：気温（°C）

着衣の場合には t_s の代りに衣服表面温（t_{cl}）を入れる。この場合 k_c' の値は約10程度となる。裸体の実験による1測定例を示す。（図—1）

2. 温感は対流による熱損失に比例する。従つて温感は風速の平方根に比例する。

(1)式の関係がそのまま体感温度を表わす式に用いられているものに等値温感（Equivalent Warmth），等値温度（Equivalent Temperature），効果温度（Operative Temperature）などがある。例えばイギリスで用いられている等値温度[2)P.51]は

$$E_q T = 0.522 t_a + 0.478 t_w - 0.0207 \sqrt{v}(37.8 - t_a)\ (°C)$$

ここに t_a：気温（°C）
t_w：周壁平均表面温（°C）　v：風速（m/sec）

実効温度（Effective Temperature）は $v^{0.75}$ に比例していて風速の影響が過大であるとの批判もあり，なお検討の余地がある。普通着衣・軽作業時のE・T図表から湿度と風速の変化に応ずる等値な体感を与える気温を示す1例を下表に[1)P.105]あげる。

湿度 %	風速 m/sec.			
	0.1	0.5	1.5	3.5
20	20.2°C	21.4°C	23.3°C	25.0°C
50	19.2	20.3	22.5	24.2
100	17.2	18.6	20.8	22.8

3. ドラフトとは何か

ドラフトは普通一般に〝温感に影響を与える，不快な気流〟であるとされており，換気口，扉，間隙等から生ず賊風と考えられる。数年前H.P.A.C.誌上でドラフトに関する議論が交されたが，その定義について賛成の多かつたものの一つは[4)]〝ドラフトとは身体の露出された部分に局部的な冷却感を生ぜしめるに充分な冷却力をもつた室内の気流である〟であつた。局部的な冷却に関する温感の問題は殆んど未解決であるから，〝ドラフトの強さ〟というものを測る妥当なスケールはないが，気流の速度，温度，湿度，周囲の熱的状態，露出の程度，露出の時間および個人の生理的状態（例えば風邪をひいている場合などドラフトに対して敏感になる。）等の綜合されたものと考えられる。しかし正常な状態として，健康人，座業，ほぼ一定の衣服，快適な暖房を考えれば多くの条件は整理されて結局，気流の速度と温度の2つの要素がドラフトの強さを左右することになる。

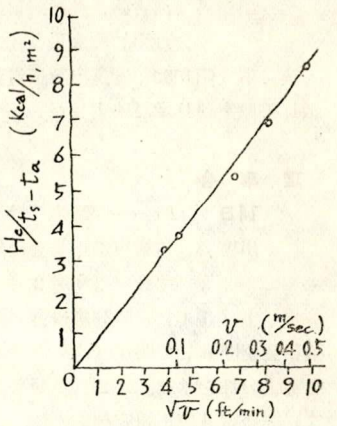


図-1 風速と，対流による熱損失との関係

ドラフトによる苦情調査によれば，[2)P.107] 最大風速0.5 m/sec，殆んど 0.25m/sec 以下の暖房室の場合には1～2% の人が苦情を述べた。また頭の位置では風速と苦情との関係は（この範囲では）なかつたが，脚の位置では風速が 0.2～0.25m/sec をこえる場合には苦情が増したという。

風があると感ぜられる限度は，気温によつて異なる。Baetjer の実験によれば風を頬に当てた場合，次のような結果が得られた。

気温	12.3°C	0.15m/sec
〃	15.5～18.3°C	0.2 〃
〃	30°C	0.6 〃

A.S.H.A.E. 〝GUIDE〟[3)P.31] によれば Baetjer の実験を基にしたと思われるが，気温を指定せず一般に 7.5 cm/sec 以下では全くドラフトを感じない。0.3m/sec以上では感ずる。12.5～17.5cm/sec が適当だとしている。

冷房の場合，吹出口からの冷噴流はドラフトの原因になるが，実用としては噴流の速度が 0.25m/sec に低下するまでの吹出口からの水平距離，垂直降下を計算してその範囲に居住帯が入らないように設計している。

(1957-1 関西設備原論研究会・石原正雄)

参考文献

1) Winslow, Herrington "Temperature and Human Life" 1949
2) T. Bedford "Basic Principles of Ventilation and Heating" 1948
3) A.S.H.A.E, "GUIDE" 1956
4) H.P.A.C, July 1951 P.71

会　合　便　り（11月分）

定時評議員会

28日　1時20分——1時40分　於会館集会室

出席者　河合議長外評議員出席者委任状共52名
理事竹腰会長外4名

議　事　昭和32年度選出評議員数確定に関する件を審議して原案通り承認決定した。

理　事　会

14日　4時——5時半　於会館会議室

出席者　竹腰東畑正副会長外7理事，吉田兵庫支部長　事務局2名

議　事　（1）定時評議員会開催の件　月末に定時評議員会を開催して明年度選出の評議員数を確定する議案を審議の件を承認。（2）談話室使用規定制定の件　（3）集会室外使用規定制定の件　2件とも会館運営委員会審議の通り承認決定。（4）コンクリート技能講座実施の件　第3回同講座実施を承認。（5）工高生設計コンクール入選者表彰式の件　実施案を承認した。但し出席者に対する旅費の補助はしないことに決定（6）忘年懇親会開催の件　例年に倣つて行うことに決定。（7）その他　会員増加に関すること，学会との協力体制確立の必要などについて意見の交換が行われた。（8）入退会者詮衡。（9）報告事項　会計，事業について報告があつた。

会館運営委員会

14日　2時——3時半　於会館会議室

出席者　東畑委員外4名　事務局1名

議　事　（1）委員長選任の件　榊委員を委員長に選任した。（2）談話室使用規定制定の件　原案の通り決定。（3）集会室外使用規定制定の件　規定の条項は原案の通りに，使用料表中4階の使用区別および3階使用料の一部を修正変更して定決。（4）什器類追加調達の件　追加調達することに決定。（5）談話室の運営に関する件　関西建材協会に於て管理し，紅茶・菓子程度のものを準備するようにした。

編集委員会

10日　1時半——4時　於会館会議室

出席者　佐野委員長外7名　事務局2名

議　事　（1）12月「地方建築」特集号経過報告　（2）1月「歴史」特集号経過報告　（3）来年度表紙の件　岩本委員デザインの案を検討して承認。（4）会員の投稿歓迎を12月号に告示することを決定。（5）来年度の編集方針の件　各編集委員からのアンケートを中心に協議した結果，来年度も一応特集主義でいくことにし，特集テーマ約10項を決定した。（6）32年2月号の具体企画　構造の問題に関することをテーマとして，原稿依頼先の具体案を決定した。

建材審査委員会

16日　1時半——4時　於会館会議室

出席者　置塩委員長外9名　事務局2名

議　事（1）ビニローゼ及びビニローゼ #410 審査の件　申請者の担当技術者から説明を聴取して質疑応答を交わした後，竹内委員等5委員を分科委員に委嘱して，その審査を托した。なお近日中に申請者の工場を視察することとした。（2）スプレッドサテン審査の件　申請者係員から説明を受けた後，質疑応答をなし，ビニローゼ分科の5委員にその審査を委托した。（3）スロール審査の件　予定時間を過ぎたので，申請者から簡単な申請品の紹介をして詳細な説明などは次回に譲つた。

同ビニローゼ分科委員会

21日　3時半——5時　於大日本塗料工場



出席者　置塩委員長外４名　事務局２名

一同，会館に集合したうえ大日本塗料の工場に赴く。工場で担当者の案内で製造工程を視察してその説明を聴き，なお試験室の設備なども視察した。休憩室に於て工場首脳者と質疑応答の上，種々意見の交換をした後散会した。

住宅委員会

21日　３時半――６時　於会館談話室

出席者　中野委員長外５名　事務局１名

議　事（１）委員長から前回迄の経過報告。（２）逆瀬委員から最近の住宅問題について，郊外に於ける用地難のため都心に住宅を引き戻して高層住宅を建設し，一面，都市の耐火建築助成促進を計を計画がある旨の報告があり，各人の間で都市計画と住宅計画の問題に関して意見の交換が行われた。（３）斎藤委員から最近の家具事情について，一家の団らんする場所として食事の場所が最も利用されるので，最近の傾向として食卓の脚が高低自由に調整できるようにしてあるものが最新の形式として見られるということなどについて報告があつた。

事業委員会

27日　４時――５時半　於会館会議室

出席者　鷲尾委員長外８名　事務局２名

議　事（１）忘年懇親会の件　小委員会の計画案を審議して諒承。なお設計事務所方面にも寄附金をお願いすることを決めた。（２）新しい建築材料の説明会の件　矢野主査から私案について説明し，これを基に審議してサロン型式と一般説明会型式の２方法でやること，司会者の問題，資料の作成に関すること，展示見本の件などについて意見の交換が行われた。なお第１回には塗料について採り上げることとした。（３）若い建築家の集いの件　担当委員欠席のため次回に譲る。（４）12月及び１月の事業企画　事務局より報告して了承。（５）友好団体との事業共催の件　委員長から，学会，士会との協議について経過報告があつた。

忘年懇親会小委員会

６日　４時――５時半　於会館会議室

出席者　山本主査外７名　事務局２名

忘年懇親会の実施案を審議検討して，会場，当日の委員分掌，予算，会費，後援依頼の件などを決定した。

12日　４時半――５時半　於会館会議室

忘年懇親会のプログラムを審議決定し，なお一部委員に後援依頼の分担を委嘱した。

教育委員会

22日　３時――５時　於会館会議室

出席者　竹内委員長外６名　事務局２名

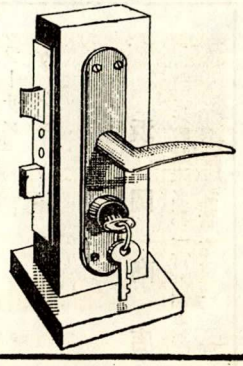
議　事（１）左官工事講習会の批判の件　講習生の意見を調査して，欠席の中原委員からは書面で，出席の委員からも交々意見が述べられた。（２）夏期現場実習実態調査のアンケートについて　犬束主査から詳細に報告があり，追つてこの調査結果は会誌に発表するようにすることとした。（３）工高卒業生の技術教育に関するアンケートについて　事務局から現在迄の回答について報告したが，殆んどのものが，かかる教育施設の新設に積極的の熱意を表明していた。小委員会に於て計画案の検討を進めることとした。（４）第３回鉄筋コンクリート技能講座の件　実施案を報告して了承を得た。（５）第２回工高生デザイン・コンクール入選者表彰式の件　実施案を報告了承を得た。なお記念品の日高賞は製図用具を贈ることとした。

鉄筋コンクリート技能講座講師打合会

22日　６時――８時　於会館談話室

出席者　横尾主査外５名　事務局２名

講義内容の内，他の講師との関聯事項に関すること，スライドの使用，実習の方法などについて詳細打合せを了して種々懇談を交わした。

TRADE YALE MARK
世界のエール錠前
米国エールエンドタウン製造会社
関西販売代理店
株式会社 菅商店
大阪市西区南堀江通三の二〇
電話 ㊿３７１～３
支店　福岡・名古屋


見学会

コマ・スタジアムとコマ・ミュージカルスを観る会

24日　10時——11時　参加者 150名

小林一三氏の夢を実現した，日本は固より世界にも類例の少い舞台構造を持つたコマ劇場が竣功した。本劇場は舞台のみでなく，館内前面にアーケードを設けてあることも稀らしい。一同は観客席に着いて，グルグル廻つたり，上つたり下つたりする三重の円形の舞台を眺めながら，設計者竹中工務店の小川設計部長から設計概要について説明を承わつた。壁や床から出るスリー・チャンネル式の立体音響，オートメーションによる広角照明設備など舞台の新機構と共に新しい設備がなされて「明日の劇場」への示さを投げている。説明後，一同は2班に分れて館内を見学し，更に楽屋口から地下へ回つて舞台下の複雑な構造を見学した。最後に再び舞台上に還つて三重の円形舞台を見下しながら種々と質疑応答を交わした後，見学会を終つた。なお50名の人は，予め協会で準備した観覧券によつて12時から開演のコマ・ミュージカルスを観賞した。

工高生デザイン・コンクール入選者表彰式

29日　2時——4時　於会館集会室

本年実施した第2回工高生デザイン・コンクール「観光案内所」には東京1名，神奈川2名，名古屋，山田各1名と遠隔者から半数の入選者を出したが，表彰式には東京の1名を除いて入選者10名の内9名の者が，遠路を遙々と出席された者もあつて感激の至りであつた。鴻池副会長が入選者一人一人に賞状と記念品「日高貨」を授与され，入選のお祝いと，更に今後の努力を希望される旨の祝詞を述べられた。次いで足立審査委員長が審査概要を述べて表彰式を終つた。引き続き入選者との座談会を開いたが，足立委員長その他各審査員の後進者に対する親切な助言や質問に対する懇切な説明は，入選者一同にとり稗益する処多大のものがあつたことと思われる。なお当日の参列者は，鴻池副会長，足立審査委員長，竹内，吉田審査委員，寺岡小委員会主査であつた。

＝特許＝
氣光式通風器　製造販売
兩用式レヂスター
特許第一五一三六号
カタログ進呈
大阪市西区江戸堀上通1の5
田辺工業株式会社
電話土佐堀㊹7437—9

講習会

鉄筋コンクリート技能講座

コンクリート技能講座も本年は第3回を迎え，テキストを改訂すると共に新項目を増補して，名称も「鉄筋コンクリート技能講座」と改称し，下記の日程で実施した。開講に当つて，横尾主査が本講座の趣旨を述べて聴講者今後の努力と技能向上を期待する旨の挨拶を述べられたが，聴講申込者95名，各夜80%から90%を超える出席率で，昼間勤務者の夜間の勉学に対する熱意には感じ入るばかりである。なお例年に倣つて，終講者に修了証書を，また希望者には特製のバツヂを交附した。

1．日時，科目，講師

11月26日	材料	益尾	辰雄氏
28日	試験法	奥島	正一氏
30日	調合	谷口	尚武氏
12月3日	工法	菅田	豊重氏
5日	工法	金子	豊氏
7日	特殊工法	中出	定夫氏

毎夜　自6時至8時

自 10日 ｝自2時至4時
至 12日 ｝実習

於 大阪生コンクートkk工場

1．場所　大阪府教育会館

1．後援　大阪府建築部　大阪市建築局　近畿地方建設局営繕部　大阪建設業協会

絶讃!! 壁材
高尚脱色変色せぬ
趣味の壁砂
富士印
カラーサンド
汚れぬ耐火保温防暑防音
塗るテツクス
カラーサンドの
ダンネツオール
合名会社
浜岡商店
兵庫県津名郡一宮町郡家港
電話 郡家 二〇番

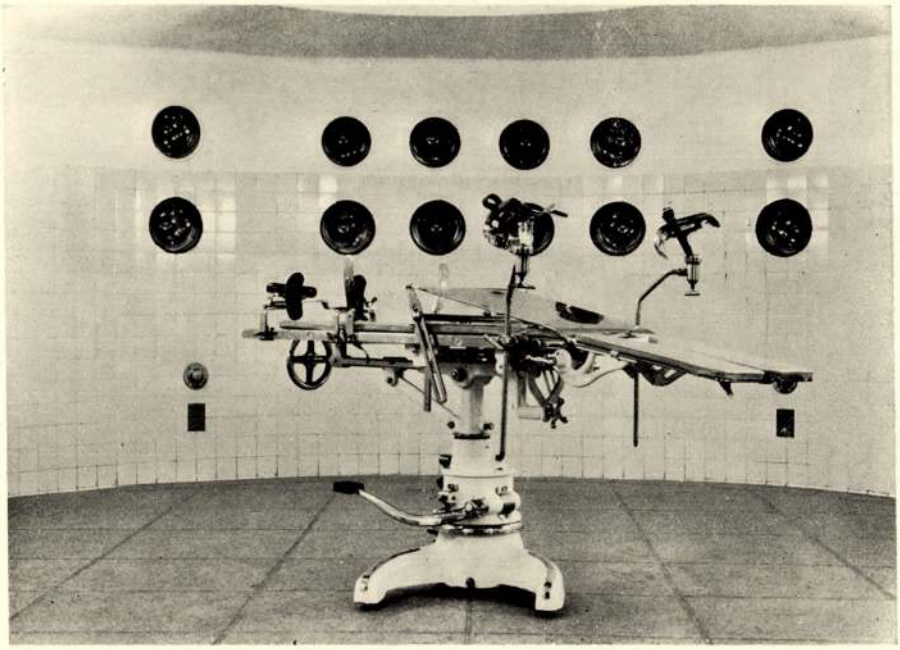
セラストン 磁器のテラゾー
セラプレート 陶樹脂板
セラコート 陶砂洗出し
セラスキン 液状タイル
製造.販売.KK矢橋大理石商店
製造. オリエンタルメタルKK
商標登録・実用新案
山本窯業研究所
大阪市北区芝田町63・㊸3331～2
タイルは当所関西タイル商会（山本窯業商店改称）にて良品と誠実をモットーに販売致して居りますから精々御下命の程御願申上げます。

DK ダントウ タイル

新　製　品

SOタイル（SO－2）使用の

大阪市大病院の大手術室



内装壁タイル製造販売

淡陶株式会社

資本金　一億四百万円

大阪支店　大阪市西区阿波座中通一丁目四八番地
電話新町（53）4 3 2・1 2 4 7番
東京支店　東京都中央区日本橋浜町二丁目四七番地
電話兜町（67）7 3 0 9番
本社工場　兵庫県三原郡南淡町伊賀野
福良工場　兵庫県三原郡南淡町福良
吉永原料工場　岡山県和気郡吉永町

屋　根　材　は

イルエス印の　建築基準法の規定第二十二条に適合した

耐水耐火 石面ルーフィング

床材美しく実用の リノリウムは

印 耐水耐火 **石面ルーフィング** に就いて

実用新案特許番号	第406864号	第417485号
	第406865号	第417486号
	第406866号	第417487号
	第429273号	第417488号
	第429274号	第444254号

今回弊社多年に亘る研究、発明に依り、以上各種の特許番号品を主体となし理想的文化屋根材として耐水耐火の性能を有する佐久間式石面ルーフィングを完成しました。

その **耐火力** については 800° C 以上の効力を発揮し発火は完全に認められず従つて本製品は全国各都市に於ける木造建築物に対し耐水耐火の屋根材として使用出来る事になりました。奮つて御試用御用命願います。

用　途　と　効　用

(1) 外観は風雅、美麗、重厚的で而もその重量は比較的軽い。

(2) 従而、**木造建築**の勾配屋根に使用、施工に適し、台風等に飛散することがない。

(3) **鉄筋コンクリート建築** の陸屋根及びベランダに使用せば、従来施工の防水押え（シンダーコンクリート）等不用である。

(4) 依而、スラブの鉄筋も節約出来、建築費が安価に仕上り、其の上に完全無欠な屋根防水が出来ます。

日新工業株式會社大阪支店

大阪支店・大阪市西区新町北通１ノ40・電話新町㊿5281・5282・5283
東京工場・東京都足立区千住東町93・電話足立㊽0131（代表）— 5
山形工場・山形市小白川町３９・電話山形２３８７・３７７９

関西建材協会・11月会報

会計検閲　2日4時～5時

中山会計理事来室，会計に関する帳簿収支状態検閲。

新材紹介パンフレット作成打合会　6日5時～8時

大阪建築事務所　井上滉，金本賢治，木村喬夫の三氏を招じ，かねて依頼中のスキート・カタログ新材飜訳進行方につき協議。

「建材を語る午餐会」　27日正午～2時半

於今橋クラブ　本年第3回開催　西区，港区方面建設業各社資材課長各位を招じ午餐後，自己紹介した後，来賓各位と建材につき意見交換をなし，盛会裡に2時予定を30分延長し有意義な会を終つた。因に当日の参加下記の通り。

銭高組，鴻池組，吉崎建設kk，大木建設kk，各資材関係各位と不二建設kk山口専務各位。室谷理事長外31名建材会員。

○各社の意見の要約

新材普及に努めよ，吾々は知識に乏しい。

新しい良いカタログを求む。値段統一，同種類で異名の材料名称統一を望む。規格統一。ただ売込むための宣伝のみに走らず，施工法や注意事項を親切にせよ。

研究を常に怠らず新製品を造る時は事前に設計施工者の意見を聞かれることを望む。ダンピングを止め相当儲けること，そのため研讃コストを下げ多量生産を計り一寸のブームに不足は不可，将来の建材軽量たること。等々

見学と秋季大会（舞鶴日本板硝子工場見学と天の橋立観光一泊旅行）　13日

10時京都駅発にて室谷理事長外一行34名（日本板硝子kk木村総務部長，大東社員並びに事務局鹿内，田島共）は12時舞鶴工場到着，昼食後工場見学，4時発バスにて5時半橋立旅館玄妙庵着，秋季大懇親会開催1泊14日橋立成相山等観光，3時発5時京都着解散。

参加商店名

東日本化学工業，金剛商会，室谷商店，田島応用化工，明正社，滝川セルロイド，内外土木，水島商店，能率風呂工業，山本建材社，耐酸化学工業，ナニワ瓦，サンエス商会，平田タイル，三和プラスチック，日昌工業，二葉屋装備工業，田辺工業東洋洋瓦，川島織物，日新工業，大阪生コンクリート，関西タイル，東洋リノリユーム，河津装飾，ケントク東洋陶器，大阪装飾，不二化学工業，田中風呂製作，事務局鹿島・内田日本板硝子木村・大東

本見学に際し当初より格別の協力を頂き，また当日は一行のために，わざわざ総務部長外2日間随行，至れり尽せりの御観待と案内の労を煩わした　日本板硝子kk本社並びに舞鶴工場関係各位に対し，誌上を通じ深甚の謝意を申述べます。（理事長）

表入口ドア表示　6日

展示場に入り難いとの一般の声ありたるを以つて表入口突当りドアに建材展示場随意入場と開館時間を金文字で表示し，なお外部に一般の方も入場観迎の立札を配置した。

三重県大林建築課長飯田住宅係長二氏来会　7日

津市博物館で開催の同県建築士会主催に係る建築展に材料出品斡旋方依頼され，5時まで会員有志に出展方を協力。

日誌

9日　事務局健康保険加入申請書を大阪健康保険署に提出。なお本日よりガス・ストーブ2個購入，1階と地階展示場に備えた。

13日　会員能率風呂工業kk　商標につき証明申出あり前回同様処理した。

20日　旭硝子kk大阪支店新井社員来会，目下計画中のスライド作成の件打合せ，会館トイレットほか同社より寄贈の鏡の配置個所につき打合せ。

22日　大和事務局長津市三重県建築課へ出張，開催中の建築展視察。明春，説明会開催の件等打合せ即日帰阪なお会場にPR（建材）展示場案内等受付に展開。（日々600人入場）

30日　船津理事来会，事務局長と面会，一身上のことにつき話あり，役員委員辞職申出でがあつた。

○会員慶事

25日　kkケントクにては予而東淀川区新宮南通に建設中の同社営業所，工場，研究室，宿舎，講堂，倉庫等，結集工事竣功のため，これが披露会を同社関係者を広く招待され，盛大に同社にて挙行された。本会々員も多数招待に接したが青木副会長以下参列した。追而之より先事務局長は本会を代表して粗品を呈し祝意を表した。

謹賀新春

昭和32年元旦

関西建材協会・同建材展示場

会長　中村文夫　理事長　室谷山水

事務局一同

廣告目次

（50音順）

浅海電気kk ……13
麻村サッシュ工業kk ……26
伊奈製陶kk ……中挟
朝日石綿工業kk ……表紙 4
kk岩住鉄工所 ……中挟
岩元工業kk ……15
kk栄興商会 ……12
オリエンタルメタル製造kk …中挟
大阪建材工業kk ……28
kk大阪城口研究所 ……12
大阪耐火ボードkk ……中挟
kk大阪電気暖房商会 ……12
大島応用化学工業kk ……17
kk奥村重兵衛商店 ……60
奥山化工業kk ……26
織本特殊構造研究所……23
大阪コンベス建材社……17
大阪化成kk ……前付
樫野石灰工業kk ……19
kk川岸窯業 ……18
関西三星タイル会……25
関西ペイントkk ……表紙 3
亀井kk ……17
工藤電気kk ……13
kk久保商店 …… 1
黒川化学工業所……19
kkケントク ……28
kk建材社 ……12
kk金剛商会 ……18
斎久工業kk ……12
kk斎藤省三商店 ……12
三機工業kk ……12
kk三幸商会 ……19
kk三晃商会 ……12
佐村木商店……19
三和商工kk ……20
彰国社……64
新興建材工業所……24
住友金属工業kk ……表紙 3
kk菅商店 ……69
須賀工業kk ……12
kk鈴木シヤタア商会 ……19
住江織物kk ……20
田島応用化工kk ……表紙 2
田中工業kk …… 1
田中風呂製作所……16
田辺工業kk ……70
田村商会建材部……17
大正鉄筋コンクリートkk ……18
大日本硝子工業kk ……15
大仏組……18
高砂熱学工業kk ……13
kk武智工務所 ……60
耐酸化学工業kk ……27
kk立花商会 ……13
高野アスファルト……18
玉置産業kk ……20
第一工業kk ……13
淡陶kk ……中挟
中央電気工業kk ……13
朝陽電気kk ……13
東京鋼板工業kk ……16
東洋レーヨンkk ……前付
東洋陶器kk ……前付
東洋リノリュームkk ……前付
東洋キヤリア工業kk ……13
ナニワ瓦kk ……18
内外工業kk ……19
内外土木建材社……15
浪速合板……21
浪速建材工業kk ……27
日本レイヨン……表紙 4
日本金具製作所……中挟
kk日本シャッター製作所 ……15
日本ドアーチェック製造kk …中挟
日本セメント防水剤製造所…表紙 3
日本ペイント……16
kk西原衛生工業所 ……12
日新工業kk ……中挟
日昌工業kk ……16
kk野上工業所 ……13
kk林塗装店 ……19
合資会社汎建製作所……23
浜岡商店……70
kk日立製作所 ……前付
kk早川鉄工所 ……中挟
福屋工業kk ……19
kk不二製作所 ……22
藤森工業kk ……前付
二葉屋装備工業kk ……16
フタバ黒板……16
豊国セメントkk ……14
水谷ペイントkk ……68
kk三高製作所 ……23
kk三谷製作所 ……18
水島商店……22
kk峰岸商店 ……21
明正社……21
kk室谷商店 ……18
kk矢橋大理石商店 ……19
山本窯業研究所……70
kk吉田芳雄商店 ……18
kk淀川製鋼所 ……前付
kkライト製作所 …… 1
kk油脂化工社 ……表紙 3

特別広告関係（順不同）

kk大林組 ……11
大阪市東区京橋3
電㊾861～6
朝日石綿工業kk ……12
大阪市北区神山町46
電㉞7236(代表)～9
kk三晃商会 ……13
大阪市北区堂島北町14
電㉞7031(代表)
工藤電気kk ……13
大阪市北区太融寺町54
電㊱2891～5
kk建材社大阪支店 ……13
大阪市北区　朝日ビル
電㉓1334～8
小野田コンクリートブロックkk 13
神戸市灘区灘浜町3
電御影⑧9580
kk竹中工務店 ……14
大阪市北区　朝日ビル
電㉓1334～8
伊奈製陶kk ……15
愛知県常滑市扇面新田
電常滑700(代表)
吉野石膏kk ……15
大阪市西区土佐堀通1-1
(大同ビル)　電㊹3694
栗原工業kk ……16
大阪市北区永楽町8
(日産生命館)　電㊺1225～8
kk矢橋大理石 ……16
大阪市東区高麗橋2
野村ビル内　電㉙4257～8
高砂熱学工業kk大阪支店 ……17
大阪市北区中之島3-3
電㉓1334～8
須賀工業kk ……17
大阪市福島区堂島浜通4-10
電㊺1171(代表)
宇部興産kk ……18
大阪市東区南久太郎町4-25
電㉕6391(代表)
kk播津製作所 ……39
大阪市北区堂島西町54
電㊺6270

（註）恒例の新年号掲載の五日会の分は紙面の都合上、広告目次を割愛させていただきましたことを御了承下さい。

新製品 ライトLK型
ベネッシヤンブラインド



長年の歴史と最高の品質を誇るライト製作所が
最新の技術をもって研究完成された近代的高性
能のベネッシヤンブラインドです
実用新案8許を使用された各部品は何れもその
堅牢さと性能について他に比類ありません

株式会社 ライト製作所
本社工場・大阪市城東区野江東三ＴＥＬ(33)1183・3638・8592
梅田陳列所(34)3801・東京営業所(29)8777・8487広島出張所(4)1506

田中式 スカイライト
オペレーター スチールサッシュ
ベンチレーター 設計施工
田中工業株式会社
本　　社　東京都墨田区吾嬬町東4ノ122　電話城東(78)0870,0970
錦糸工場　東京都墨田区錦糸町1ノ25　電話本所(63)0790
小倉工場　小倉市鍛冶町1ノ1　電話小倉653　【出張所】川崎・名古屋・小倉・広島・札幌
大阪出張所　尼崎市南竹谷町2ノ89　電話大阪48545

信用ある技術と伝統の
アスファルト工事専業大店
株式会社 久保商店
大阪市北区真砂町5番地
電話大阪(34)207～8・4836～7

株式会社 浅沼組

取締役社長　浅沼猪之吉

本　社・大阪市天王寺区石ケ辻町・電話代表南730・737～9番
支　店・東京都新宿区荒木町五番地・電話四ツ谷4141～4番
名古屋市中村区太閤通リ一丁目・電話笹島4020・4021
営業所・浜松・鳥取・広島・福生・郡山・奈良・京都・神戸・沖縄

株式会社 新工務所（アタラシ）

取締役社長　新順一

本　店・大阪市北区曽根崎中一丁目四三・電話 代表 大阪（34）9151番
支　店・東京都千代田区神田駿河台三丁目九・電話（29）2714・2715・9157番
出張所・神戸・広島

株式会社 安藤組大阪支店

取締役支店長　瀬川博

大阪市西区江戸堀上通一丁目十八番地
電話 土佐堀（44）1326・4025・4821番　福島（45）393番
本　社・東京都中央区八重洲四丁目七番地
支店・出張所・名古屋・仙台・静岡・横浜・水戸・盛岡・新潟・神戸

株式会社 大林組

本　社・大阪市東区京橋三丁目七五・電話東（94）861～6・1151～4・1251～5
東京支店・東京都千代田区丸ノ内一丁目二・電話（28）3421～9
其他ノ支店・札幌・仙台・横浜・名古屋・岡山・広島・福岡
出張所・神戸・京都

株式会社 奥村組

取締役社長　奥村太平

本店・大阪市阿倍野区松崎町一丁目五一
電話 大阪（77）代 337. 1500　時間外 3388・5259・6621番
支店・東京・広島・高松・八幡
出張所・名古屋・四日市・奈良・西宮・光・松山・福岡・大村

鹿島建設株式会社 大阪支店

大阪市阿倍野区阿倍野筋二丁目三三
電話 天王寺 (77) 3730・3737～9・3677番
本　社　東京都中央区八重洲五丁目三番地
支　店　札幌、仙台、横浜、名古屋、大阪、広島、
四国（高松）、九州（福岡）

株式会社 勝呂組大阪支店

大阪市東区石町二丁目五十番地ノ二（電話東（94）3146・3863番）
本　社・静岡市日出町一ノ二（電話静岡（2）7171～5）
支　店・東　京・名古屋・大　阪・福　岡・函　館
営業所・若松・宇都宮・川崎・清水・甲府・沼津・浜松・岐阜・滋賀
出張所・広島・小倉・佐賀・長崎・八代・熊本・鹿児島・宮崎・札幌

株式会社 神崎組大阪支店

支店長　大　西　繁　市

大阪市北区曽根崎新地1丁目21
電話北（34）7837
本店・姫路市北条口86—3（電話代表姫路2020）

株式会社 熊谷組大阪支店

大阪市東区備後町一丁目十三番地（電話大阪（26）1276・1926番）
本社　福井市豊島上町一番地（市外専用12・4800～2）
営業所　東京都新宿区筑土八幡町二二番地（電話九段～（33）5280～9番）
支店　東京・名古屋・広島・福岡・札幌
出張所　横浜・仙台・静岡・佐久間・下関・神戸・鳥取・岡山・旭川・湯原
福井・高松・平岡・相模原・長野・岐阜・小又川・甲府・藤沢・
青海・四日市・富高・前橋

株式会社 鴻池組

本　店・大阪市此花区伝法町北三丁目六七番地
電話代表此花（46）2631～9番
支　店・東　京・名古屋・福　岡・松　江
営業所・広島・神戸・京都・横浜・札幌・仙台・水戸・富山
四日市・和歌山・米子・鳥取・宮崎・鹿児島・戸畑



株式会社 **郷組大阪支店**

取締役支店長　宇井　旭

大阪市北区堂島北町17番地

本社・東京　本店・大垣

支店・東京・名古屋・広島



佐藤工業株式会社大阪支店

取締役支店長　北村平作

大阪市東区北浜一ノ二五（電話北浜（23）6731～3）

本社・富山市総曲輪二三〇

東京支店・東京都中央区日本橋本町一ノ二

本社分室　同上

名古屋支店・名古屋市中区仲ノ町一ノ一

富山工場・富山市稲荷元町九六

営業所・富山・札幌・京都　出張所・神戸・横浜・岐阜・三重・椿原・札幌・仙台・沖縄



清水建設株式会社

社長　清水康雄

本社・東京都中央区宝町二ノ一

常務取締役支店長　小栗贊吾

大阪支店・大阪市西区土佐堀通り二ノ二

電話土佐堀（44）1531（10）夜間専用土佐堀（44）1531～32



株式会社 **銭高組**

本店・大阪市西区京町堀上通一丁目三三番地・電話 大阪（44）2431～7番

東京支店・東京都中央区銀座東五丁目二番地ノ一二

名古屋支店・名古屋市中区材木町一丁目五番地

福岡支店・福岡市箔屋町一六番地

出張所・札幌・盛岡・仙台・京都・神戸・岡山・広島・徳島・松山・沖縄



大成建設大阪支店

取締役支店長　遠藤洋吉

大阪市東区釣鐘町二丁目二十九番地・電話 東（94）208・321～325番

本社・東京都中央区銀座三丁目四番地一

支店・札幌・仙台・新潟・横浜・名古屋・広島・高松・福岡・沖縄

大阪支店管内営業所・京都・堺・神戸

建設工事一式請負

大鉄工業株式会社

大阪市北区茶屋町38番地
電話大阪(36) 1711～5番
支店 大阪・姫路・天王寺・松阪・福知山・米子

大日本土木株式会社大阪支店

大阪市北区堂島北町九番地
電話大阪(34) 5931(代表)—5934番
神戸営業所 神戸市生田区下山手通八丁目四二番地ノ一 電話元町(4) 2114番
本社 岐阜市長住町二丁目三番地 電話 岐阜(2) 6141(代表)—6145
支店 東京・名古屋

株式会社竹中工務店

本店・大阪市北区中之島3丁目3番地(朝日ビル)
電話 大阪 26局、 代表 7591 代表 8591
営業所・札幌・仙台・東京・横浜・静岡・名古屋
京都・神戸・広島・高松・福岡

鉄道建設興業株式会社大阪支店

取締役支店長 西島尚義

大阪市大淀区天神橋筋六丁目五番地(天六阪急ビル七階)電話堀川(35) 883・2427・2693
本社 東京都千代田区神田三崎町二丁目六番地
電話(九段) 代表8411—8415

株式会社戸田組大阪支店

常務取締役支店長 石丸正名

大阪市北区真砂町三二番地・電話(34) 8631～5番
本社・東京都中央区京橋一丁目三番地
支店・札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・福岡
大阪支店営業所・京都・神戸・福井・金沢・富山

株式会社 間組大阪支店

取締役支店長　牧村利勝

大阪市東区横堀二丁目七〇番地（電話 北浜（23）代表 5035）
本　店・東京都港区赤坂青山南町一丁目一番地（電話赤坂48代表2171）
支　店・仙　台・名古屋・大　阪・福　岡

株式会社 藤木工務店

本　店・大阪市東区両替町一丁目一七 電話 東（94）451～4番
支　店・東京都新宿区三栄町二三番地
岡山県倉敷市旭町六六〇
香川県高松市内町一〇七番地ノ三
出張所・津・岡　山・新居浜・徳　島・京　都

株式会社 藤田組大阪支店

取締役
支店長　村島良雄

大阪市北区堂島中二丁目三八番地（電話（34）757（代表）
本　社・東京都中央区八重洲四の五
支　店・横浜・仙台・名古屋・大阪・広島・小倉・札幌

株式会社 松村組

大阪本店・大阪市東区京橋二丁目二八番地	電話代表 東	（94）3171
東京支店・東京都千代田区内幸町一丁目一番地	電話代表東京	（59）2226
札幌支店・札幌市南一条東三丁目九番地	電話代表札幌	（2）4987
広島支店・広島市大手町七丁目三三番地	電話代表 西	（3）4201
福岡支店・福岡市上市小路二二番地	電話代表 東	（3）3667

営業所・水戸・名古屋・京都・福知山・岡山・呉・高松・八幡・大分・沖縄

三井建設株式会社 大阪支店

取締役
支店長　伊豆倉武一

大阪市北区堂島北町二〇番地　電話大阪（34）代表3878
本　社　東京都中央区日本橋室町二ノ一（三井ビル）電話日本橋（24）代表3261
支店所在地　札幌・横浜・名古屋・広島・福岡・大阪
大阪支店管轄営業所　京都・神戸・和歌山・奈良・岡山

井上組

井上福蔵

大阪市都島区東野田町2丁目15番地　電話堀川（35）530・2823・4782
出張所　神戸市生田区相生町4丁目93番地　電話元町（4）485

株式会社 岡組

取締役社長　岡三郎

本店　大阪市北区堂山町八九番地　電話大阪（36）2967・2984番
支店　京都市下京区大宮通り松原上ル　電話　壬生（84）0927番
出張所　枚方市伊賀七七五番地　電話　枚方655ノ乙番
工作所　大阪市大淀区中津本通二丁目　電話　豊崎（37）5493番

大木建設株式会社 大阪支店

大阪市西区土佐堀通一丁目一番地（大同生命ビル）
電話土佐堀（44）177・2581番
本社　東京都港区赤坂表町一丁目三番地
電話赤坂（48）8231～6番
支店　大阪・仙台・札幌
営業所　青森・名古屋・前橋・沖縄

長谷川組株式会社

取締役社長　長谷川為一

本社　大阪市天王寺区大道町四丁目七九
電話　天王寺（77）4148・7322
工作場　大阪市天王寺区大道二丁目三
電話　天王寺（77）9044番

水野建設株式会社 大阪支店

取締役副社長　水野久市
支店長　梅沢正一

大阪市北区太融寺町120 電話大阪（34）2107・2816・（36）3987
工作場　同北区鶴野町71　電話大阪（37）1921
本店　京都市下京区西七条市部町17　下8052・8277
営業所　横浜市・平塚市

謹賀新年　火曜會

株式会社 星屋電気商会	山上　孟男	大阪市北区堂島浜通1ノ80	(34) 1575(代)
株式会社 紅屋商会	唐住　侑	大阪市天王寺区上本町6ノ1	(77) 6469 8506
株式会社 東亜電気商会	平山　勇	大阪市北区神明町40	(34) 4677(代)
東光電気工事株式会社 大阪出張所	姉川　正男	大阪市北区神明町23影久ビル内	(34)5751(代)
中央電気工業株式会社	今村　騰	大阪市北区曽根崎町上1ノ41	(34) 8131(代)
株式会社 大阪電気商会 大阪暖房商会	菅谷　三郎	大阪市西区江戸堀南通1ノ37	(44) 5231(代)
太陽電設工業株式会社	古谷庄太郎	大阪市此花区恩貴島南之町73	(46) 4651(代)
株式会社 野上工業所	野上清二郎	大阪市東区北浜3ノ47	(23) 771(代)
栗原工業株式会社	栗原　信虎	大阪市北区永楽町8 日産生命館内	(34) 1234(代)
工藤電気株式会社	工藤　寿男	大阪市北区太融寺町54	(36) 2891(代)
株式会社 ヤマト電気商会	山本竜太郎	大阪市北区西堀川町15	(34) 3056(代)
八千代電設工業株式会社	梶本　秀尾	大阪市東区森之宮東之町高架下	(94)6531(代)
株式会社 山川工業所	山川　義夫	大阪市北区曽根崎上1ノ10	(34) 8374(代)
株式会社 松重電機商店	松本芳太郎	大阪市東区今橋2ノ16	(23) 6951(代)
江東電気工業株式会社	猪飼幸次郎	大阪市生野区勝山通9ノ72	(73) 4035(代)
近藤工業株式会社	近藤　義明	大阪市西成区東四条3ノ3	(64) 1713
浅海電気株式会社	浅海　治平	大阪市東区北浜2ノ69	(23) 5273(代) 4241
三和電気土木工事株式会社	助野　信三	大阪市北区東堀川町11	(35) 3378(代) 3274
株式会社 三興社	坪井松三郎	大阪市北区絹笠町50 堂ビル内	(36) 2138(代)
三機工業株式会社大阪支店	下山田政友	大阪市東区高麗橋3ノ1 東棉ビル内	(26) 2951(代) 3076(代)
近畿電気工事株式会社	佐藤　太	大阪市北区南扇町12	(34) 7171(代)
株式会社 明和工務店 大阪営業所	馬淵　忠義	大阪市福島区上福島南3ノ89	(45) 4772(代)

鐵と生活
トタン板篇

富士製鐵の
フルハード

たとえ1本のタル木でも
節約して・・・



20貫級の人が乗つても折れたり、凹んだりしない強力**トタン**板「**フルハード**」を使えば、屋根全体が強力なデッキとなり、しかも、タル木の間隔を広くするなど屋根の構造を簡単にすることができますから、建設費の節約になります。特に「**フルハード**」は従来のトタン板より値段が安いので、一段とお徳用です。

屋根板には一番お徳用な
「**フルハード**」を……

富士製鉄株式会社

国内販売総代理店　日板商事株式会社

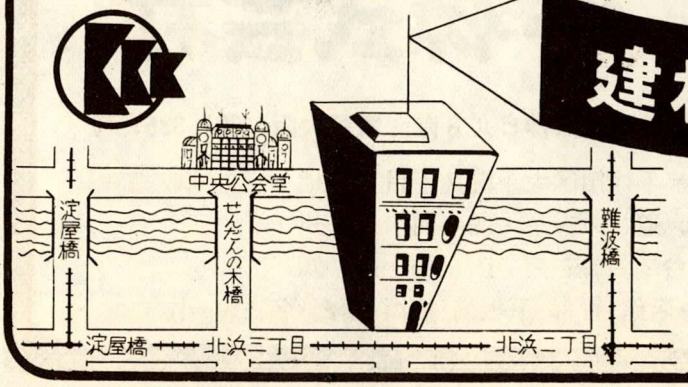
専売特許　ウカ式化学防水工事　グラウチング防水工事
グナイト工事　アスファルト防水工事
専売特許　薬液注入土壌硬化工事　鑿井並ニ地質調査

株式会社 大阪防水建設社

本　社　大阪市天王寺区餌差町42番地　電話 南 ㉕2595番
出張所　名古屋市中区和泉町一丁目九番地　電話本局㉓5075番
〃　神戸市兵庫区神田町四三九番地　電話元町④6930番

信用と誠実をモットーとする・建材100社の見本が一目で見られる

建材展示場



設計・施工・管理には
まずお気軽にお越し下さい

関西建材協会
大阪市東区北浜三丁目三七　近畿建築会館内
電話 ㉓7172　振替番号 大阪 59739

小野田

ONODA WHITE
PORTLAND CEMENT
白色
ポルトランドセメント

建築の美装化

白色ポルトランドセメント

用　途
建築の内外面の仕上塗
装飾用・採光用
標識用・各種加工品



小野田セメント株式会社

社長　安藤豊祿

本　部　東京丸ノ内1ノ1・鉄鋼ビル
大阪支店　大阪梅田・第一生命ビル

アサノ　セメント

日本セメント株式会社

関西事務所　大阪市北区梅田町47番地　新阪神ビル6階　電話大阪（36）3351～6

本　社　東京都千代田区大手町2丁目9番地
事務所　北海道・東京・関西・九州
出張所　仙台・名古屋・広島・高知
包装所　釧路・函館・青森・下板橋・横浜・新潟・名古屋・小倉

生コン時代が参りました

（品質の絶対優秀）と（完全サービス）を目標に生コン四社が出揃いました。御引立の程願上げます。（右より50音順）

大阪アサノコンクリート株式会社

大阪市西成区津守町西六丁目三〇番地
本社工場　電話　大阪㊻九九二一・四一三七（代表）

大阪生コンクリート株式会社

大阪市北区堂島浜通二丁目一四番地
電話　大阪㉞六一三一番（代表）

小野田レミコン株式会社大阪事務所

大阪市北区梅田町二番地（第一生命ビル二階）
電話　大阪㊱一二六一番（代表）

阪急砕石コンクリート工業株式会社

大阪市東区北浜四丁目二六（新日本汽船ビル四階）
電話　大阪㉓四六六七・九二四一番

媛冷房・水道衛生工事
設計施工

株式会社 **栄興商会**

取締役社長 中山俊人

本社 大阪市福島区上福島北二丁目一番地
電話福島㊺3391～4番
支店 東京都新宿区荒木町一九番地
電話四谷1324番
出張所 神戸市生田区下山手通八丁目三三
電話元町④5377番

暖房・冷房・水道・衛生設備
設計施工

株式会社 **三晃商会**

本社 大阪市北区堂島北町一四 ㉞代表7031
出張所 東京都港区芝琴平町四〇 ㊽8478・1470
名古屋市中区新栄町二丁目一 ⑨1820～2
福井市宝永上町一〇五 ②1596
広島市石見屋町五五 ②1773
福岡市薬院大通一丁目一七 ④1158

給排水：衛生
暖冷房：換気 設計施工

株式会社 **大阪城口研究所**

代表取締役 城口庸平

大阪市北区高垣町一・電話豊崎㊲7575～7
京都市東山区大和大路大仏前・電話祇園⑥4945～6
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話元町④5892

電気・暖冷房・水道・衛生
設計施工

株式会社 **大阪電気商会**
株式会社 **大阪暖房商会**

取締役社長 菅谷三郎

本店 大阪市西区江戸堀南通一丁目三七番地
電話土佐堀㊹代表5231～5番
東京支店 東京都中央区銀座西二丁目一番地
電話京橋㊿代表6291番
名古屋支店 名古屋市中区南武平町二丁目一番地
電話中㉔代表4491番
出張所 京都・神戸・岡山・広島・福岡・熊本
仙台・新潟・金沢・福井・札幌

水道・衛生・媛冷房・其他管工事
設計並施工
特許YM式ルーフドレイン製造販売
(旧斎藤久孝事務所)

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市南区順慶町通一丁目四四番地
電話本町局㉘代表4496～8番
本店 東京都千代田区丸ノ内2ノ8仲12号館5号
電話28局6505～8番
金沢営業所 金沢市高岡町三五 電話金沢本局②2074
福井出張所 福井市城之橋下町一〇 電話福井2436
高松出張所 高松市中新町一〇六ノ三 電話高松5195

創業 大正二年
暖冷房・換気・空気調和
病院諸機械・給排水・衛生

株式会社 **齋藤省三商店**

東京店 東京駅前丸ビル6階 676区
電話和田倉⑳3761・3762・3763・3764
大阪店 大阪市西区土佐堀通大同ビル714号
電話土佐堀㊹1568・1569・2594
札幌店 札幌・北四・西四(札幌駅前)
電話札幌②0010・0956 ③4661

暖房・冷房・衛生・水道・電気・厨房・築炉
鋼製建具・軽量間仕切・工事設計施工
電縫鋼管・荷役機械・製造販売

三機工業株式会社大阪支店

大阪市東区高麗橋三丁目壱番地・電話代表26局2951 3076
本社 東京都千代田区有楽町壱丁目十番地
支店・出張所 名古屋・福岡・札幌・広島
工場 川崎・鶴見・中津・六郷

暖房・冷房・水道・衛生工業設備
設計施工

須賀工業株式会社

大阪市福島区堂島浜通4丁目
電話㊺代表1171番
東京支店 東京都港区芝田村町6丁目 電話㊸代表7151
名古屋支店 名古屋市中区材木町1丁目 電話㉓ 2780
京都支店 京都市下京区烏丸通松原下ル電話⑤ 1989
神戸支店 神戸市生田区北長狭通2丁目 電話③代表5101
福岡支店 福岡市千代栄町 電話②代表4735

給水・排水・衛生設備・暖房設備
汚水浄化装置・都市廃物処理装置

株式会社

西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通二丁目五一番地
電話福島㊺3416～8番
東京事務所 東京都港区西芝浦三丁目一番地
電話三田㊺9371番

空気調和装置及衛生設備
設計施工

株式会社 **建材社**

大阪支店

大阪市北区中ノ島三丁目(朝日ビル九階)
電話北浜㉓1334～8
本社及東京支店 東京都中央区八重洲三丁目七
営業所 名古屋市中区西万町二丁目一

暖・冷房・空気温湿度調整装置

設 計 施 工

高砂熱学工業株式会社大阪支店

大阪市北区中ノ島3丁目3番地（朝日ビル7階）
電話北浜㉓1334～8・7359
本社 東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和装置、各種冷凍機
設 計・製 作・施 工

東洋キヤリア工業株式会社
大 阪 支 店

大阪市北区堂島船大工町五三番地(毎日大阪会館内)
電話大阪㉞局代表8356
本社 東京都中央区日本橋兜町三丁目二四番地
出張所 名古屋・九州 工場 足立

電気工事設計施工
変圧器電動機電気冷蔵庫
電気洗濯機販売修理

工藤電気株式会社

大阪市北区太融寺町五四
電話・大阪㊱2891—5番
工場 大阪市西淀川区御幣島東一丁目二〇
電話 淀川㊼3477・3478
営業所 東京・名古屋・神戸・岡山・広島

各種電気工事設計施工

淺海電気株式会社

取締役社長 **淺海正雄**

大阪市東区北浜二丁目六九
電話北浜㉓5273—5275・4241
営業所 東京・神戸・岡山・小倉・札幌

電気設備工事
設計・施工

朝陽電気株式会社

取締役社長 山本博三

本社 大阪市北区中之島三丁目三 朝日ビル6階
電話 大阪局㉖8851番・㉓9531・1334・2351
営業所 大阪市西区土佐堀通り四丁目十一番地
電話 大阪局㊹4595・7563

電気工事全般設計施工

中央電気工業株式会社

取締役社長 **今村 騰**

本社 大阪市北区曾根崎上一丁目四一
電話 大阪㉞8131代表～4
営業所 東京・新宮・御坊

三菱電機製

NFノーヒユーズ分電盤 NFノーヒユーズ配電盤
螢光灯・モーター・変更器・冷暖房・エレベーター

三菱電機株式会社元扱店

株式会社 立花商会

大阪市東区南本町二丁目四三番地
電話本町㉙0323・1575—9

電気工事設計施工

株式会社野上工業所

取締役社長 野上清二郎

本社 大阪市東区北浜三丁目四七 電話北浜㉓770～3
支店 福岡市上東町十五 電話東③5010
支店 松阪市本町電話 13
出張所 東京・名古屋・神戸・直方・田川・大分

温湿度調整装置、煖房、冷房、水道、搬送機設備 設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町三〇番地 電話大阪㉞ {(代表)0977 {0978～9・0970

本社 東京都千代田区丸ノ内二ノ一〇 電話㉘ 2631—4
仙台支店 仙台市新伝馬町六〇 電話 7332
名古屋出張所 名古屋市東区東門前町三ノ六 電話⑨ 2893

豊国セメント株式会社

本　社　福　岡　県　苅　田　町
事務所　小　倉・大　阪・東　京

電氣工事・土木工事
設計・施工

近畿電氣工事株式會社

取締役社長　佐　藤　　太

本　店　大阪市北区南扇町十二番地
電話大阪㉞7171—8番
支　店　大阪北・大阪南・京都・神戸・姫路・奈良・和歌山・滋賀
支　社　名古屋・広島・東京

タイル　衛生陶器　附属金具

株式会社 平田タイル

本店・大阪市西区阿波座中通一　電話新町（53）1003・1004・1005番
支店・京　都・神　戸・広　島　　営業所・芦　屋・岡　山

内外式ベンチレーター

性能を誇る コンチニアス並に簡型 (風力換気用 (動力換気用

内外式スカイライト

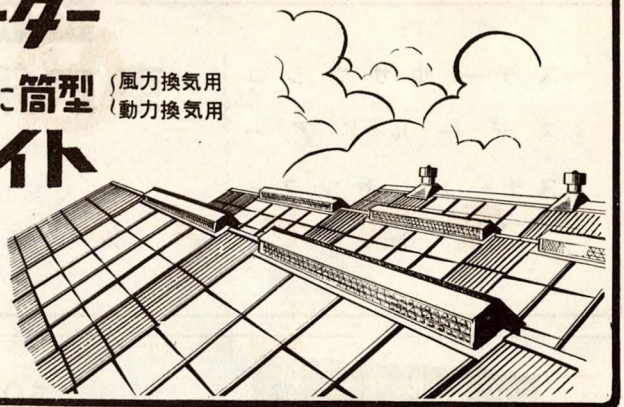
一般硝子屋根＝ワイヤ波型硝子屋根

設　計　施　工

株式会社 内外土木建材社

大阪市西区土佐堀船町23（大阪商工ビル）

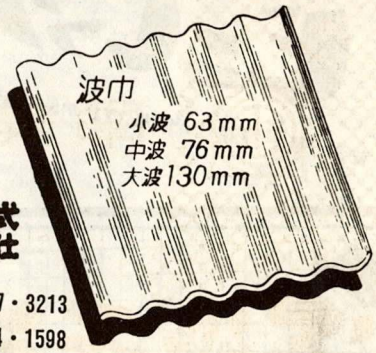
電話土佐堀（44）3983番 4396番



光り 波型ガラス

ワイニチライト

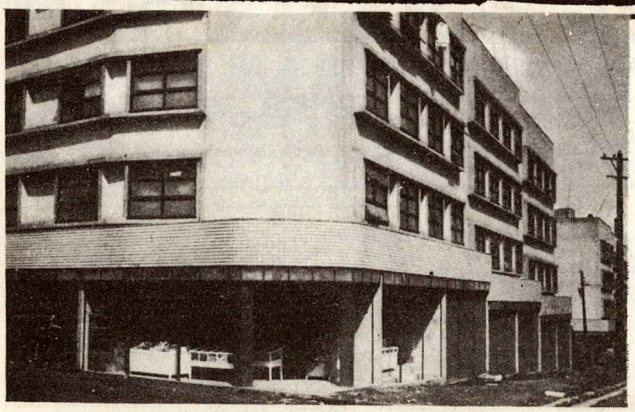
ポリエステル樹脂
硝子繊維強化板
6尺×2尺4寸（波型）



製造元 大日本硝子工業株式会社

大阪営業所　大阪市北区玉江町2～4（三菱倉庫ビル）電話土佐堀㊹1597・3213

本　　社　東京都中央区銀座7～3（朝日ビル）電話銀　座㊲2324・1598



大阪府営堺宿院店舗付共同住宅

戸締ノ改革

PATENTS No:414855 No:414856 No:35528

店舗、倉庫、ガレージ等ニ最適デス　開閉ハ
片手ニテ軽ク揚ゲ降シ致シマス　価格ハ至極
低廉デス　御一報係員参上、カタログ進呈

専門製作

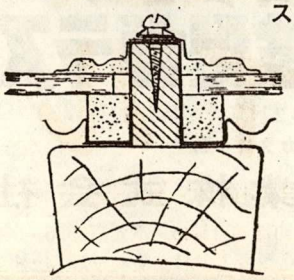
株式会社 日本シャッター製作所

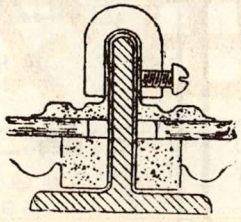
大阪市東淀川区田川通6丁目38

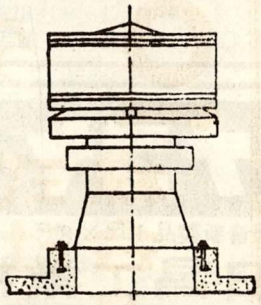
電話豊崎㊱439

特許岩元式 スカイライト・並ニベンチレーター

スチール サッシュ・ドアー・オペレーター其他修理
設　計
並
施　行
カタログ進呈







岩元工業株式会社

本社　大阪市東成区東今里町4の40
電話東㊾8870・9350
倉庫　大阪市天王寺区堂ケ芝町5
電話天王寺㉗6980

スチールサツシュ
スチールドアー
スチールシヤツター

東京鋼板工業株式会社

大阪支店
大阪市東区十二軒町八番地　電話東㊹ 2674 7303
本社及工場
東京都荒川区尾久町5ノ1.000　電話荒川㊾8131-4

ビニル壁塗料

ビニレックス

乾きが早く 密着性が優れ のびが良く 経済的である

5000（エルマルジョン型）
6000（溶　剤　型）

日本ペイント
大阪　東京



清

各種鋼鐵風呂釜一式
箱風呂・ボイラー・ガス風呂

田中風呂製作所

大阪市浪速区元町一丁目七四二　但シ賑橋電停前

田中風呂発売元
電話　戎㊹ 5313・8128

若

FUTABAYA DECORATORS, LTD.

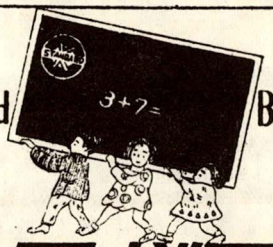
造作家具
内外敷物織物
室内装飾
設計施工

今回都合ニ依リ社名変更致シマシタ屋移転御高承御願申上マス

（創業・大正7年）

二葉屋装備工業株式会社

（元KK二葉屋）
取締役社長　若林繁吉
大阪市大淀区本庄川崎町二丁目六番地
（天六電停西北三丁）電話豊崎㊲3321～3・3630



Standard Board&Slate

フタバ黒板

大阪市東住吉区桑津町三丁目101番地 電話天王寺(77)4692番

ナゴヤ・ボード

吸音新製品 1尺×8尺　4尺×8尺

日昌工業株式会社

大阪市旭区生江町2丁目40　電話㉕3356・3500
東京都中央区日本橋蠣殻町1の11　電話㊲5873・4091
製造元　名古屋木材株式会社

日昌式安全葺

金網入波型ガラス

規格　巾2尺4寸×長さ6尺
（カタログ進呈）

日昌工業株式会社

大阪市旭区生江町2丁目40　電話㉕3356・3500
東京都中央区日本橋蠣殻町1の11　電話㊲5873・4091

経験と㊇技術
Y.C.コンベス（リグノイド）
ゴムタイル
プラスチックタイル
スポンヂシート
アスファルトタイル
大阪コンベス建材社
大阪市北区浪花町三五　電話豊崎㊲6760・7063

耐久力鋼板に勝る耐酸被覆鋼鉄板
浪板・谷樋・水切 軒樋
排気ダクト・ベンチレーター
PATENT Standard
ニュースタンダードメタル 日本建築協会優良証明受領
大島応用化学工業株式会社
STANDARD METAL
本社・大阪市城東区野江東之町4丁目 電話 城東(33)4481
支店・新居浜市・電話 新居浜327・938　出張所 四日市市 電話四日市65 ・広島市 電話南(4)2473

万年煙突・波型スレート・各種ラス・ルーフィング・ベンチレーター・クレオソート
コールタール・エラスタイト・ターフエルト・避雷針金具・樋受金物製造卸
伸銅品・和洋建築材料一式
万年スレート株式会社代理店
田中屋本店
大阪市南区高津一番町七一番地
電話 南(75)5894・8586番

ヨツメアコスボード
日本楽器製 高級合板
タムテキス
ヤハズラス
フローリング
田村商會 建材部
神戸市生田区栄町通2ノ39(安田火災ビル)
電話 神戸 ③ 0591～3番

窓掛、緞帳、日除、壁紙 室内装飾 絨毯、舗床材一般
東洋レーヨンのナイロン緞通と絨毯 発売元
亀井株式會社
大阪市東区南久宝寺町四丁目(心斎橋筋)
電話船場(25)1353～5番

風雨に強く
和瓦より安い
だいわ
大和洋瓦
發売元
大仏組
大仏瓦・各種和洋瓦
工事請負一式
本店 京都市東山区今熊野池田町九 ⑥3555
大阪営業所 大阪市東区内淡路町一丁目 ㊾ 975

耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売
建築陶器の百貨店
株式会社 吉田芳雄商店
大阪市北区南森町交叉点
電話堀川㊽3402・9034

タイル 衛生陶器
販売と施工
奉仕感謝の店
株式会社 川岸窯業
大阪市西区靭北通一の五（市電京町橋電停前）
電話土佐堀㊹2571番

防水工事
ルーフインメタルラス
高野アスファルト
大阪市西区江戸堀上通二丁目四二 電話 土佐堀㊹4164・2148番

特許植物性 型枠離剝塗料
サンヒット
関西代理店 株式会社 金剛商會
大阪市西淀川区野里町1231 阪神国道電車 野里電停前
製造元 東京 坂巻サンヒット商会 電 淀川㊼0417・4091

台風に強い
ナニワS瓦
赤褐・黒・緑・青緑色
真空処理された
優秀瓦
大阪市浪速区元町一丁目七四二
市電賑橋（ナンバ）電停西側
ナニワ瓦株式会社
電話戎（六四）五〇六五番

Acoustic Tex
吸音テックス
株式会社 室谷商店
本社 神戸市生田区長狭通四ノ一地産ビル
TEL 三宮③0881～3
支店 大阪市北区絹笠町五〇 堂ビル5階
TEL大阪㊱2021・3486・1141

営業種目
土木建築設計監理
鉄筋コンクリート煙突
サイロ・工事
組立塀・工事
高架水槽
大正鉄筋コンクリート株式会社
大阪市北区絹笠町50（堂ビル4階）
電話大阪㊱0923番1141番

N. G. C式

セルコンインシュライト断熱材関西総販売店
メタリヤンミツシユD. M 38番責任施工
米国パブココンパウンドアスファルト販売

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルトモルタル工事

内外工業株式会社
脇山静夫
大阪市阿倍野区旭町一ノ五一
電話 ㊹ 3434～6

株式会社 **矢橋大理石商店**
大阪出張所
大阪市東区高麗橋二丁目九 野村ビル五階
電話北浜 ㉓ 4257－8番

工業用及建築用各種石灰製造販売
小野田セメント特約販売店
樫野石灰工業株式会社
大阪支店
大阪市北区曾根崎新地三丁目五十三ノ一
(市電桜橋停留所前) 電話大阪㉞1274～6
支店・徳島・神戸・姫路・東京

PAINTING CONTRACTOR
塗装工事請負
株式会社 **林塗装店**
TEL. 大阪 ㉕ 1756－7・東京 ㉙ 1335

陶管・ベンチレーター
株式会社 三幸商会
大阪市北区曽根崎上一ノ四一
電話大阪 ㉞ 3145
ヒューム管

リグノイド床・床材料
製造・販売・施工
福屋工業株式会社
本店 大阪市西区南堀江上通一丁目卅一
電話新町 ㊸ 3426～7

鈴木式防火シヤタア
鈴木シヤタア工業株式会社大阪出張所
株式会社 **鈴木シヤタア商会**
大阪市北区茶屋町三十三番地
電話豊崎 ㊲ 98・5837・8729

標準セメント防水材・特許ニッポン
特許ニッポン防水液・急結液一号(噴水急止)
二号(湧水防止)・姉妹品粉末ニッポン
施工指導並ニ責任模範施工
黒川化学工業所
(国立大阪工業試験所創製) セメント防水材特許権実施工場
(大阪営業所) 北区芝田町六八 電話北㉞7916
(本社・工場) 神戸市灘区住吉町反高林1876・
御影 ⑧ 2723

風雨に強い **平安瓦**
合資会社 **佐村木商店** 実用新案
営業所 大阪市東区京橋前之町二 各種瓦葺工事請負業
電話 ㊹ 1528

新らしい建築に....最も新らしい材料を

強化プラスチック建材
グラスライト
採光，日除け，天井に
軽量，耐焔性
半透明，優美な外観

グラス繊維スクリーン
レツクスネット
防虫網
さびない，くさらない
燃えない，のびない

メーカー
日東紡績株式会社

氷山印
ガラス繊維製品
防水，防蝕，工事に
グラスクロス，グラステープ

火山印
ロックウール製品

保温 保冷 防音の
御相談 御用命は

販売特約店
三和商工株式会社
大阪市東区伏見町四ノ三三
電話北浜 (23) 2456－9・9944番

コガネライト
蛭石焼成品
断熱・耐火・軽量・防音・美麗

軽石 鹿児島産 軽量コンクリート用
製造販売 **玉置産業株式会社**
本社 大阪市南区心斎橋筋南詰東入 電話代表㉗5675番
神戸支店 神戸市東灘区御影町 電話御影⑧3016番
工場 大阪市大正区三軒家 電話泉尾㊺1719番

カーペツト モケツト 窓掛地 紡毛糸
住江織物株式会社
本社 大阪市南区安堂寺橋通四ノ五五 電大阪(25)(代)81
東京支店 東京都港区芝西久保桜川町 電 芝 7406－9

良心的な工事と材料

アスファルト
防水工事．耐酸工事．

ブリヂストンの
エバーソフト
最も進んだゴムのクッション

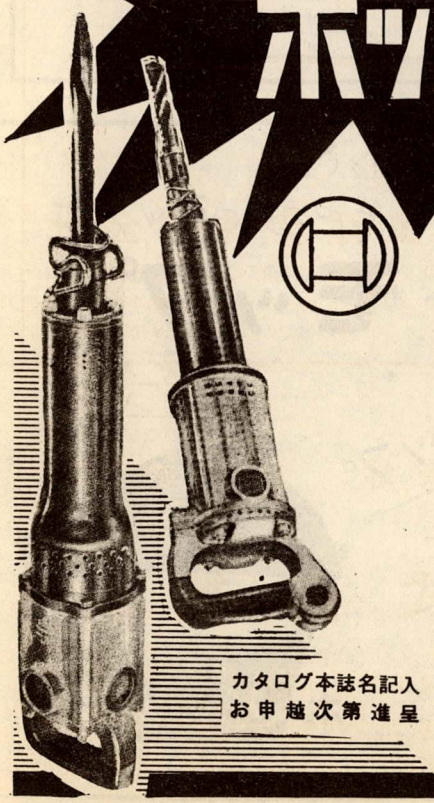
志垣の 明正社
大阪市北区樋上町45
TEL (34) 8157・8158・8159

JAS規格合格品
九德天井板
浮出式杢桟・印刷杢・塗装式杉桟・桐桟

日本楽器合板
ヤマハボード 関西総代理店
東洋プライウッド特約店
浪速合板
大阪市浪速区幸町通3の20
電話大阪㊿2201(代)

吸音多孔合板
ベニヤトーン
日楽の繊維板
ヤマハボード
瑞典のハードボード
エロナイト
ポリエステル化粧板
エステライト
高級接着剤
ポリゾール

ボッシュ電動式ハンマー

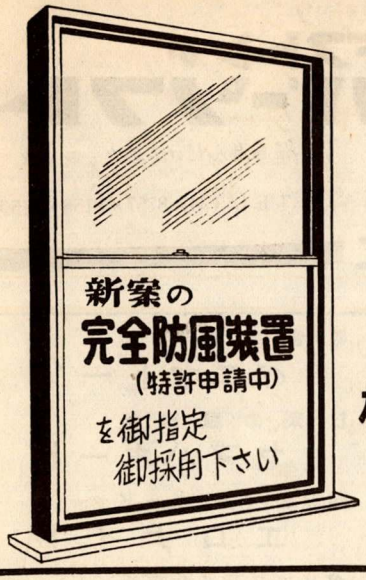


強力・堅牢・高能率
穿孔・削切兼用・(電灯線使用)
コンクリートの穿孔，削切
目粗しに高性能を発揮します。

独乙ロバート・ボッシュ会社製
日本総代理店
株式会社 峰岸商店
大阪出張所 大阪市西区江戸堀上通1丁目18番地
電話土佐堀㊹2181番

カタログ本誌名記入
お申越次第進呈

西日本地区特約代理店
千田産業株式会社
広島市千田町1丁目602番地 電話南④2804番



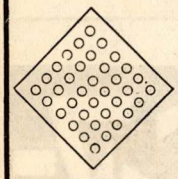
不二サッシ

◦機械設備の充実　◦絶対責任製作
◦卓越せる技術　◦堅牢軽快優美

株式会社 不二製作所大阪支店

大阪市西淀川区御幣島町中三ノ四
電話淀川㊼1220・1454～6・4414～5
本社及び工場　川崎市中丸子一三五　電話田園調布㊷4261～5

耐火　石綿吸音板
石綿壁材



吸音板	4㎜	1.×1.
〃	〃	3.×3.
壁材	〃	3.×6.

製造元 ⑤ 吉津商店 建材部

大阪市東成区中道町2丁目102番地
電話南(75)3702番



おそうじが たのしくなる
ホーム ソフト モップ
七色の虹のモップ

画期的な水拭用モップ

一家に一本 たのしい おそうじ
事務所に一本 そうじの合理化
そうじ器具専門のデザイナーが
3年間の研究の結実
説明書進呈

新案願 No.52201
意匠願 No.13950

合成スポンヂ モルトプレン使用
三ツシア
絞り器が付いて 650エン
の新発売品

・建築会館建材展示場見本展示・



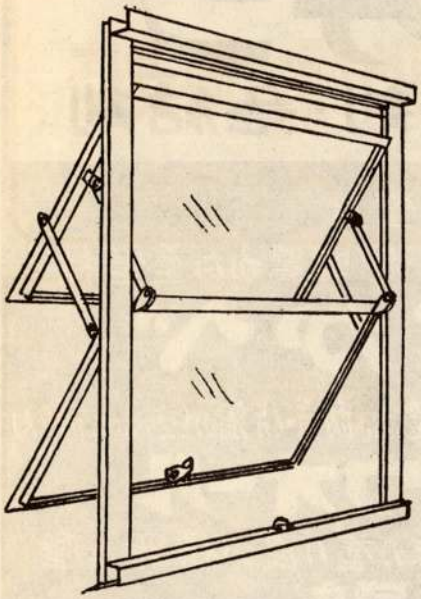
ホーム スクイザー
(ホームソフトモップ専用絞り器)
新案願 No. 52202

株式会社 水島商店
大阪市西区北堀江上通一丁目　TEL㊸3514・8246
京都市中京区蛸薬師烏丸西入　TEL②5363
京都市右京区西院松井町八　TEL㊽1697

三高式　ドアーハンガー　　スチールサツシュ
三高式　オペレーター　　スチールドアー
三高式　重量戸車　　スチールシヤッター

TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社　三高製作所
本社工場　大阪市東区谷町五丁目二八　電話東㊾2969・0444



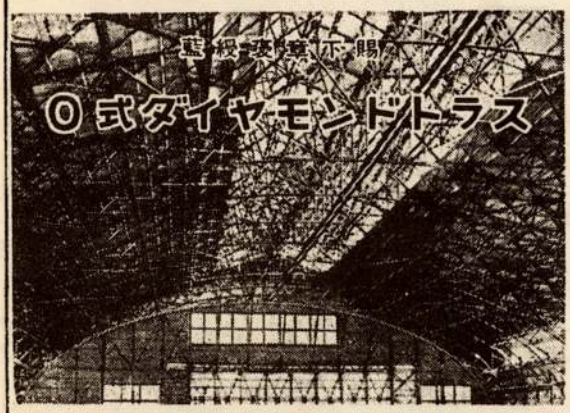
一般製品　スチール　サツシユ
スチール　シヤツター
スチール　ドアー

独特製品　汎建型上下げ窓
双脚の四面が摺り合され自然に気密度が高い。
神高型竪形辷出し窓
両開きや片開きに代る堅牢で耐久な構造。
連動突出し辷出し窓
辷出しと上釣りとが完全に平衡連結され操作軽快、開閉確実、体裁優秀な新型。
遞増減分銅付きシヤツター
大型シヤツターも軽くはやく開閉出来る。

新規製品　普及型上吊り引違い窓
質実堅牢で最も廉価・校舎宿舎などに最適

合資会社　汎建製作所
大阪市此花区恩貴島北之町十一番地　電話　此花㊻2903・4461

鉄材が少くてすみ施工簡易な格納庫・工場・体育館の建築には
"ORIMOTO" DIAMOND TRUSS

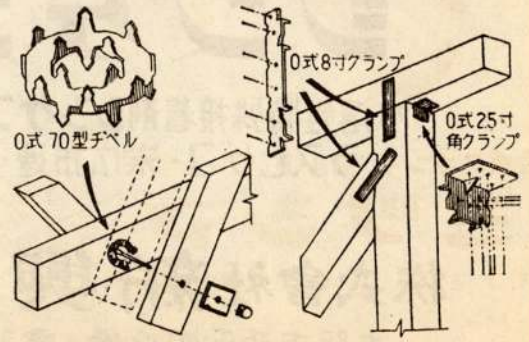


設計の御依頼に応じます（施工は御自由です）
カタログ及び設計参考資料贈呈

考案　織本建築設計計算事務所

官公庁御採用　耐震耐風木材接合金具
住宅、工場、学校、集会場、体育館にまた2階梁に

PAT O式ヂベル
PAT O式クランプ



販売　織本特殊構造研究所
東京都中央区日本橋蠣殻町3～2（水天宮交叉点角）TPL（67）6443・7007・7062

特殊壁材製造並
右官材料専門卸

セメント防水剤は世界的水準を行く
JIS合格品の御使用を!!



シンケン
防水剤・急結剤

近代建築の和洋室内壁は
防音・保温・落ちぬ・趣味豊かな塗壁材

いすゞかべ

劇場・洋室・学校講堂・公会堂等の内壁には防音・保温の(塗り着けるテックス)

チェリーウオール

(新発売) 純日本趣味の塗り良い優雅な壁

錦　壁

セメント・石灰・プラスターの着色剤は純鉱物性・絶対不変色

チェリーカラー

セメントの(アク)で御困りの場合は

シンケン
セメント・アク止剤の御使用を

水溶性特殊接着剤シンケン糊・桜印酸化黄・
ラスヒゲコ・末広布連・其他特殊材料発売元

(型録御通知次第御送附致シマス)

株式會社新興建材工業所

大阪市西区四ツ橋・電話新町(53)1988・9720番
工場 大阪市住吉区東長居町36・電話住吉(67) 212番

color conditioning for flooring

三星アスファルトタイル

カタログ・見本 御申込
次第お送り致します。

責任施工代理店（順不同）

〔近　畿〕

三友工業株式会社
大阪営業所
大阪市東成区大今里町655
大阪セルロイド会館内
電話南㉕8031～4

合名会社 利倉幸商店
大阪市南区長堀橋筋2ノ20
（日本橋電停前）
電話南㉕471・472
京都出張所
京都市中京区河原町夷川下ル
電話③3299

株式会社 木下謹三商店
大阪市西区江戸堀南通5ノ35
電話土佐堀㊹5408・5486

株式会社 久保商店
大阪市北区真砂町5
電話大阪㉞207・4836～7

タテバヤシ商店
京都市上京区大宮通四条下ル
電話壬生㉞4468

石井建材有限会社
神戸市兵庫区荒田町1
電話湊川⑤2697

〔中国・九州〕

青盛建材株式会社
広島市鉄砲町108
電話中②2281～3

青盛建材岡山営業所
岡山市東田町3
電話②7911・8169

青盛建材福岡営業所
福岡市萬行寺前町14
電話東③1225～6

〔東　海〕

株式会社 名建商会
名古屋市中区宮出町41ノ2
電話中㉔1329・2106・2817

合資会社 岡田建材店
名古屋市西区西菊井町2ノ12
電話西㊽0121・2057

【専属の職人養成並指導】

和泉産業
大阪市南区日本橋筋2ノ36
電話茂㊹3286

関西三星タイル会

特許 奥山式 熱工法 冷工法 綜合防水層

カッパー防水帯

C.F #38

COPPER-BOSUITAI
OAM
TRADE・MARK

カッパーメッシュ
コーパータイト

耐酸耐油工事
アスファルト工事一般

製造元

奥山化工業株式會社

東京都中央区銀座西8丁目3　TEL 銀座 (57) 2703—4・2370・4064・0264

優秀技術を誇る！

麻村の

A

スチール
サッシュ
ドアー
シャッター

責任.設計.製作.

麻村サッシュ工業株式会社

本　社　大阪市城東区野江東之町一丁目十二番地　電話城東(33)2854・5272番
出張所　名古屋市北区御成通り一丁目十三番地　電話東(4)2274番
鴫野工場　大阪市城東区天王田町一丁目一七一番地

化学工場の建物を酸蝕から守れ！



耐酸　耐油　耐アルカリ

最新式　耐酸　レヂンライニング
ポリエステル系レヂンライニング
各種合成樹脂ライニング
サルファ系煉瓦目地材料
特殊アスファルト耐酸工事

現場責任施工

設計・施工には是非弊社に
御相談願います



耐酸化学工業株式会社

大阪市北区高垣町80 電話大阪(36)178・3761(代表)

(NK) 浪建式

スチールサッシユ・ドアー
シヤッター・オペレーター
－製造販売－

日満ゴムタイル
全國総代理店
責任施工

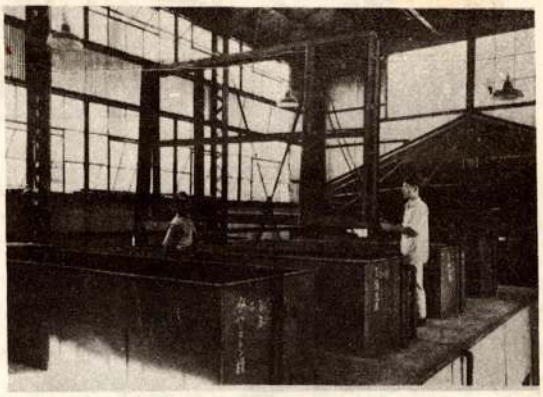
大正十四年創業

浪速建材工業株式會社

本社・工場・大阪市城東区野江中之町一丁目九番地　電話城東㉝1171～3番
東京営業所・東京都中央区銀座東六丁目木挽館ビル六号館607号室　電話東京㊺4611
福岡営業所・福岡市大名町二丁目98　電話西②4948番
出張所・大分市栄町下市三一七番地　電話大分1366番

サッシュ

ドアー
シヤッター
オペレーター



当社パーカーライジング工場の一部

大阪建材工業株式會社

営業所　大阪市南区九郎右衛門町二一　電話南（75）507・3137・3138
堺工場　堺市松屋町一丁六番地　電話堺(102) 1586・4800・4801
泉尾工場　大阪市大正区泉尾浜通リ四ノ六一番地　電話泉尾（55）223
出張所　名古屋・金沢



家を建てたら：
ツヤ出しケントク

板の間・廊下に

新築に

水拭きではすぐに黒ずみニス・ラツカは白木の味をなくし、はげると見苦しくなりますが、すべらぬ白木艶出ケントクを月に一～二回ぬりこめば毎日はカラ拭きで新築そのまゝの美しさを保ちます。



板の間廊下のすべらぬ白木ツヤ出し

ケントク

白木液体ケントク一升罐四九〇円で約十五坪、丸罐半ポンド二九〇円で約五坪みがけます



大阪市東淀川区新高南通1—14　KKケントク　電話㊫3416・1668

日本建築協会優良證明

セメント 増強防水剤

CEMENT WATER-PROOF WOTAITO

ウォータイトB号

御一報次第型録並仕様書進呈

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本　　社　兵庫県宝塚市高台上の池北28−1　電話 宝塚 2153
工　　場　尼崎市難波本町 1 − 34　電話 大阪(48)1526
名古屋出張所　名古屋市中区春日町16(安藤ビル内)　電話 南 (32)1331

紫綬褒章に輝く

責任・施工・請負

特許 特マノール防水剤

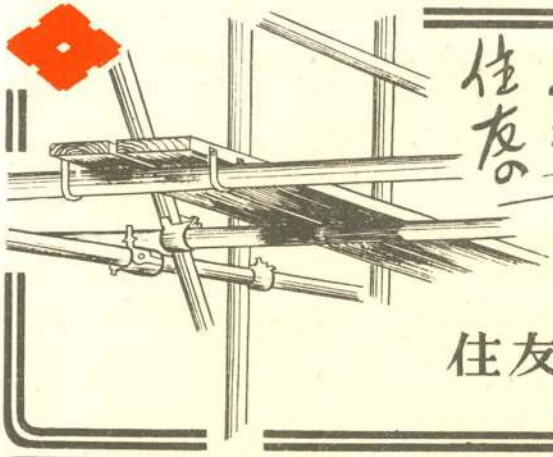
特許マノール急結剤　特許マノール接着剤

新日本メタルホームKK推奨品

株式会社 油脂化工社

取締役社長　矢中龍太郎

本　　社　東京都品川区二葉町1−441　電話 住原㉘1715
大阪営業所　大阪市城東区中本町529　電話 東 ㊾4765



住友の 建材足場用鋼管

1．組立や解体が簡単で速くできます。
2．強くて軽く、安全確実な足場ができます。
3．腐蝕せず永年使用できる為、木材足場より経済的です。
4．工事場が整然としてスマートで、都市の美観を損じません。

住友金属工業株式会社

大阪市東区瓦町4丁目31
東京都千代田区丸ノ内（新丸ビル）

Zola-Coat

米国特許 No.2591904
日本特許（申請） No.3734−52
英国特許 No.760605



関西ペイント

新しい塗料から生まれる新しい環境

コンクリート・モルタル・プラスター・木材・
金属・紙・繊維・皮革・その他あらゆる材料に
深さと魅力を与える高分子多彩塗料

ゾラコート

カタログ御希望の方は大阪市東区伏見町5丁目　当社宣伝課へ

昭和二十四年三月十九日第三種郵便物認可
昭和三十二年一月二十日印刷
昭和三十二年一月廿五日発行（毎月廿五日発行）

高圧 朝日スレート

米国式 朝日コンクリートブロック

A.S.K.

朝日石綿工業株式会社

大阪営業所　大阪市北区神山町四六　電話 大阪 ㉞ 7236代表～9 2095夜間專用
本　　社　東京銀座七.営業所-東京.横浜.名古屋.岡山.九州.北海道
工　　場　東京.横浜.山梨.名古屋.大阪.岡山.門司.宮城

日本レイヨンの硬質纖維板

吸音ライト・サンライト

快適な住宅には…
能率的な事務室、作業場には…

規格	ホール・ピッチ	ホール数	一梱入数	備考
1.3分×1尺角 1.5分×1尺角	ホ 5mm ピ 15mm	324	50枚	•網面、平滑面いづれも在庫あり。
1.3分×1.5尺角 1.5分×1.5尺角	ホ 9mm ピ 23.8mm	324	30枚	•直角、寸法は特殊切断により正確

売価一部金百三十円（送料共）